

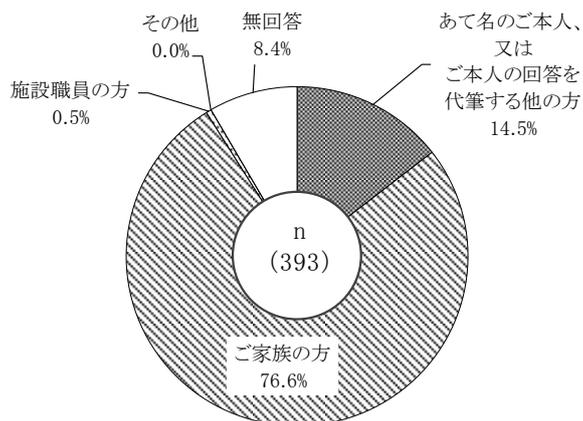
3 18歳未満の方と保護者の方を対象とした調査

3 18歳未満の方と保護者の方を対象とした調査

(1) 回答者について

問1 この調査票でご回答いただくのはどなたですか。(〇は1つ)

「ご家族の方（ご本人が回答できないため、ご本人の立場に立って回答）」の割合が76.6%と最も高く、次いで「あて名のご本人、又はご本人の回答を代筆する他の方」の割合が14.5%となっています。



【障害種別】

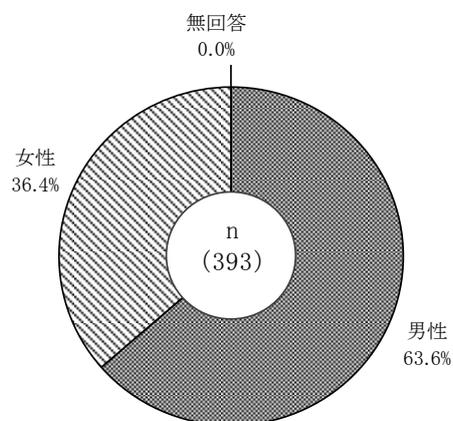
単位 上段：件、下段：%

	調査数	あて名のご本人、又はご本人の回答を代筆する他の方	ご家族の方	施設職員の方	その他	無回答
全体	393	57	301	2	-	33
	100.0	14.5	76.6	0.5	-	8.4
身体障害	206	34	152	2	-	18
	100.0	16.5	73.8	1.0	-	8.7
知的障害	246	23	202	-	-	21
	100.0	9.3	82.1	-	-	8.5
精神障害	12	1	10	-	-	1
	100.0	8.3	83.3	-	-	8.3
難病	47	9	33	-	-	5
	100.0	19.1	70.2	-	-	10.6
無回答	5	-	5	-	-	-
	100.0	-	100.0	-	-	-

(2) 本人について

問2 あなたの性別をおたずねします。(○は1つ)

「男性」の割合が63.6%、「女性」の割合が36.4%となっています。



【障害種別】

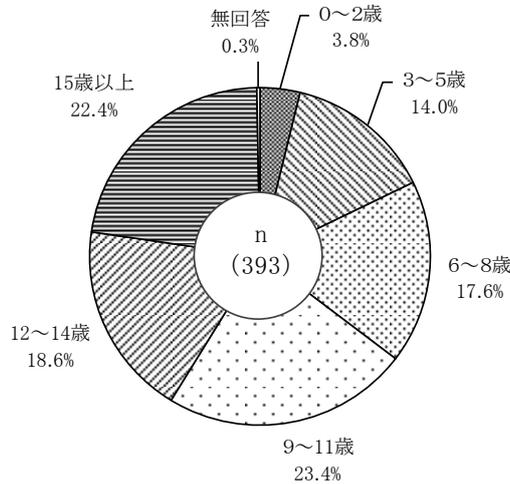
単位 上段:件、下段:%

	調査数	男性	女性	無回答
全体	393 100.0	250 63.6	143 36.4	-
身体障害	206 100.0	118 57.3	88 42.7	-
知的障害	246 100.0	164 66.7	82 33.3	-
精神障害	12 100.0	8 66.7	4 33.3	-
難病	47 100.0	23 48.9	24 51.1	-
無回答	5 100.0	2 40.0	3 60.0	-

問3 あなたの年齢について、令和元年10月1日現在の年齢をご記入ください。

「9～11歳」の割合が23.4%と最も高く、次いで「15歳以上」の割合が22.4%、「12～14歳」の割合が18.6%となっています。

平成28年度調査と比較すると、全体では、「9～11歳」の割合が増加しています。また、精神障害のある方では、「9～11歳」の割合が増加しています。



【障害種別】

単位 上段:件、下段:%

	調査数	0～2歳	3～5歳	6～8歳	9～11歳	12～14歳	15～17歳	無回答
全体	393 100.0	15 3.8	55 14.0	69 17.6	92 23.4	73 18.6	79 20.1	10 2.5
身体障害	206 100.0	13 6.3	34 16.5	30 14.6	43 20.9	38 18.4	44 21.4	4 1.9
知的障害	246 100.0	4 1.6	32 13.0	39 15.9	62 25.2	51 20.7	52 21.1	6 2.4
精神障害	12 100.0	-	-	4 33.3	5 41.7	-	3 25.0	-
難病	47 100.0	4 8.5	9 19.1	12 25.5	4 8.5	4 8.5	13 27.7	1 2.1
無回答	5 100.0	-	-	1 20.0	1 20.0	1 20.0	2 40.0	-

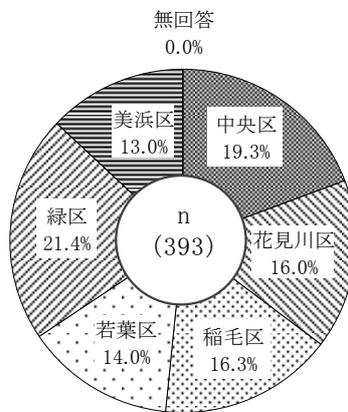
【平成28年度調査】

単位 上段:件、下段:%

	調査数	0～2歳	3～5歳	6～8歳	9～11歳	12～14歳	15～17歳	無回答
全体	427 100.0	22 5.2	58 13.6	88 20.6	71 16.6	99 23.2	87 20.4	2 0.5
身体障害	239 100.0	19 7.9	36 15.1	51 21.3	40 16.7	51 21.3	42 17.6	-
知的障害	264 100.0	5 1.9	32 12.1	51 19.3	49 18.6	68 25.8	59 22.3	-
精神障害	12 100.0	1 8.3	-	-	-	3 25.0	8 66.7	-
難病	143 100.0	12 8.4	26 18.2	31 21.7	22 15.4	30 21.0	22 15.4	-
無回答	3 100.0	-	-	-	-	-	1 33.3	2 66.7

問4 あなたのお住まいの区をおたずねします。(○は1つ)

「緑区」の割合が21.4%と最も高く、次いで「中央区」の割合が19.3%、「稲毛区」の割合が16.3%となっています。



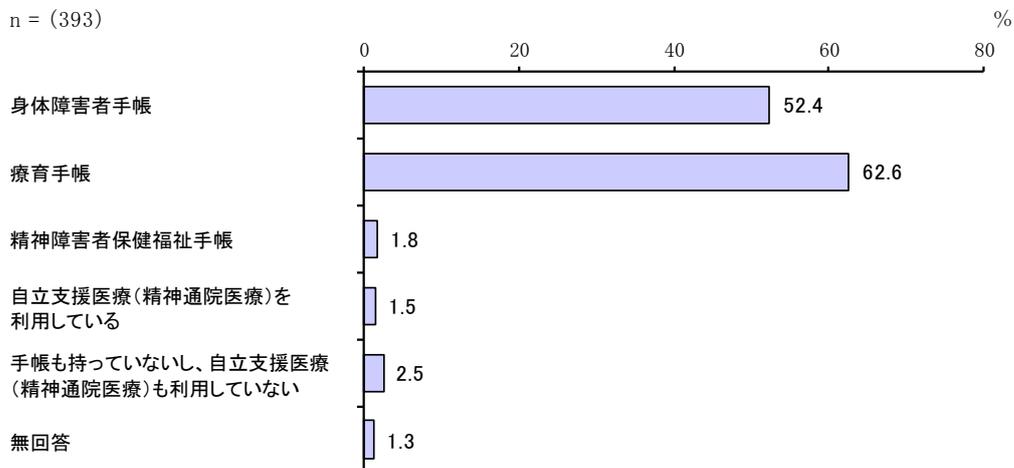
【障害種別】

単位 上段:件、下段:%

	調査数	中央区	花見川区	稲毛区	若葉区	緑区	美浜区	無回答
全体	393	76	63	64	55	84	51	-
	100.0	19.3	16.0	16.3	14.0	21.4	13.0	-
身体障害	206	42	27	31	25	53	28	-
	100.0	20.4	13.1	15.0	12.1	25.7	13.6	-
知的障害	246	44	42	43	35	50	32	-
	100.0	17.9	17.1	17.5	14.2	20.3	13.0	-
精神障害	12	3	2	2	2	2	1	-
	100.0	25.0	16.7	16.7	16.7	16.7	8.3	-
難病	47	9	9	6	5	11	7	-
	100.0	19.1	19.1	12.8	10.6	23.4	14.9	-
無回答	5	-	1	1	-	2	1	-
	100.0	-	20.0	20.0	-	40.0	20.0	-

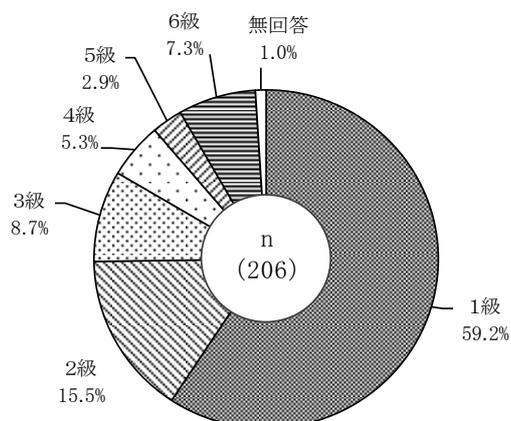
問5 あなたがお持ちの手帳の種類と等級、自立支援医療（精神通院医療）の利用をおたずねします。(○はいくつでも)

「療育手帳」の割合が62.6%と最も高く、次いで「身体障害者手帳」の割合が52.4%となっています。



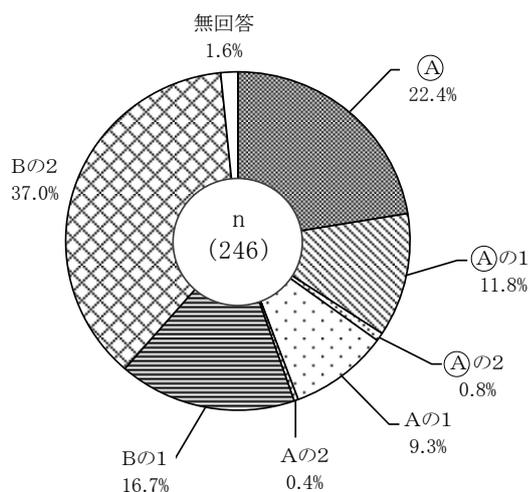
1. 身体障害者手帳

「1級」の割合が59.2%と最も高く、次いで「2級」の割合が15.5%となっています。



2. 療育手帳

「Bの2」の割合が37.0%と最も高く、次いで「A」の割合が22.4%、「Bの1」の割合が16.7%となっています。

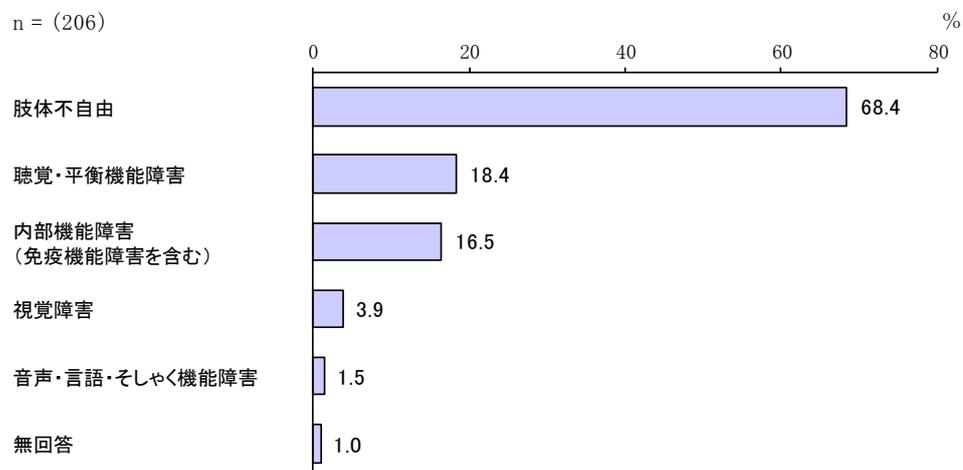


3. 精神障害者保健福祉手帳

「2級」が4件となっています。「1級」が2件、「3級」が1件となっています。

問6 身体障害者手帳をお持ちの方におたずねします。障害の種類は何ですか。
(○はいくつでも)

「肢体不自由」の割合が68.4%と最も高く、次いで「聴覚・平衡機能障害」の割合が18.4%、「内部機能障害（免疫機能障害を含む）」の割合が16.5%となっています。

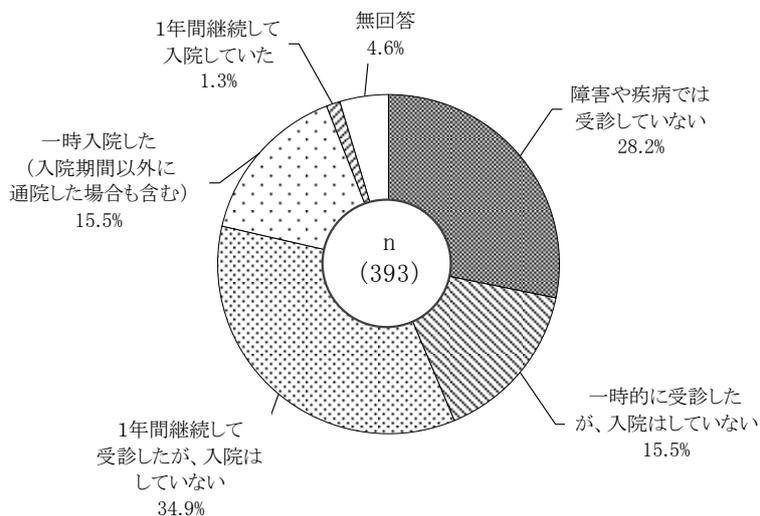


(3) 医療機関への受診状況について

問8 あなたは最近1年間に、障害や疾病が原因で医療機関を受診しましたか。(○は1つ)

「1年間継続して受診したが、入院はしていない」の割合が34.9%と最も高く、次いで「障害や疾病では受診していない」の割合が28.2%、「一時的に受診したが、入院はしていない」、「一時入院した(入院期間以外に通院した場合も含む)」の割合が15.5%となっています。

平成28年度調査と比較すると、全体では、大きな変化はみられません。



【障害種別】

単位 上段:件、下段:%

	調査数	障害や疾病では受診していない	一時的に受診したが、入院はしていない	1年間継続して受診したが、入院はしていない	一時入院した(入院期間以外に通院した場合も含む)	1年間継続して入院していた	無回答
全体	393 100.0	111 28.2	61 15.5	137 34.9	61 15.5	5 1.3	18 4.6
身体障害	206 100.0	16 7.8	25 12.1	104 50.5	53 25.7	5 2.4	3 1.5
知的障害	246 100.0	94 38.2	41 16.7	70 28.5	26 10.6	2 0.8	13 5.3
精神障害	12 100.0	2 16.7	2 16.7	6 50.0	1 8.3	-	1 8.3
難病	47 100.0	2 4.3	5 10.6	26 55.3	13 27.7	-	1 2.1
無回答	5 100.0	-	-	1 20.0	2 40.0	-	2 40.0

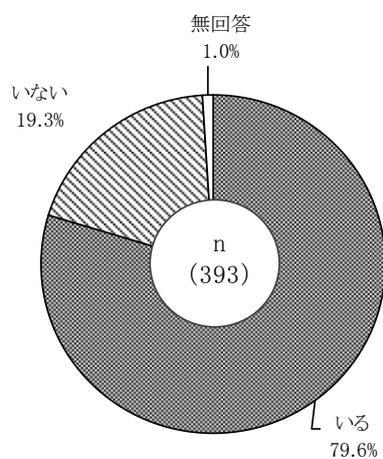
【平成28年度調査】

単位 上段:件、下段:%

	調査数	障害や疾病では受診していない	一時的に受診したが、入院はしていない	1年間継続して受診したが、入院はしていない	一時入院した(入院期間以外に通院した場合も含む)	1年間継続して入院していた	無回答
全体	427 100.0	100 23.4	67 15.7	160 37.5	75 17.6	8 1.9	17 4.0
身体障害	239 100.0	19 7.9	28 11.7	112 46.9	66 27.6	8 3.3	6 2.5
知的障害	264 100.0	87 33.0	52 19.7	88 33.3	24 9.1	3 1.1	10 3.8
精神障害	12 100.0	2 16.7	2 16.7	4 33.3	2 16.7	-	2 16.7
難病	143 100.0	11 7.7	17 11.9	68 47.6	43 30.1	3 2.1	1 0.7
無回答	3 100.0	-	-	1 33.3	-	-	2 66.7

問9 あなたは障害や疾病について、相談や治療をしてくれる身近な医師等（かかりつけ医）はいますか。（〇は1つ）

「いる」の割合が79.6%、「いない」の割合が19.3%となっています。



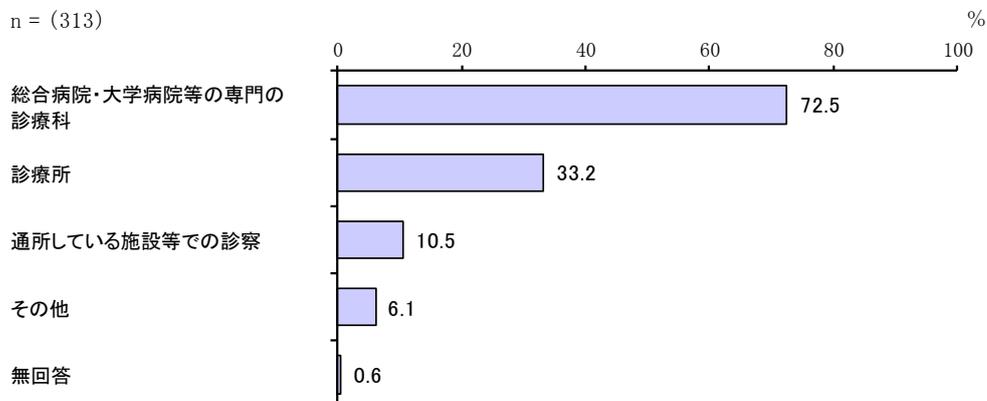
【障害種別】

単位 上段:件、下段:%

	調査数	いる	いない	無回答
全体	393	313	76	4
	100.0	79.6	19.3	1.0
身体障害	206	199	7	-
	100.0	96.6	3.4	-
知的障害	246	178	64	4
	100.0	72.4	26.0	1.6
精神障害	12	12	-	-
	100.0	100.0	-	-
難病	47	46	1	-
	100.0	97.9	2.1	-
無回答	5	4	1	-
	100.0	80.0	20.0	-

問 10 【問 9 で身近な医師等（かかりつけ医）がいると回答した方におたずねします。
その医療機関はどのようなものですか。（〇はいくつでも）

「総合病院・大学病院等の専門の診療科」の割合が 72.5%と最も高く、次いで「診療所」の割合が 33.2%、「通所している施設等での診察」の割合が 10.5%となっています。



【障害種別】

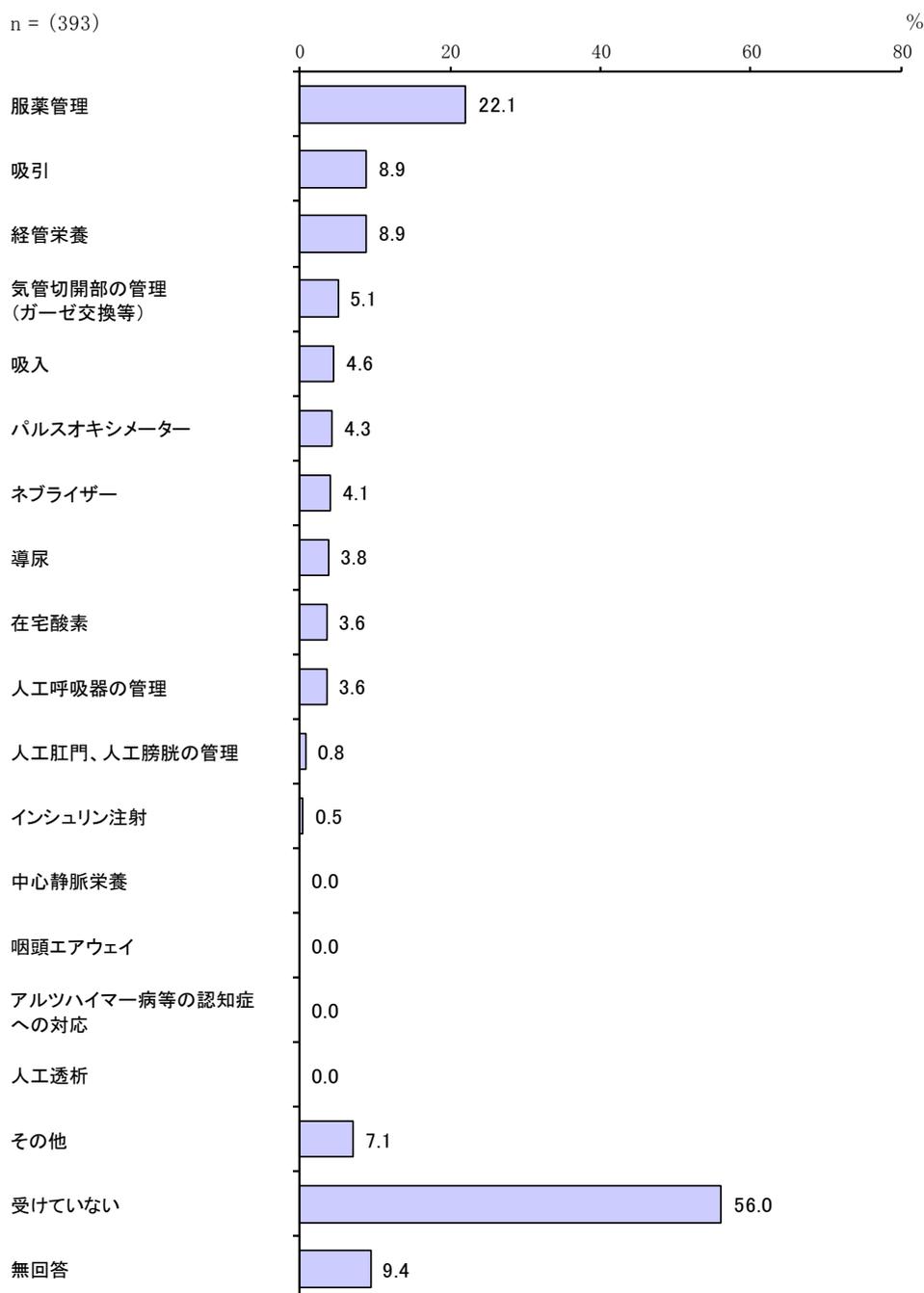
単位 上段：件、下段：%

	調査数	診療所	総合病院・大学病院等の専門の診療科	通所している施設等での診察	その他	無回答
全 体	313	104	227	33	19	2
	100.0	33.2	72.5	10.5	6.1	0.6
身体障害	199	46	175	19	9	-
	100.0	23.1	87.9	9.5	4.5	-
知的障害	178	77	111	21	13	1
	100.0	43.3	62.4	11.8	7.3	0.6
精神障害	12	5	9	1	-	1
	100.0	41.7	75.0	8.3	-	8.3
難病	46	9	43	7	3	-
	100.0	19.6	93.5	15.2	6.5	-
無回答	4	1	2	-	1	-
	100.0	25.0	50.0	-	25.0	-

問 11 あなたが現在受けている医療的ケアの種類をおたずねします。
(〇はいくつでも)

「受けていない」の割合が56.0%と最も高く、次いで「服薬管理」の割合が22.1%となっています。

平成28年度調査と比較すると、全体では、「受けていない」の割合が増加しています。一方、「服薬管理」の割合が減少しています。また、身体障害のある方では、「受けていない」の割合が増加しています。



【障害種別】

単位 上段:件、下段:%

	調査数	吸引	吸入	経管栄養	中心静脈 栄養	導尿	在宅酸素	ネブライ ザー	咽頭エア ウェイ	パルスオ キシメー ター
全 体	393 100.0	35 8.9	18 4.6	35 8.9	-	15 3.8	14 3.6	16 4.1	-	17 4.3
身体障害	206 100.0	34 16.5	16 7.8	34 16.5	-	15 7.3	13 6.3	14 6.8	-	16 7.8
知的障害	246 100.0	14 5.7	10 4.1	16 6.5	-	5 2.0	6 2.4	8 3.3	-	6 2.4
精神障害	12 100.0	1 8.3	1 8.3	1 8.3	-	1 8.3	1 8.3	1 8.3	-	1 8.3
難病	47 100.0	10 21.3	5 10.6	10 21.3	-	4 8.5	4 8.5	4 8.5	-	5 10.6
無回答	5 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-

	気管切開 部の管理 (ガーゼ 交換等)	人工呼吸 器の管理	人工肛 門、人工 膀胱の管 理	アルツハ イマー病 等の認知 症への対 応	インシュリ ン注射	人工透析	服薬管理	その他	受けてい ない	無回答
全 体	20 5.1	14 3.6	3 0.8	-	2 0.5	-	87 22.1	28 7.1	220 56.0	37 9.4
身体障害	19 9.2	14 6.8	3 1.5	-	-	-	60 29.1	22 10.7	99 48.1	7 3.4
知的障害	9 3.7	5 2.0	1 0.4	-	2 0.8	-	50 20.3	15 6.1	144 58.5	29 11.8
精神障害	1 8.3	1 8.3	-	-	-	-	8 66.7	-	4 33.3	-
難病	7 14.9	7 14.9	-	-	-	-	18 38.3	5 10.6	18 38.3	1 2.1
無回答	-	-	-	-	-	-	1 20.0	-	2 40.0	2 40.0

【平成 28 年度調査】

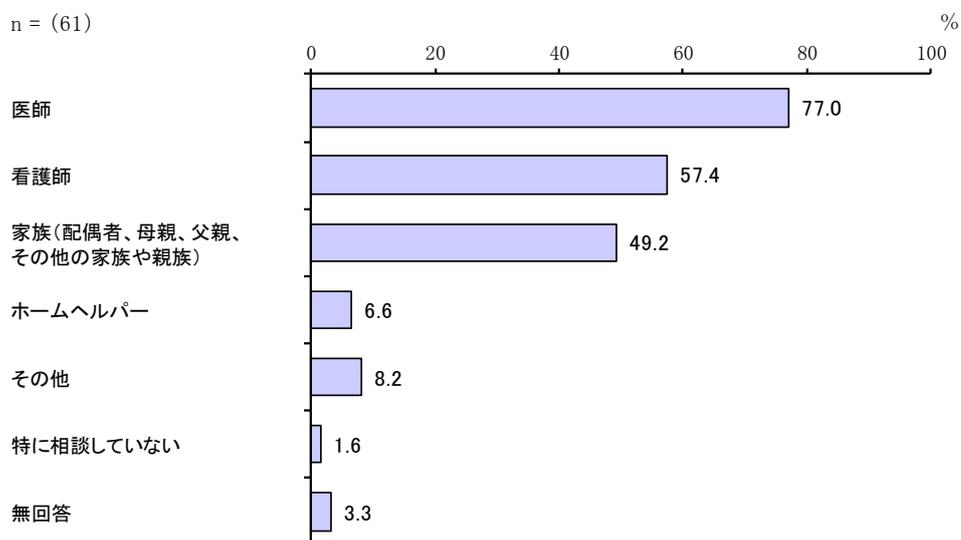
単位 上段:件、下段:%

	調査数	吸引	吸入	経管栄養	中心静脈 栄養	導尿	在宅酸素	ネブライ ザー	咽頭エア ウェイ	パルスオ キシメー ター
全 体	427 100.0	44 10.3	30 7.0	38 8.9	1 0.2	18 4.2	25 5.9	23 5.4	1 0.2	26 6.1
身体障害	239 100.0	43 18.0	24 10.0	38 15.9	1 0.4	18 7.5	25 10.5	19 7.9	1 0.4	26 10.9
知的障害	264 100.0	13 4.9	11 4.2	11 4.2	-	7 2.7	5 1.9	12 4.5	-	7 2.7
精神障害	12 100.0	1 8.3	1 8.3	-	-	-	-	-	-	-
難病	143 100.0	25 17.5	13 9.1	21 14.7	-	11 7.7	15 10.5	12 8.4	-	12 8.4
無回答	3 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-

	気管切開 部の管理 (ガーゼ 交換等)	人工呼吸 器の管理	人工肛 門、人工 膀胱の管 理	アルツハ イマー病 等の認知 症への対 応	インシュリ ン注射	人工透析	服薬管理	その他	受けてい ない	無回答
全 体	27 6.3	21 4.9	3 0.7	-	1 0.2	-	117 27.4	36 8.4	207 48.5	44 10.3
身体障害	27 11.3	21 8.8	3 1.3	-	1 0.4	-	87 36.4	26 10.9	94 39.3	13 5.4
知的障害	6 2.3	5 1.9	2 0.8	-	1 0.4	-	62 23.5	15 5.7	146 55.3	31 11.7
精神障害	-	-	-	-	-	-	7 58.3	1 8.3	3 25.0	1 8.3
難病	16 11.2	12 8.4	1 0.7	-	1 0.7	-	53 37.1	18 12.6	58 40.6	2 1.4
無回答	-	-	-	-	-	-	1 33.3	-	-	2 66.7

問12 【問11で「吸引」～「その他」に○をつけた方におたずねします。】
 医療的ケアについて、誰かに相談をしていますか。(○はいくつでも)

「医師」の割合が77.0%と最も高く、次いで「看護師」の割合が57.4%、「家族（配偶者、母親、父親、その他の家族や親族）」の割合が49.2%となっています。



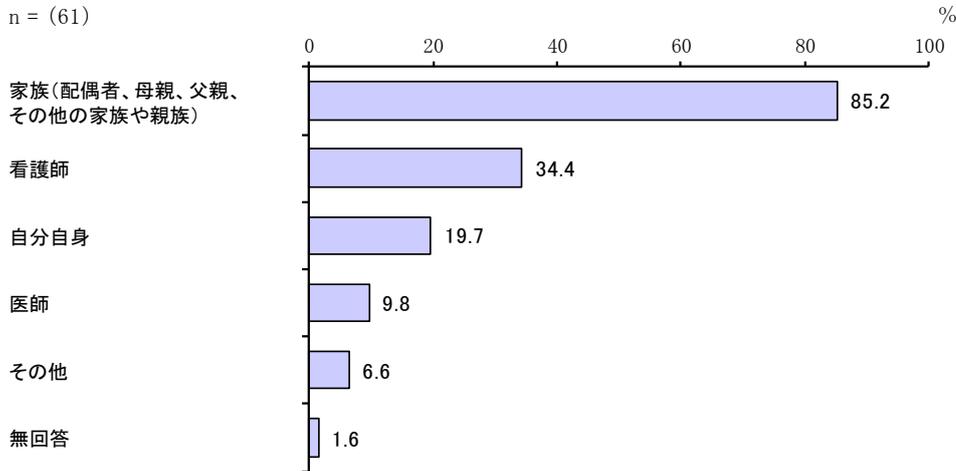
【障害種別】

単位 上段:件、下段:%

	調査数	家族(配偶者、母親、父親、その他の家族や親族)	医師	看護師	ホームヘルパー	その他	特に相談していない	無回答
全体	61 100.0	30 49.2	47 77.0	35 57.4	4 6.6	5 8.2	1 1.6	2 3.3
身体障害	56 100.0	28 50.0	43 76.8	33 58.9	4 7.1	5 8.9	1 1.8	1 1.8
知的障害	24 100.0	10 41.7	21 87.5	15 62.5	1 4.2	3 12.5	-	1 4.2
精神障害	3 100.0	1 33.3	3 100.0	-	-	-	-	-
難病	16 100.0	11 68.8	11 68.8	11 68.8	3 18.8	3 18.8	-	1 6.3
無回答	-	-	-	-	-	-	-	-

問 13 【問 11 で「服薬管理」～「その他」に○をつけた方におたずねします。
現在、医療的ケアを行っている人は誰ですか。（○はいくつでも）

「家族（配偶者、母親、父親、その他の家族や親族）」の割合が 85.2%と最も高く、次いで「看護師」の割合が 34.4%、「自分自身」の割合が 19.7%となっています。



【障害種別】

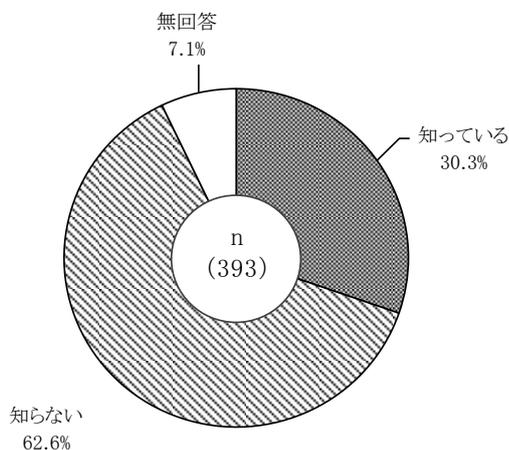
単位 上段:件、下段:%

	調査数	自分自身	家族(配偶者、母親、父親、その他の家族や親族)	医師	看護師	その他	無回答
全 体	61 100.0	12 19.7	52 85.2	6 9.8	21 34.4	4 6.6	1 1.6
身体障害	56 100.0	12 21.4	49 87.5	5 8.9	20 35.7	4 7.1	-
知的障害	24 100.0	2 8.3	21 87.5	2 8.3	8 33.3	3 12.5	1 4.2
精神障害	3 100.0	1 33.3	2 66.7	-	-	-	-
難病	16 100.0	4 25.0	13 81.3	3 18.8	7 43.8	3 18.8	-
無回答	-	-	-	-	-	-	-

問 14 障害者総合支援法に基づく障害福祉サービスとして、医療的ケアが必要な重度の障害のある方について、介助者の病気やその他の理由により、介助が難しくなった場合に、一時的に施設（病院・診療所等）が利用できる事業「医療型短期入所」があります。

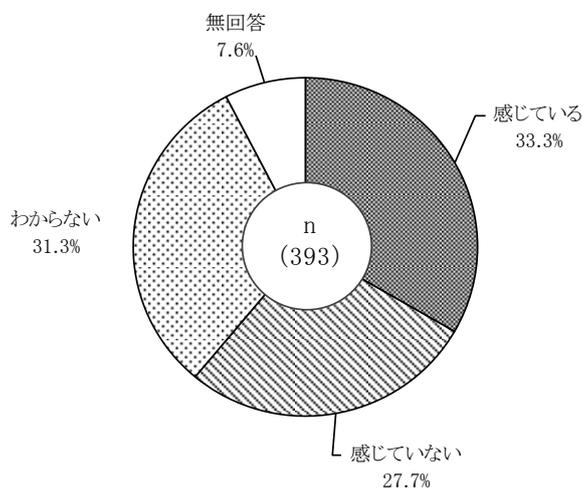
(1) 「医療型短期入所」の認知度

「知っている」の割合が 30.3%、「知らない」の割合が 62.6%となっています。



(2) 「医療型短期入所」の必要性

「感じている」の割合が 33.3%と最も高く、次いで「わからない」の割合が 31.3%、「感じていない」の割合が 27.7%となっています。



【障害種別】

(1) 「医療型短期入所」の認知度

	調査数	知っている	知らない	無回答
全体	393 100.0	119 30.3	246 62.6	28 7.1
身体障害	206 100.0	89 43.2	109 52.9	8 3.9
知的障害	246 100.0	65 26.4	160 65.0	21 8.5
精神障害	12 100.0	4 33.3	7 58.3	1 8.3
難病	47 100.0	20 42.6	26 55.3	1 2.1
無回答	5 100.0	2 40.0	2 40.0	1 20.0

(2) 「医療型短期入所」の必要性

単位 上段: 件、下段: %

	感じている	感じていない	わからない	無回答
全体	131 33.3	109 27.7	123 31.3	30 7.6
身体障害	92 44.7	51 24.8	55 26.7	8 3.9
知的障害	81 32.9	69 28.0	73 29.7	23 9.3
精神障害	3 25.0	2 16.7	5 41.7	2 16.7
難病	23 48.9	11 23.4	12 25.5	1 2.1
無回答	-	1 20.0	3 60.0	1 20.0

【身体障害者手帳の等級別】

(1) 「医療型短期入所」の認知度

	調査数	知っている	知らない	無回答
全体	206 100.0	89 43.2	109 52.9	8 3.9
1級	122 100.0	75 61.5	46 37.7	1 0.8
2級	32 100.0	6 18.8	25 78.1	1 3.1
3級	18 100.0	2 11.1	16 88.9	-
4級	11 100.0	3 27.3	7 63.6	1 9.1
5級	6 100.0	1 16.7	4 66.7	1 16.7
6級	15 100.0	1 6.7	11 73.3	3 20.0
無回答	2 100.0	1 50.0	-	1 50.0

(2) 「医療型短期入所」の必要性

単位 上段: 件、下段: %

	感じている	感じていない	わからない	無回答
全体	92 44.7	51 24.8	55 26.7	8 3.9
1級	78 63.9	18 14.8	25 20.5	1 0.8
2級	5 15.6	14 43.8	12 37.5	1 3.1
3級	4 22.2	7 38.9	7 38.9	-
4級	3 27.3	4 36.4	3 27.3	1 9.1
5級	-	3 50.0	2 33.3	1 16.7
6級	2 13.3	4 26.7	6 40.0	3 20.0
無回答	-	1 50.0	-	1 50.0

【療育手帳の等級別】

(1) 「医療型短期入所」の認知度

	調査数	知っている	知らない	無回答
全体	246 100.0	65 26.4	160 65.0	21 8.5
OA	55 100.0	31 56.4	22 40.0	2 3.6
OAの1	29 100.0	8 27.6	19 65.5	2 6.9
OAの2	2 100.0	-	2 100.0	-
Aの1	23 100.0	2 8.7	19 82.6	2 8.7
Aの2	1 100.0	1 100.0	-	-
Bの1	41 100.0	9 22.0	27 65.9	5 12.2
Bの2	91 100.0	12 13.2	69 75.8	10 11.0
無回答	4 100.0	2 50.0	2 50.0	-

(2) 「医療型短期入所」の必要性

単位 上段: 件、下段: %

	感じている	感じていない	わからない	無回答
全体	81 32.9	69 28.0	73 29.7	23 9.3
OA	33 60.0	10 18.2	10 18.2	2 3.6
OAの1	13 44.8	4 13.8	10 34.5	2 6.9
OAの2	-	-	2 100.0	-
Aの1	5 21.7	11 47.8	5 21.7	2 8.7
Aの2	1 100.0	-	-	-
Bの1	10 24.4	9 22.0	17 41.5	5 12.2
Bの2	16 17.6	35 38.5	28 30.8	12 13.2
無回答	3 75.0	-	1 25.0	-

【障害の重複別】

(1)「医療型短期入所」の認知度

	調査数	知っている	知らない	無回答
全体	393 100.0	119 30.3	246 62.6	28 7.1
身体のみ	127 100.0	50 39.4	73 57.5	4 3.1
知的のみ	165 100.0	26 15.8	122 73.9	17 10.3
精神のみ	4 100.0	-	3 75.0	1 25.0
身体+知的	74 100.0	35 47.3	35 47.3	4 5.4
身体+精神	1 100.0	-	1 100.0	-
知的+精神	3 100.0	-	3 100.0	-
身体+知的+精神	4 100.0	4 100.0	-	-
無回答	15 100.0	4 26.7	9 60.0	2 13.3

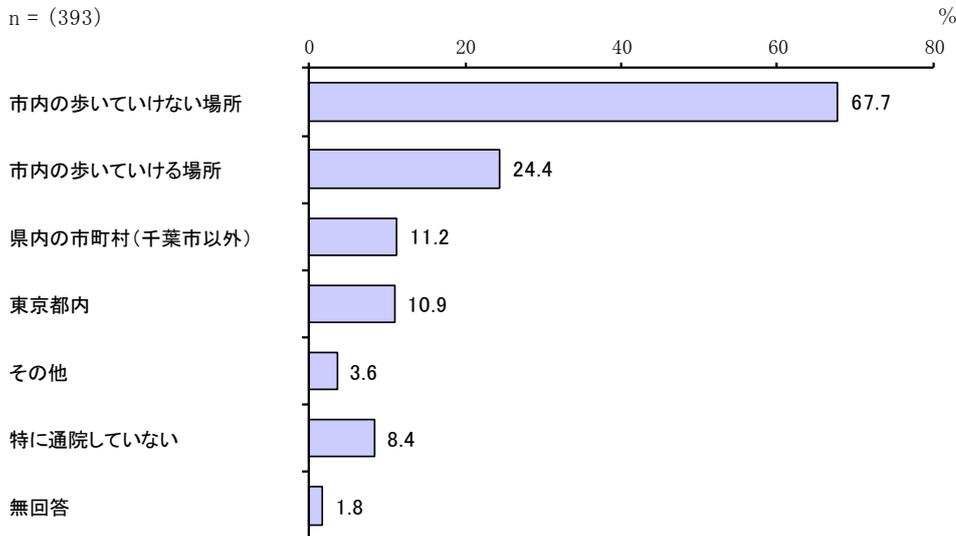
(2)「医療型短期入所」の必要性

単位 上段:件、下段:%

感じている	感じていない	わからない	無回答
131 33.3	109 27.7	123 31.3	30 7.6
48 37.8	35 27.6	40 31.5	4 3.1
37 22.4	53 32.1	57 34.5	18 10.9
1 25.0	-	2 50.0	1 25.0
42 56.8	14 18.9	14 18.9	4 5.4
-	-	1 100.0	-
-	-	2 66.7	1 33.3
2 50.0	2 50.0	-	-
1 6.7	5 33.3	7 46.7	2 13.3

問 15 あなたの「医療」についておたずねします。
 あなたはどこにある病院や診療所に通院していますか。(〇はいくつでも)

「市内の歩いていけない場所」の割合が 67.7%と最も高く、次いで「市内の歩いていける場所」の割合が 24.4%、「県内の市町村（千葉市以外）」の割合が 11.2%となっています。



【障害種別】

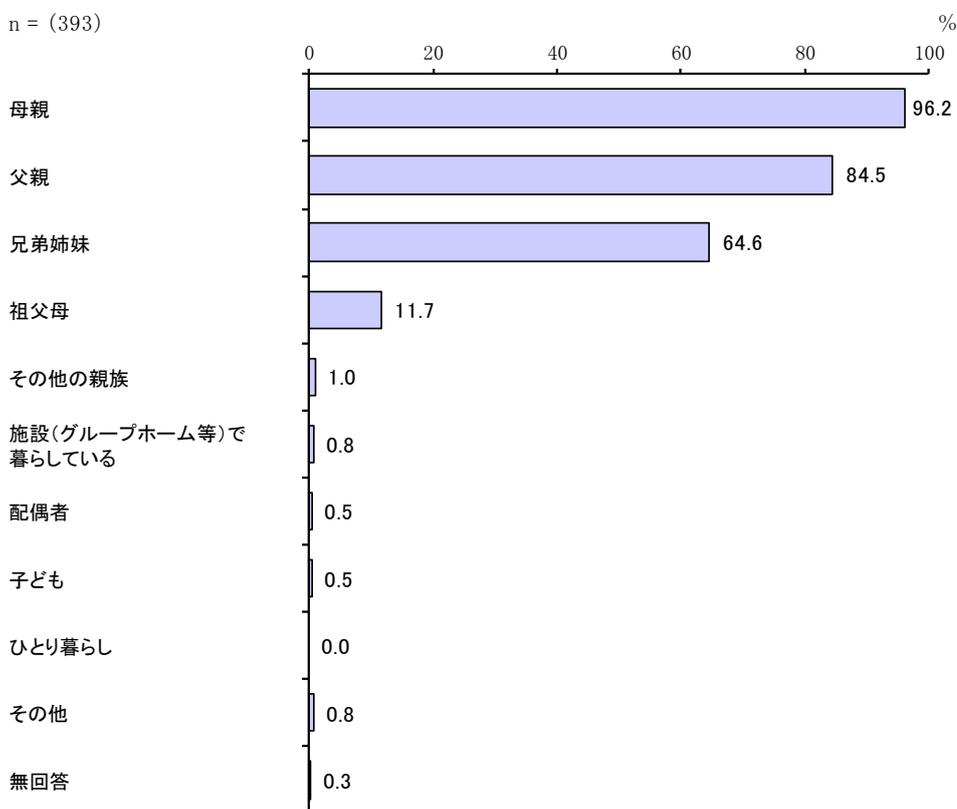
単位 上段:件、下段:%

	調査数	市内の歩いていける場所	市内の歩いていけない場所	県内の市町村(千葉市以外)	東京都内	その他	特に通院していない	無回答
全 体	393	96	266	44	43	14	33	7
	100.0	24.4	67.7	11.2	10.9	3.6	8.4	1.8
身体障害	206	34	162	29	39	11	2	-
	100.0	16.5	78.6	14.1	18.9	5.3	1.0	-
知的障害	246	68	157	29	16	10	29	6
	100.0	27.6	63.8	11.8	6.5	4.1	11.8	2.4
精神障害	12	4	10	2	-	-	-	-
	100.0	33.3	83.3	16.7	-	-	-	-
難病	47	4	40	9	8	4	-	-
	100.0	8.5	85.1	19.1	17.0	8.5	-	-
無回答	5	2	3	-	1	-	-	1
	100.0	40.0	60.0	-	20.0	-	-	20.0

(4) 家族や介助者について

問 16 あなたは、どなたと一緒に暮らしていますか。(〇はいくつでも)

「母親」の割合が96.2%と最も高く、次いで「父親」の割合が84.5%、「兄弟姉妹」の割合が64.6%となっています。



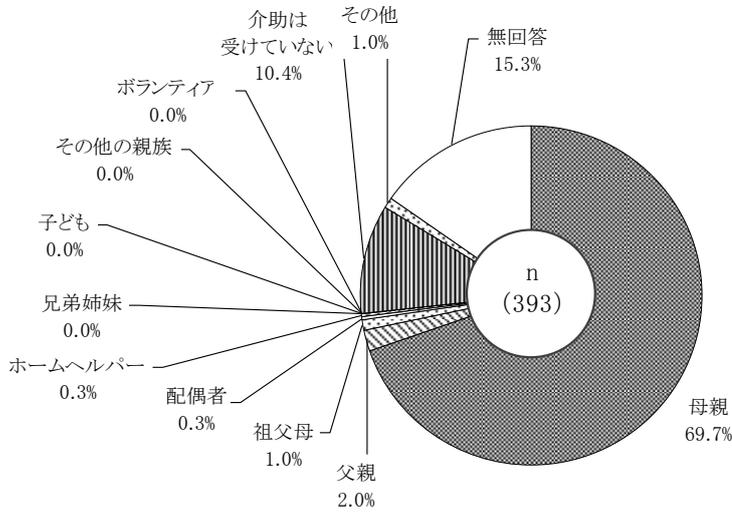
【障害種別】

単位 上段:件、下段:%

	調査数	母親	父親	兄弟姉妹	祖父母	配偶者	子ども	その他の親族	施設(グループホーム等)で暮らしている	ひとり暮らし	その他	無回答
全体	393	378	332	254	46	2	2	4	3	-	3	1
	100.0	96.2	84.5	64.6	11.7	0.5	0.5	1.0	0.8	-	0.8	0.3
身体障害	206	195	174	130	21	1	1	2	3	-	3	-
	100.0	94.7	84.5	63.1	10.2	0.5	0.5	1.0	1.5	-	1.5	-
知的障害	246	238	204	163	28	2	2	2	2	-	1	-
	100.0	96.7	82.9	66.3	11.4	0.8	0.8	0.8	0.8	-	0.4	-
精神障害	12	12	9	7	1	-	-	-	-	-	-	-
	100.0	100.0	75.0	58.3	8.3	-	-	-	-	-	-	-
難病	47	47	38	31	9	-	-	1	-	-	-	-
	100.0	100.0	80.9	66.0	19.1	-	-	2.1	-	-	-	-
無回答	5	3	4	-	2	-	-	-	-	-	-	1
	100.0	60.0	80.0	-	40.0	-	-	-	-	-	-	20.0

問17 あなたへの介助について、主な介助者はどなたですか。(○は1つ)

「母親」の割合が69.7%と最も高く、次いで「介助は受けていない」の割合が10.4%となっています。



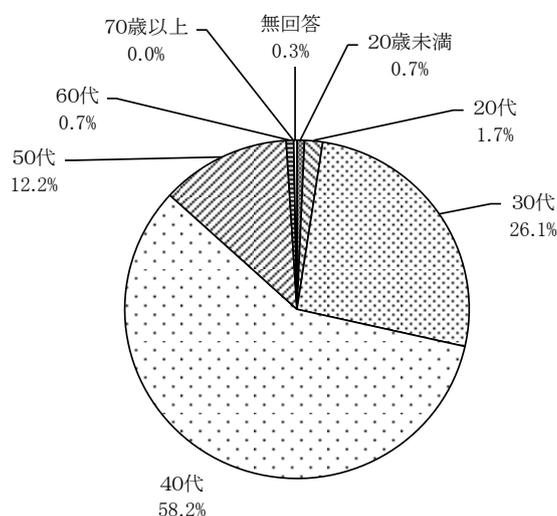
【障害種別】

単位 上段:件、下段:%

	調査数	母親	父親	兄弟姉妹	祖父母	配偶者	子ども	その他の親族	ホームヘルパー	ボランティア	介助は受けていない	その他	無回答
全体	393	274	8	-	4	1	-	-	1	-	41	4	60
	100.0	69.7	2.0	-	1.0	0.3	-	-	0.3	-	10.4	1.0	15.3
身体障害	206	151	6	-	3	-	-	-	1	-	16	4	25
	100.0	73.3	2.9	-	1.5	-	-	-	0.5	-	7.8	1.9	12.1
知的障害	246	169	3	-	2	1	-	-	1	-	22	2	46
	100.0	68.7	1.2	-	0.8	0.4	-	-	0.4	-	8.9	0.8	18.7
精神障害	12	10	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1
	100.0	83.3	-	-	-	-	-	-	-	-	8.3	-	8.3
難病	47	38	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9
	100.0	80.9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	19.1
無回答	5	3	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	100.0	60.0	20.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	20.0

問 18 【問 17 で主な介助者が家族・親族（1～7番）に○をつけた方におたずねします。
 主な介助者の方の年齢をお答えください。（○は1つ）

「40代」の割合が58.2%と最も高く、次いで「30代」の割合が26.1%、「50代」の割合が12.2%となっています。



【障害種別】

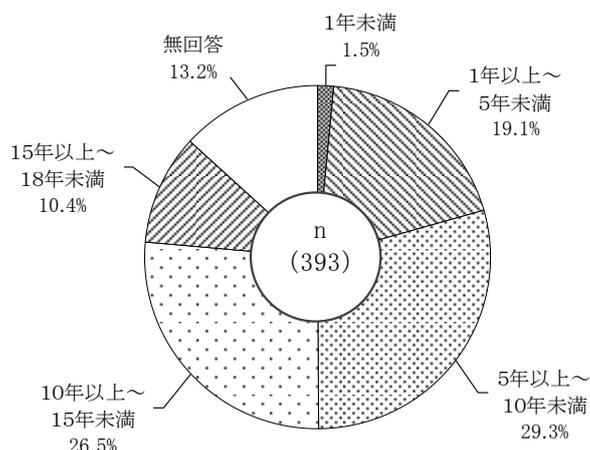
単位 上段:件、下段:%

	調査数	20歳未満	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上	無回答
全 体	287	2	5	75	167	35	2	-	1
	100.0	0.7	1.7	26.1	58.2	12.2	0.7	-	0.3
身体障害	160	1	4	40	93	21	1	-	-
	100.0	0.6	2.5	25.0	58.1	13.1	0.6	-	-
知的障害	175	2	3	42	101	24	2	-	1
	100.0	1.1	1.7	24.0	57.7	13.7	1.1	-	0.6
精神障害	10	1	-	5	4	-	-	-	-
	100.0	10.0	-	50.0	40.0	-	-	-	-
難病	38	-	2	10	19	7	-	-	-
	100.0	-	5.3	26.3	50.0	18.4	-	-	-
無回答	4	-	-	1	3	-	-	-	-
	100.0	-	-	25.0	75.0	-	-	-	-

問 19 主な介助者の介助継続年数をお答えください。(○は1つ)

「5年以上～10年未満」の割合が29.3%と最も高く、次いで「10年以上～15年未満」の割合が26.5%、「1年以上～5年未満」の割合が19.1%となっています。

平成28年度調査と比較すると、全体では、「5年以上～10年未満」の割合が減少しています。また、精神障害のある方では、「5年以上～10年未満」の割合が増加しています。



【障害種別】

単位 上段:件、下段:%

	調査数	1年未満	1年以上～5年未満	5年以上～10年未満	10年以上～15年未満	15年以上～18年未満	無回答
全体	393	6	75	115	104	41	52
	100.0	1.5	19.1	29.3	26.5	10.4	13.2
身体障害	206	2	47	54	62	22	19
	100.0	1.0	22.8	26.2	30.1	10.7	9.2
知的障害	246	5	38	73	71	29	30
	100.0	2.0	15.4	29.7	28.9	11.8	12.2
精神障害	12	-	1	5	3	1	2
	100.0	-	8.3	41.7	25.0	8.3	16.7
難病	47	-	12	16	9	10	-
	100.0	-	25.5	34.0	19.1	21.3	-
無回答	5	-	1	1	2	-	1
	100.0	-	20.0	20.0	40.0	-	20.0

【平成28年度調査】

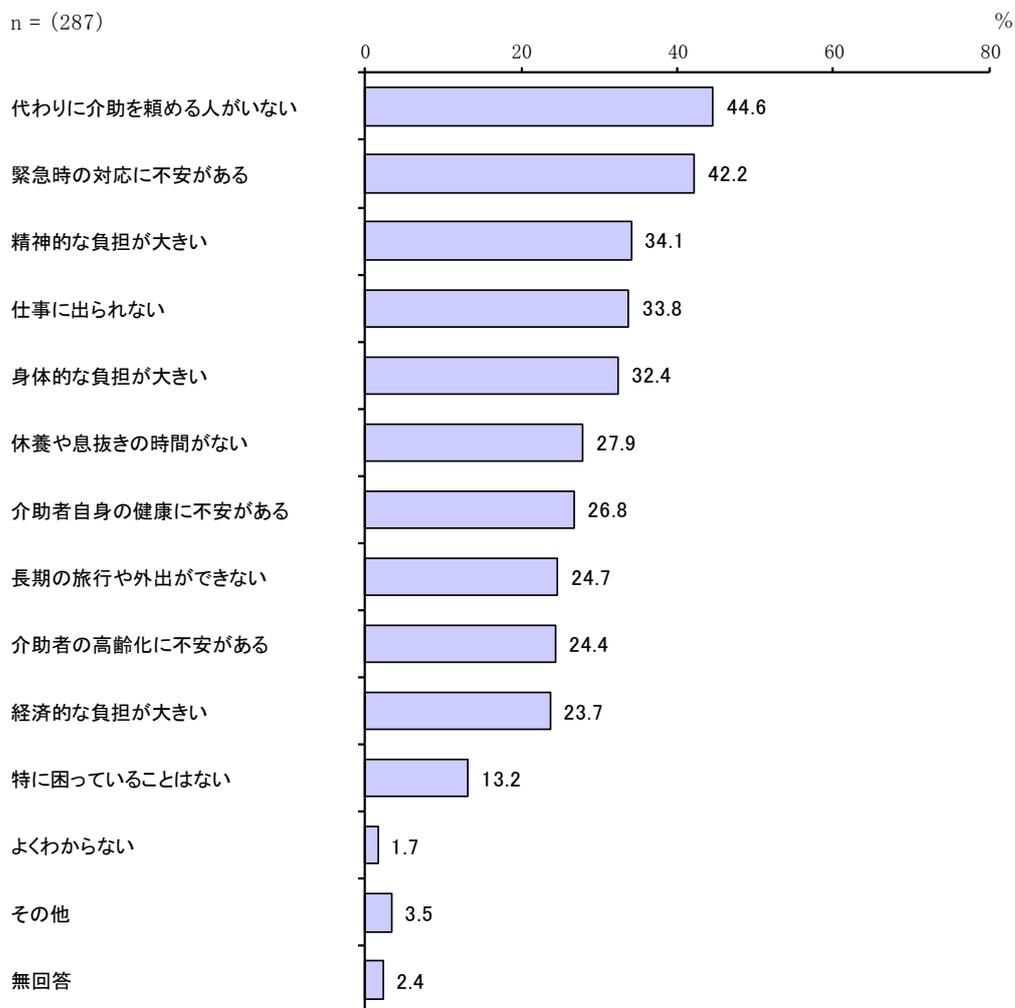
単位 上段:件、下段:%

	調査数	1年未満	1年以上～5年未満	5年以上～10年未満	10年以上～15年未満	15年以上～18年未満	無回答
全体	370	8	59	139	112	47	5
	100.0	2.2	15.9	37.6	30.3	12.7	1.4
身体障害	212	6	40	79	59	25	3
	100.0	2.8	18.9	37.3	27.8	11.8	1.4
知的障害	231	2	32	84	77	34	2
	100.0	0.9	13.9	36.4	33.3	14.7	0.9
精神障害	11	-	1	1	4	5	-
	100.0	-	9.1	9.1	36.4	45.5	-
難病	131	2	29	54	31	14	1
	100.0	1.5	22.1	41.2	23.7	10.7	0.8
無回答	2	-	-	1	1	-	-
	100.0	-	-	50.0	50.0	-	-

**問 20 【問 17 で主な介助者が家族・親族（1～7番）に○をつけた方におたずねします。】
主な介助者が困っていることは何ですか。（○はいくつでも）**

「代わりに介助を頼める人がいない」の割合が 44.6%と最も高く、次いで「緊急時の対応に不安がある」の割合が 42.2%、「精神的な負担が大きい」の割合が 34.1%となっています。

平成 28 年度調査と比較すると、全体では、「緊急時の対応に不安がある」の割合が減少しています。



【障害種別】

単位 上段:件、下段:%

	調査数	介助者自身の健康に不安がある	介助者の高齢化に不安がある	代わりに介助を頼める人がいない	緊急時の対応に不安がある	身体的な負担が大きい	精神的な負担が大きい	経済的な負担が大きい
全体	287 100.0	77 26.8	70 24.4	128 44.6	121 42.2	93 32.4	98 34.1	68 23.7
身体障害	160 100.0	48 30.0	42 26.3	77 48.1	76 47.5	64 40.0	50 31.3	40 25.0
知的障害	175 100.0	46 26.3	50 28.6	81 46.3	72 41.1	56 32.0	62 35.4	43 24.6
精神障害	10 100.0	5 50.0	2 20.0	7 70.0	5 50.0	6 60.0	7 70.0	5 50.0
難病	38 100.0	12 31.6	11 28.9	20 52.6	23 60.5	12 31.6	10 26.3	13 34.2
無回答	4 100.0	1 25.0	1 25.0	1 25.0	2 50.0	-	2 50.0	1 25.0

	仕事に出られない	長期の旅行や外出ができない	休養や息抜きの時間がない	特に困っていることはない	よくわからない	その他	無回答
全体	97 33.8	71 24.7	80 27.9	38 13.2	5 1.7	10 3.5	7 2.4
身体障害	64 40.0	45 28.1	48 30.0	18 11.3	2 1.3	4 2.5	4 2.5
知的障害	54 30.9	47 26.9	50 28.6	22 12.6	4 2.3	7 4.0	4 2.3
精神障害	6 60.0	3 30.0	6 60.0	-	-	-	1 10.0
難病	17 44.7	14 36.8	14 36.8	4 10.5	-	2 5.3	-
無回答	1 25.0	1 25.0	2 50.0	-	-	-	-

【介助者の年齢別】

単位 上段：件、下段：%

	調査数	介助者自身の健康に不安がある	介助者の高齢化に不安がある	代わりに介助を頼める人がいない	緊急時の対応に不安がある	身体的な負担が大きい	精神的な負担が大きい	経済的な負担が大きい
全体	287 100.0	77 26.8	70 24.4	128 44.6	121 42.2	93 32.4	98 34.1	68 23.7
20歳未満	2 100.0	-	-	-	-	-	-	-
20代	5 100.0	-	-	3 60.0	3 60.0	1 20.0	-	1 20.0
30代	75 100.0	16 21.3	6 8.0	31 41.3	30 40.0	25 33.3	29 38.7	22 29.3
40代	167 100.0	46 27.5	40 24.0	73 43.7	67 40.1	52 31.1	53 31.7	35 21.0
50代	35 100.0	14 40.0	22 62.9	19 54.3	20 57.1	13 37.1	14 40.0	8 22.9
60代	2 100.0	1 50.0	2 100.0	2 100.0	2 50.0	1 100.0	2 100.0	2 100.0
70歳以上	-	-	-	-	-	-	-	-
無回答	1 100.0	-	-	-	-	-	-	-

	仕事に出られない	長期の旅行や外出ができない	休養や息抜きの時間がない	特に困っていることはない	よくわからない	その他	無回答
全体	97 33.8	71 24.7	80 27.9	38 13.2	5 1.7	10 3.5	7 2.4
20歳未満	-	-	-	-	1 50.0	-	1 50.0
20代	4 80.0	3 60.0	2 40.0	1 20.0	-	-	-
30代	23 30.7	13 17.3	26 34.7	13 17.3	1 1.3	2 2.7	1 1.3
40代	56 33.5	45 26.9	41 24.6	21 12.6	2 1.2	8 4.8	3 1.8
50代	13 37.1	10 28.6	9 25.7	3 8.6	1 2.9	-	1 2.9
60代	1 50.0	-	2 100.0	-	-	-	-
70歳以上	-	-	-	-	-	-	-
無回答	-	-	-	-	-	-	1 100.0

【平成 28 年度調査】

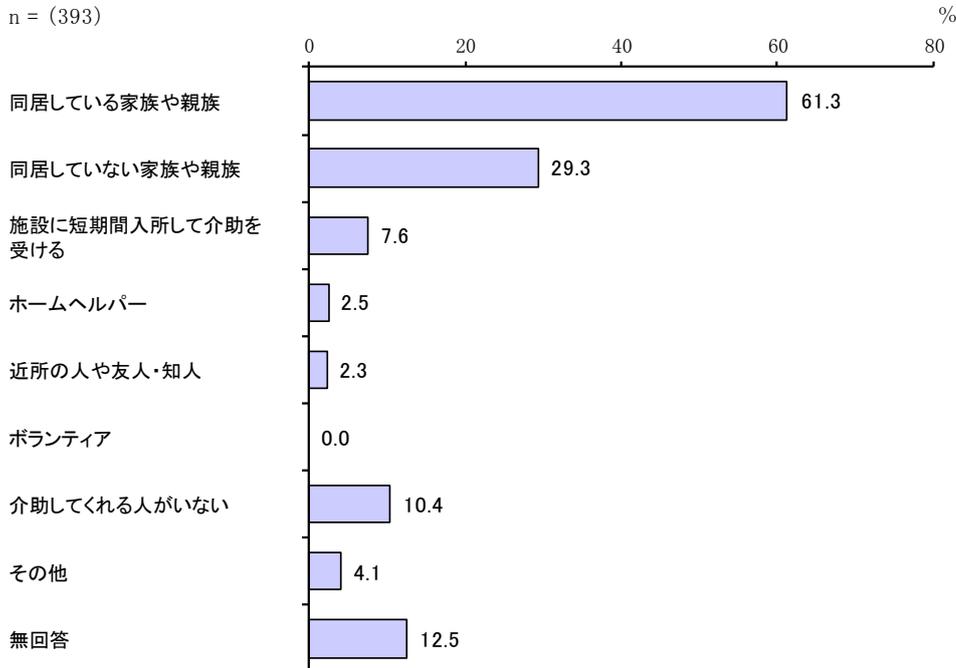
単位 上段:件、下段:%

	調査数	介助者自身の健康に不安がある	介助者の高齢化に不安がある	代わりに介助を頼める人がいない	緊急時の対応に不安がある	身体的な負担が大きい	精神的な負担が大きい	経済的な負担が大きい
全 体	370 100.0	102 27.6	91 24.6	148 40.0	175 47.3	112 30.3	131 35.4	73 19.7
身体障害	212 100.0	64 30.2	48 22.6	93 43.9	105 49.5	91 42.9	73 34.4	44 20.8
知的障害	231 100.0	66 28.6	64 27.7	95 41.1	110 47.6	63 27.3	93 40.3	44 19.0
精神障害	11 100.0	6 54.5	6 54.5	6 54.5	7 63.6	7 63.6	10 90.9	4 36.4
難病	131 100.0	38 29.0	30 22.9	52 39.7	62 47.3	45 34.4	44 33.6	28 21.4
無回答	2 100.0	-	1 50.0	-	-	-	-	-

	仕事に出られない	長期の旅行や外出ができない	休養や息抜きの時間がない	特に困っていることはない	よくわからない	その他	無回答
全 体	107 28.9	86 23.2	92 24.9	46 12.4	4 1.1	20 5.4	4 1.1
身体障害	71 33.5	53 25.0	53 25.0	19 9.0	2 0.9	10 4.7	3 1.4
知的障害	66 28.6	52 22.5	67 29.0	28 12.1	3 1.3	15 6.5	1 0.4
精神障害	2 18.2	1 9.1	5 45.5	-	-	-	-
難病	43 32.8	34 26.0	25 19.1	14 10.7	1 0.8	9 6.9	-
無回答	-	-	-	1 50.0	-	-	-

問 21 主な介助者が、病気のときや外出をしなければならないときなどは、代わりにどなたが介助していますか。(○は3つまで)

「同居している家族や親族」の割合が 61.3%と最も高く、次いで「同居していない家族や親族」の割合が 29.3%、「介助してくれる人がいない」の割合が 10.4%となっています。



【障害種別】

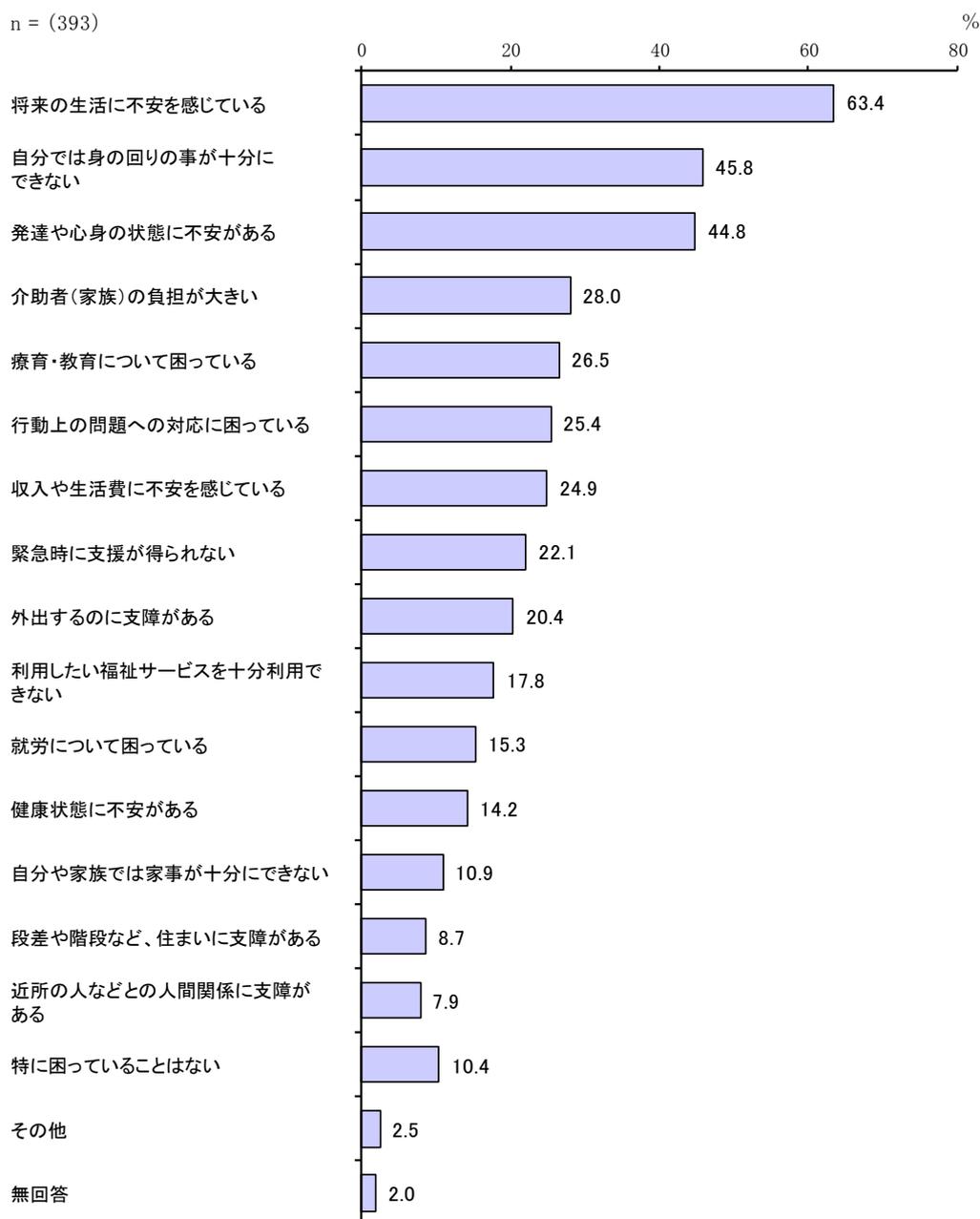
単位 上段:件、下段:%

	調査数	同居している家族や親族	同居していない家族や親族	近所の人や友人・知人	ボランティア	ホームヘルパー	施設に短期間入所して介助を受ける	介助してくれる人がいない	その他	無回答
全体	393	241	115	9	-	10	30	41	16	49
	100.0	61.3	29.3	2.3	-	2.5	7.6	10.4	4.1	12.5
身体障害	206	129	58	3	-	10	23	20	11	19
	100.0	62.6	28.2	1.5	-	4.9	11.2	9.7	5.3	9.2
知的障害	246	149	77	7	-	4	16	27	11	27
	100.0	60.6	31.3	2.8	-	1.6	6.5	11.0	4.5	11.0
精神障害	12	5	3	-	-	1	1	1	2	1
	100.0	41.7	25.0	-	-	8.3	8.3	8.3	16.7	8.3
難病	47	30	16	1	-	3	6	6	3	1
	100.0	63.8	34.0	2.1	-	6.4	12.8	12.8	6.4	2.1
無回答	5	4	-	-	-	-	1	-	-	1
	100.0	80.0	-	-	-	-	20.0	-	-	20.0

(5) 相談や情報入手について

問 22 あなた（やご家族の方）は、日常生活で困っていることはありますか。
（〇はいくつでも）

「将来の生活に不安を感じている」の割合が 63.4%と最も高く、次いで「自分では身の回りの事が十分にできない」の割合が 45.8%、「発達や心身の状態に不安がある」の割合が 44.8%となっています。



【障害種別】

単位 上段:件、下段:%

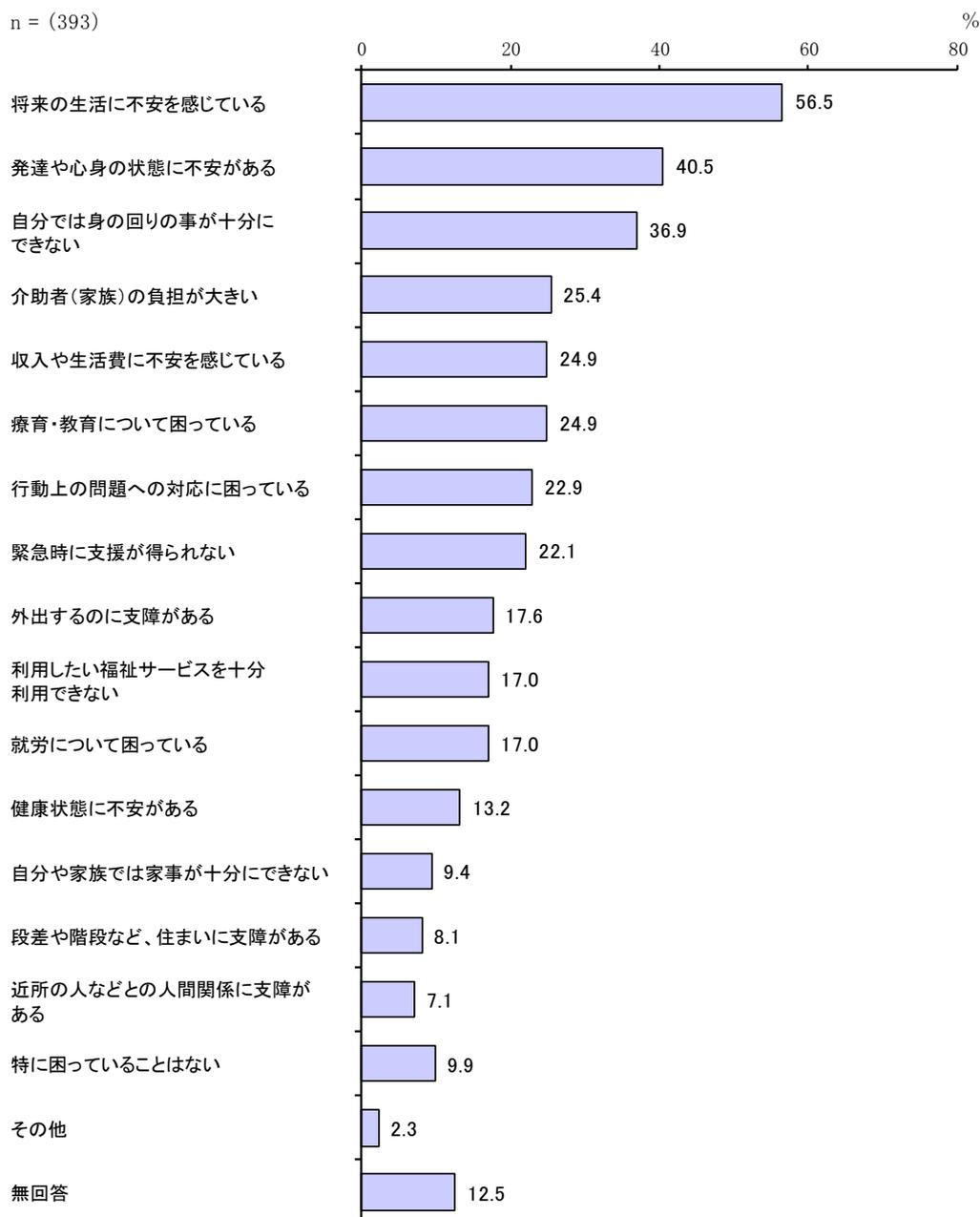
	調査数	発達や心身の状態に不安がある	行動上の問題への対応に困っている	自分では身の回りの事が十分にできない	自分や家族では家事が十分にできない	健康状態に不安がある	介助者(家族)の負担が大きい	段差や階段など、住まいに支障がある	外出するのに支障がある	利用したい福祉サービスを十分利用できない
全体	393 100.0	176 44.8	100 25.4	180 45.8	43 10.9	56 14.2	110 28.0	34 8.7	80 20.4	70 17.8
身体障害	206 100.0	72 35.0	31 15.0	90 43.7	20 9.7	40 19.4	67 32.5	31 15.0	51 24.8	42 20.4
知的障害	246 100.0	136 55.3	81 32.9	134 54.5	33 13.4	36 14.6	68 27.6	18 7.3	55 22.4	45 18.3
精神障害	12 100.0	9 75.0	6 50.0	8 66.7	4 33.3	2 16.7	5 41.7	2 16.7	3 25.0	2 16.7
難病	47 100.0	20 42.6	8 17.0	26 55.3	5 10.6	13 27.7	16 34.0	8 17.0	11 23.4	10 21.3
無回答	5 100.0	2 40.0	2 40.0	3 60.0	-	1 20.0	2 40.0	-	1 20.0	1 20.0

	収入や生活費に不安を感じている	緊急時に支援が得られない	近所の人などとの人間関係に支障がある	将来の生活に不安を感じている	療育・教育について困っている	就労について困っている	特に困っていることはない	その他	無回答
全体	98 24.9	87 22.1	31 7.9	249 63.4	104 26.5	60 15.3	41 10.4	10 2.5	8 2.0
身体障害	51 24.8	56 27.2	10 4.9	126 61.2	41 19.9	26 12.6	19 9.2	8 3.9	6 2.9
知的障害	68 27.6	58 23.6	26 10.6	174 70.7	76 30.9	46 18.7	19 7.7	4 1.6	2 0.8
精神障害	8 66.7	3 25.0	1 8.3	9 75.0	6 50.0	2 16.7	1 8.3	1 8.3	-
難病	16 34.0	17 36.2	3 6.4	36 76.6	7 14.9	8 17.0	-	2 4.3	1 2.1
無回答	3 60.0	2 40.0	-	4 80.0	1 20.0	1 20.0	-	-	-

問 23 あなた（や保護者・ご家族の方）は、日常生活で困っていることはありますか。
（〇はいくつでも）

「将来の生活に不安を感じている」の割合が 56.5%と最も高く、次いで「発達や心身の状態に不安がある」の割合が 40.5%、「自分では身の回りの事が十分にできない」の割合が 36.9%となっています。

平成 28 年度調査と比較すると、全体では、「健康状態に不安がある」、「外出するのに支障がある」、「将来の生活に不安を感じている」、「特に困っていることはない」の割合が減少しています。



※令和元年度調査の「発達や心身の状態に不安がある」、「行動上の問題への対応に困っている」、「療育・教育について困っている」、「就労について困っている」は新たに追加された選択肢です。

【障害種別】

単位 上段:件、下段:%

	調査数	発達や心身の状態に不安がある	行動上の問題への対応に困っている	自分では身の回りの事が十分にできない	自分や家族では家事が十分にできない	健康状態に不安がある	介助者(家族)の負担が大きい	段差や階段など、住まいに支障がある	外出するのに支障がある	利用したい福祉サービスを十分利用できない
全体	393 100.0	159 40.5	90 22.9	145 36.9	37 9.4	52 13.2	100 25.4	32 8.1	69 17.6	67 17.0
身体障害	206 100.0	66 32.0	26 12.6	70 34.0	18 8.7	33 16.0	60 29.1	29 14.1	44 21.4	41 19.9
知的障害	246 100.0	120 48.8	72 29.3	107 43.5	29 11.8	35 14.2	64 26.0	17 6.9	45 18.3	44 17.9
精神障害	12 100.0	10 83.3	5 41.7	7 58.3	3 25.0	4 33.3	4 33.3	2 16.7	3 25.0	4 33.3
難病	47 100.0	18 38.3	6 12.8	21 44.7	5 10.6	10 21.3	15 31.9	8 17.0	11 23.4	9 19.1
無回答	5 100.0	2 40.0	2 40.0	2 40.0	-	-	-	2 40.0	-	1 20.0

	収入や生活費に不安を感じている	緊急時に支援が得られない	近所の人などとの人間関係に支障がある	将来の生活に不安を感じている	療育・教育について困っている	就労について困っている	特に困っていることはない	その他	無回答
全体	98 24.9	87 22.1	28 7.1	222 56.5	98 24.9	67 17.0	39 9.9	9 2.3	49 12.5
身体障害	53 25.7	53 25.7	9 4.4	112 54.4	38 18.4	31 15.0	21 10.2	6 2.9	25 12.1
知的障害	64 26.0	61 24.8	23 9.3	152 61.8	67 27.2	47 19.1	17 6.9	4 1.6	30 12.2
精神障害	7 58.3	4 33.3	2 16.7	8 66.7	7 58.3	3 25.0	1 8.3	1 8.3	-
難病	16 34.0	16 34.0	3 6.4	34 72.3	7 14.9	10 21.3	-	1 2.1	4 8.5
無回答	2 40.0	1 20.0	-	2 40.0	1 20.0	1 20.0	-	-	2 40.0

【平成 28 年度調査】

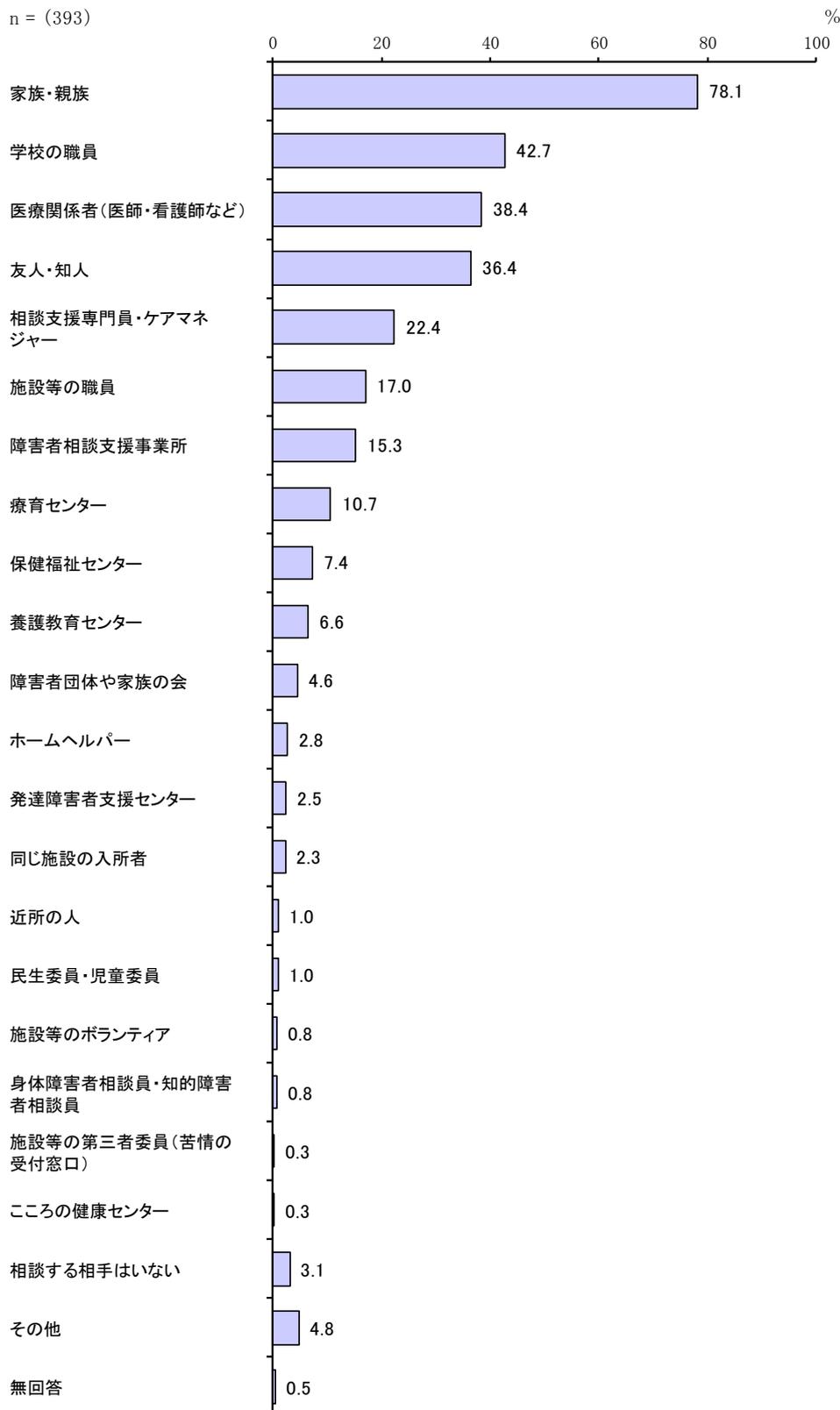
単位 上段:件、下段:%

	調査数	発達や心身の状態に不安がある	行動上の問題への対応に困っている	自分では身の回りの事が十分にできない	自分や家族では家事が十分にできない	健康状態に不安がある	介助者(家族)の負担が大きい	段差や階段など、住まいに支障がある	外出するのに支障がある	利用したい福祉サービスを十分利用できない
全体	427 100.0			166 38.9	38 8.9	79 18.5	95 22.2	55 12.9	104 24.4	72 16.9
身体障害	239 100.0			92 38.5	19 7.9	58 24.3	68 28.5	54 22.6	70 29.3	43 18.0
知的障害	264 100.0			117 44.3	30 11.4	45 17.0	59 22.3	30 11.4	58 22.0	49 18.6
精神障害	12 100.0			6 50.0	3 25.0	5 41.7	6 50.0	2 16.7	2 16.7	3 25.0
難病	143 100.0			48 33.6	6 4.2	36 25.2	36 25.2	24 16.8	34 23.8	28 19.6
無回答	3 100.0			1 33.3	-	1 33.3	-	-	-	-

	収入や生活費に不安を感じている	緊急時に支援が得られない	近所の人などとの人間関係に支障がある	将来の生活に不安を感じている	療育・教育について困っている	就労について困っている	特に困っていることはない	その他	無回答
全体	103 24.1	93 21.8	39 9.1	291 68.1			64 15.0	11 2.6	8 1.9
身体障害	60 25.1	53 22.2	17 7.1	155 64.9			34 14.2	7 2.9	7 2.9
知的障害	70 26.5	62 23.5	32 12.1	198 75.0			31 11.7	6 2.3	1 0.4
精神障害	4 33.3	4 33.3	3 25.0	9 75.0			1 8.3	-	-
難病	33 23.1	29 20.3	11 7.7	93 65.0			25 17.5	3 2.1	1 0.7
無回答	-	-	-	1 33.3			1 33.3	-	-

問 24 あなた（や保護者）が困った時に相談する相手は誰（どこ）ですか。
（〇はいくつでも）

「家族・親族」の割合が78.1%と最も高く、次いで「学校の職員」の割合が42.7%、「医療関係者（医師・看護師など）」の割合が38.4%となっています。



【障害種別】

単位 上段:件、下段:%

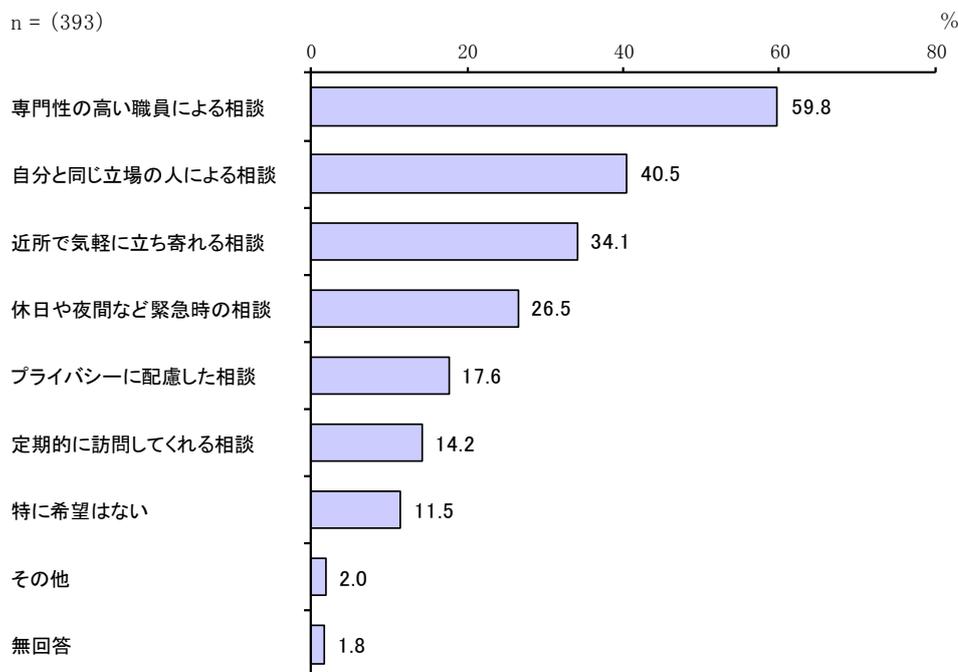
	調査数	家族・親族	友人・知人	近所の人	同じ施設の入所者	相談支援専門員・ケアマネジャー	障害者相談支援事業所	ホームヘルパー	施設等の職員	施設等のボランティア	施設等の第三者委員(苦情の受付窓口)	医療関係者(医師・看護師など)
全体	393 100.0	307 78.1	143 36.4	4 1.0	9 2.3	88 22.4	60 15.3	11 2.8	67 17.0	3 0.8	1 0.3	151 38.4
身体障害	206 100.0	159 77.2	79 38.3	1 0.5	6 2.9	50 24.3	23 11.2	10 4.9	26 12.6	-	1 0.5	105 51.0
知的障害	246 100.0	186 75.6	94 38.2	4 1.6	5 2.0	65 26.4	52 21.1	6 2.4	52 21.1	3 1.2	-	80 32.5
精神障害	12 100.0	8 66.7	4 33.3	-	-	3 25.0	2 16.7	1 8.3	4 33.3	1 8.3	-	5 41.7
難病	47 100.0	41 87.2	20 42.6	1 2.1	2 4.3	13 27.7	7 14.9	3 6.4	9 19.1	-	-	30 63.8
無回答	5 100.0	4 80.0	3 60.0	-	-	-	-	-	-	-	-	3 60.0

	障害者団体や家族の会	学校の職員	養護教育センター	民生委員・児童委員	身体障害者相談員・知的障害者相談員	保健福祉センター	療育センター	発達障害者支援センター	こころの健康センター	相談する相手はいない	その他	無回答
全体	18 4.6	168 42.7	26 6.6	4 1.0	3 0.8	29 7.4	42 10.7	10 2.5	1 0.3	12 3.1	19 4.8	2 0.5
身体障害	12 5.8	76 36.9	-	-	-	11 5.3	13 6.3	2 1.0	1 0.5	3 1.5	10 4.9	2 1.0
知的障害	14 5.7	119 48.4	24 9.8	3 1.2	2 0.8	19 7.7	33 13.4	9 3.7	-	10 4.1	8 3.3	1 0.4
精神障害	-	4 33.3	1 8.3	1 8.3	-	1 8.3	-	-	-	1 8.3	1 8.3	-
難病	7 14.9	19 40.4	1 2.1	1 2.1	1 2.1	5 10.6	2 4.3	1 2.1	-	-	2 4.3	-
無回答	-	2 40.0	-	1 20.0	1 20.0	1 20.0	1 20.0	-	-	-	-	-

問 25 あなた（や保護者・ご家族の方）は、どのような相談制度があれば、より便利だと思いますか。（〇はいくつでも）

「専門性の高い職員による相談」の割合が 59.8%と最も高く、次いで「自分と同じ立場の人による相談」の割合が 40.5%、「近所で気軽に立ち寄れる相談」の割合が 34.1%となっています。

平成 28 年度調査と比較すると、全体では、「近所で気軽に立ち寄れる相談」の割合が増加しています。また、難病のある方では、「休日や夜間など緊急時の相談」の割合が増加しています。



【障害種別】

単位 上段:件、下段:%

	調査数	近所で気軽に立ち寄れる相談	休日や夜間など緊急時の相談	専門性の高い職員による相談	自分と同じ立場の人による相談	定期的に訪問してくれる相談	プライバシーに配慮した相談	特に希望はない	その他	無回答
全体	393 100.0	134 34.1	104 26.5	235 59.8	159 40.5	56 14.2	69 17.6	45 11.5	8 2.0	7 1.8
身体障害	206 100.0	52 25.2	59 28.6	121 58.7	80 38.8	22 10.7	32 15.5	27 13.1	6 2.9	6 2.9
知的障害	246 100.0	100 40.7	63 25.6	151 61.4	103 41.9	43 17.5	44 17.9	23 9.3	4 1.6	4 1.6
精神障害	12 100.0	6 50.0	4 33.3	6 50.0	5 41.7	2 16.7	4 33.3	3 25.0	-	-
難病	47 100.0	16 34.0	20 42.6	27 57.4	18 38.3	6 12.8	7 14.9	3 6.4	4 8.5	2 4.3
無回答	5 100.0	1 20.0	3 60.0	2 40.0	2 40.0	1 20.0	2 40.0	1 20.0	-	-

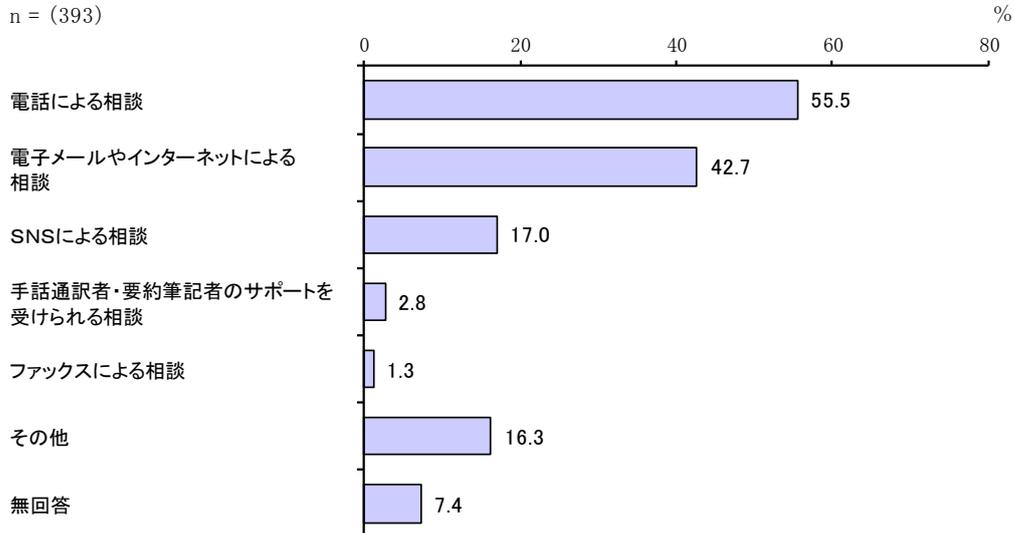
【平成 28 年度調査】

単位 上段:件、下段:%

	調査数	近所で気軽に立ち寄れる相談	休日や夜間など緊急時の相談	専門性の高い職員による相談	自分と同じ立場の人による相談	定期的に訪問してくれる相談	プライバシーに配慮した相談	特に希望はない	その他	無回答
全体	427 100.0	120 28.1	103 24.1	254 59.5	166 38.9	62 14.5	74 17.3	39 9.1	10 2.3	12 2.8
身体障害	239 100.0	60 25.1	59 24.7	145 60.7	96 40.2	36 15.1	33 13.8	23 9.6	7 2.9	8 3.3
知的障害	264 100.0	83 31.4	66 25.0	160 60.6	103 39.0	39 14.8	50 18.9	16 6.1	7 2.7	8 3.0
精神障害	12 100.0	4 33.3	7 58.3	7 58.3	4 33.3	1 8.3	3 25.0	-	-	2 16.7
難病	143 100.0	32 22.4	30 21.0	84 58.7	48 33.6	21 14.7	20 14.0	16 11.2	4 2.8	5 3.5
無回答	3 100.0	2 66.7	1 33.3	1 33.3	-	1 33.3	-	1 33.3	-	-

問 26 あなた（や保護者・ご家族の方）は、どのような相談方法が相談しやすいですか。（〇はいくつでも）

「電話による相談」の割合が 55.5%と最も高く、次いで「電子メールやインターネットによる相談」の割合が 42.7%、「SNSによる相談」の割合が 17.0%となっています。



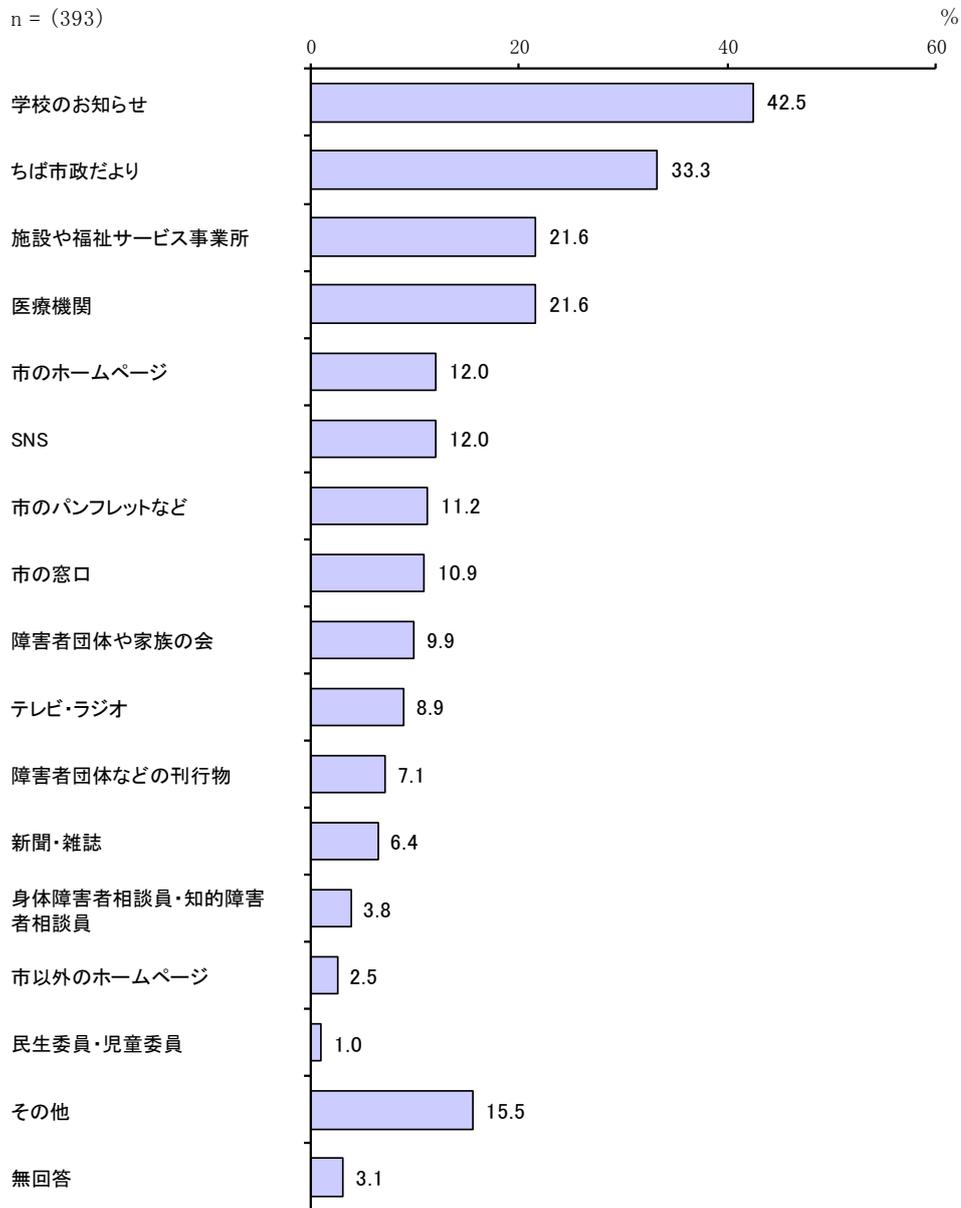
【障害種別】

単位 上段:件、下段:%

	調査数	電話による相談	電子メールやインターネットによる相談	ファックスによる相談	手話通訳者・要約筆記者のサポートを受けられる相談	SNSによる相談	その他	無回答
全 体	393 100.0	218 55.5	168 42.7	5 1.3	11 2.8	67 17.0	64 16.3	29 7.4
身体障害	206 100.0	112 54.4	86 41.7	3 1.5	10 4.9	39 18.9	30 14.6	15 7.3
知的障害	246 100.0	138 56.1	104 42.3	3 1.2	3 1.2	41 16.7	43 17.5	21 8.5
精神障害	12 100.0	3 25.0	7 58.3	-	-	2 16.7	3 25.0	1 8.3
難病	47 100.0	29 61.7	17 36.2	1 2.1	-	10 21.3	10 21.3	3 6.4
無回答	5 100.0	3 60.0	4 80.0	-	-	1 20.0	-	1 20.0

問 27 あなた（や保護者・ご家族の方）は、福祉に関する情報を、どこから知ることが多いですか。（〇はいくつでも）

「学校のお知らせ」の割合が 42.5%と最も高く、次いで「ちば市政だより」の割合が 33.3%、「施設や福祉サービス事業所」、「医療機関」の割合が 21.6%となっています。



【障害種別】

単位 上段:件、下段:%

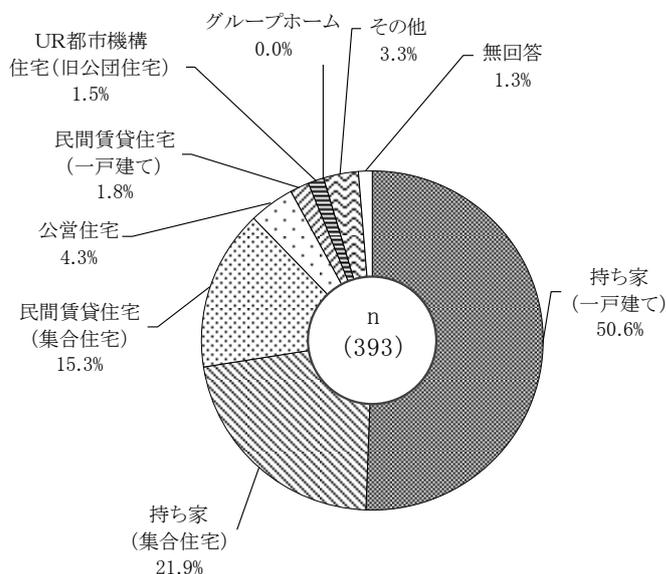
	調査数	ちば市政だ より	市のパンフ レットなど	障害者団体 などの刊行 物	学校のお知 らせ	市のホーム ページ	市以外の ホームペー ジ	SNS	新聞・雑誌
全 体	393 100.0	131 33.3	44 11.2	28 7.1	167 42.5	47 12.0	10 2.5	47 12.0	25 6.4
身体障害	206 100.0	62 30.1	22 10.7	15 7.3	73 35.4	23 11.2	6 2.9	29 14.1	12 5.8
知的障害	246 100.0	85 34.6	31 12.6	20 8.1	122 49.6	30 12.2	6 2.4	29 11.8	18 7.3
精神障害	12 100.0	3 25.0	-	-	3 25.0	1 8.3	-	3 25.0	-
難病	47 100.0	11 23.4	3 6.4	2 4.3	15 31.9	6 12.8	1 2.1	8 17.0	1 2.1
無回答	5 100.0	2 40.0	-	1 20.0	2 40.0	-	-	1 20.0	1 20.0

	テレビ・ラジ オ	施設や福祉 サービス事 業所	医療機関	障害者団体 や家族の会	民生委員・ 児童委員	身体障害者 相談員・知 的障害者相 談員	市の窓口	その他	無回答
全 体	35 8.9	85 21.6	85 21.6	39 9.9	4 1.0	15 3.8	43 10.9	61 15.5	12 3.1
身体障害	18 8.7	36 17.5	61 29.6	25 12.1	3 1.5	7 3.4	19 9.2	40 19.4	5 2.4
知的障害	23 9.3	62 25.2	39 15.9	28 11.4	3 1.2	9 3.7	28 11.4	36 14.6	7 2.8
精神障害	1 8.3	2 16.7	5 41.7	-	-	-	2 16.7	1 8.3	2 16.7
難病	1 2.1	12 25.5	11 23.4	10 21.3	-	1 2.1	8 17.0	13 27.7	-
無回答	-	1 20.0	2 40.0	1 20.0	-	-	1 20.0	1 20.0	-

(6) 暮らしについて

問 28 あなたのお住まいの種類をお聞きします。(〇は1つ)

「持ち家（一戸建て）」の割合が 50.6%と最も高く、次いで「持ち家（集合住宅）」の割合が 21.9%、「民間賃貸住宅（集合住宅）」の割合が 15.3%となっています。



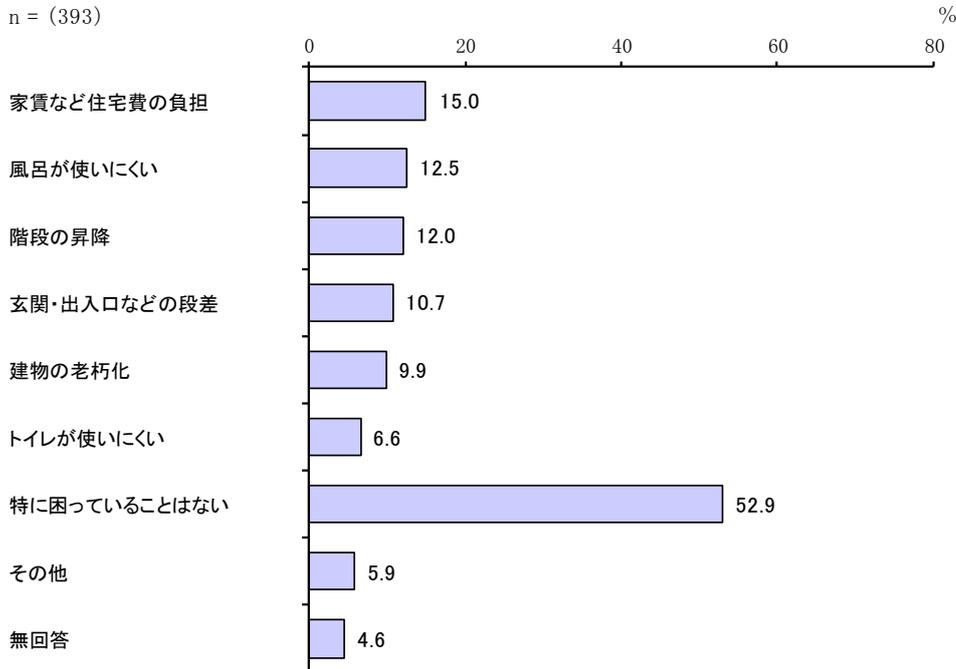
【障害種別】

単位 上段：件、下段：%

	調査数	持ち家（一戸建て）	持ち家（集合住宅）	民間賃貸住宅（一戸建て）	民間賃貸住宅（集合住宅）	公営住宅	UR都市機構住宅（旧公団住宅）	グループホーム	その他	無回答
全体	393	199	86	7	60	17	6	-	13	5
	100.0	50.6	21.9	1.8	15.3	4.3	1.5	-	3.3	1.3
身体障害	206	111	43	3	28	10	2	-	6	3
	100.0	53.9	20.9	1.5	13.6	4.9	1.0	-	2.9	1.5
知的障害	246	125	53	6	38	11	3	-	7	3
	100.0	50.8	21.5	2.4	15.4	4.5	1.2	-	2.8	1.2
精神障害	12	3	4	-	1	2	1	-	1	-
	100.0	25.0	33.3	-	8.3	16.7	8.3	-	8.3	-
難病	47	30	10	-	5	-	-	-	2	-
	100.0	63.8	21.3	-	10.6	-	-	-	4.3	-
無回答	5	3	2	-	-	-	-	-	-	-
	100.0	60.0	40.0	-	-	-	-	-	-	-

問 29 あなた（や保護者の方）は、住まいについて困っていることがありますか。
（〇はいくつでも）

「特に困っていることはない」の割合が 52.9%と最も高く、次いで「家賃など住宅費の負担」の割合が 15.0%、「風呂が使いにくい」の割合が 12.5%となっています。



【障害種別】

単位 上段:件、下段:%

	調査数	階段の昇降	玄関・出入口などの段差	風呂が使いにくい	トイレが使いにくい	建物の老朽化	家賃など住宅費の負担	特に困っていることはない	その他	無回答
全体	393 100.0	47 12.0	42 10.7	49 12.5	26 6.6	39 9.9	59 15.0	208 52.9	23 5.9	18 4.6
身体障害	206 100.0	41 19.9	38 18.4	40 19.4	19 9.2	19 9.2	31 15.0	87 42.2	12 5.8	11 5.3
知的障害	246 100.0	25 10.2	19 7.7	25 10.2	11 4.5	23 9.3	39 15.9	136 55.3	16 6.5	10 4.1
精神障害	12 100.0	-	-	2 16.7	1 8.3	1 8.3	4 33.3	4 33.3	1 8.3	2 16.7
難病	47 100.0	10 21.3	16 34.0	13 27.7	7 14.9	6 12.8	7 14.9	15 31.9	3 6.4	1 2.1
無回答	5 100.0	-	-	-	-	-	1 20.0	4 80.0	-	-

【身体障害の種類別】

単位 上段:件、下段:%

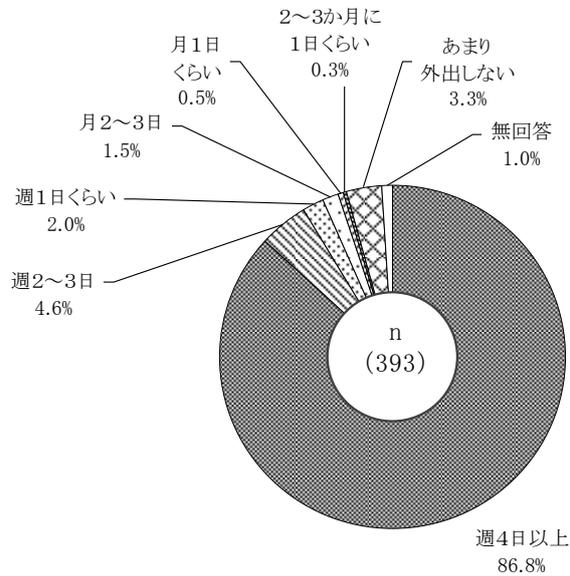
	調査数	階段の昇降	玄関・出入口などの段差	風呂が使いにくい	トイレが使いにくい	建物の老朽化	家賃など住宅費の負担	特に困っていることはない	その他	無回答
全体	206 100.0	41 19.9	38 18.4	40 19.4	19 9.2	19 9.2	31 15.0	87 42.2	12 5.8	11 5.3
肢体不自由	141 100.0	36 25.5	37 26.2	38 27.0	18 12.8	14 9.9	20 14.2	47 33.3	11 7.8	5 3.5
音声・言語・そしゃく機能障害	3 100.0	1 33.3	-	1 33.3	-	-	-	2 66.7	-	-
視覚障害	8 100.0	1 12.5	-	-	-	-	-	4 50.0	-	3 37.5
聴覚・平衡機能障害	38 100.0	4 10.5	2 5.3	2 5.3	-	3 7.9	8 21.1	21 55.3	-	3 7.9
内部機能障害(免疫機能障害を含む)	34 100.0	5 14.7	3 8.8	4 11.8	3 8.8	3 8.8	5 14.7	19 55.9	1 2.9	1 2.9
無回答	2 100.0	-	-	-	-	-	-	2 100.0	-	-

問 30 あなたは、どのくらいの頻度で外出していますか。(〇は1つ)

「週4日以上」の割合が86.8%と最も高くなっています。

年齢別でみると、他に比べ、6～8歳、9～11歳で「週4日以上」の割合が高く、9割を超えています。また、0～2歳で「週2～3日」の割合が高く、4割半ばとなっています。

平成28年度調査と比較すると、全体では、大きな変化はみられません。



※令和元年度調査の「2～3か月に1日くらい」は新たに追加された選択肢です。

【障害種別】

単位 上段:件、下段:%

	調査数	週4日以上	週2～3日	週1日くらい	月2～3日	月1日くらい	2～3か月に1日くらい	あまり外出しない	無回答
全体	393	341	18	8	6	2	1	13	4
	100.0	86.8	4.6	2.0	1.5	0.5	0.3	3.3	1.0
身体障害	206	173	13	3	4	2	1	7	3
	100.0	84.0	6.3	1.5	1.9	1.0	0.5	3.4	1.5
知的障害	246	217	8	4	3	1	1	10	2
	100.0	88.2	3.3	1.6	1.2	0.4	0.4	4.1	0.8
精神障害	12	10	-	1	-	-	-	1	-
	100.0	83.3	-	8.3	-	-	-	8.3	-
難病	47	41	4	-	1	1	-	-	-
	100.0	87.2	8.5	-	2.1	2.1	-	-	-
無回答	5	4	-	1	-	-	-	-	-
	100.0	80.0	-	20.0	-	-	-	-	-

【年齢別】

単位 上段:件、下段:%

	調査数	週4日以上	週2～3日	週1日くらい	月2～3日	月1日くらい	2～3か月に1日くらい	あまり外出しない	無回答
全 体	393 100.0	341 86.8	18 4.6	8 2.0	6 1.5	2 0.5	1 0.3	13 3.3	4 1.0
0～2歳	15 100.0	8 53.3	7 46.7	-	-	-	-	-	-
3～5歳	55 100.0	49 89.1	3 5.5	-	1 1.8	-	-	1 1.8	1 1.8
6～8歳	69 100.0	64 92.8	2 2.9	1 1.4	1 1.4	-	-	1 1.4	-
9～11歳	92 100.0	87 94.6	1 1.1	1 1.1	1 1.1	1 1.1	-	1 1.1	-
12～14歳	73 100.0	62 84.9	1 1.4	1 1.4	3 4.1	-	-	5 6.8	1 1.4
15～17歳	79 100.0	64 81.0	3 3.8	4 5.1	-	1 1.3	1 1.3	5 6.3	1 1.3
無回答	10 100.0	7 70.0	1 10.0	1 10.0	-	-	-	-	1 10.0

【平成 28 年度調査】

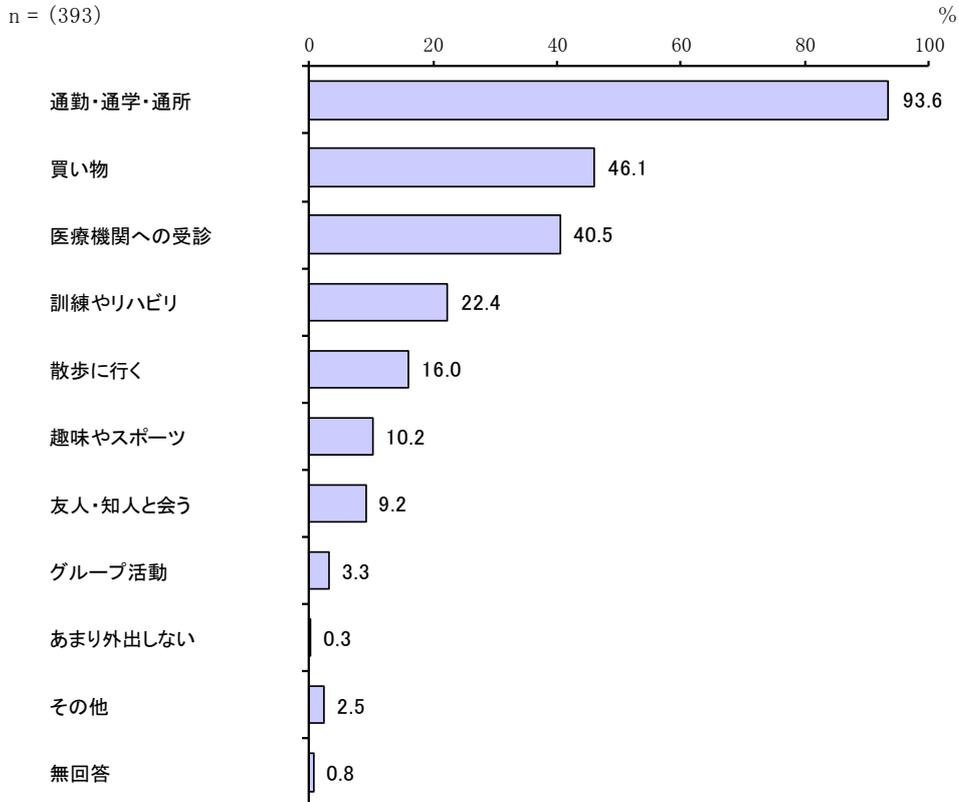
単位 上段:件、下段:%

	調査数	週4日以上	週2～3日	週1日くらい	月2～3日	月1日くらい	2～3か月に1日くらい	あまり外出しない	無回答
全 体	427 100.0	370 86.7	24 5.6	5 1.2	8 1.9	3 0.7		16 3.7	1 0.2
身体障害	239 100.0	195 81.6	20 8.4	5 2.1	7 2.9	3 1.3		8 3.3	1 0.4
知的障害	264 100.0	241 91.3	7 2.7	2 0.8	2 0.8	1 0.4		10 3.8	1 0.4
精神障害	12 100.0	11 91.7	-	-	-	-		1 8.3	-
難病	143 100.0	118 82.5	12 8.4	5 3.5	4 2.8	-		4 2.8	-
無回答	3 100.0	2 66.7	-	-	1 33.3	-		-	-

問 31 あなたは、どのような目的で外出することが多いですか。(〇はいくつでも)

「通勤・通学・通所」の割合が93.6%と最も高く、次いで「買い物」の割合が46.1%、「医療機関への受診」の割合が40.5%となっています。

平成28年度調査と比較すると、全体では、大きな変化はみられません。また、難病のある方では、「訓練やリハビリ」の割合が増加しています。



【障害種別】

単位 上段:件、下段:%

	調査数	通勤・通学・通所	訓練やリハビリ	医療機関への受診	買い物	友人・知人と会う	趣味やスポーツ	グループ活動	散歩に行く	あまり外出しない	その他	無回答
全体	393 100.0	368 93.6	88 22.4	159 40.5	181 46.1	36 9.2	40 10.2	13 3.3	63 16.0	1 0.3	10 2.5	3 0.8
身体障害	206 100.0	189 91.7	73 35.4	107 51.9	83 40.3	20 9.7	13 6.3	8 3.9	27 13.1	1 0.5	6 2.9	3 1.5
知的障害	246 100.0	233 94.7	49 19.9	93 37.8	116 47.2	14 5.7	27 11.0	8 3.3	46 18.7	-	8 3.3	1 0.4
精神障害	12 100.0	11 91.7	1 8.3	9 75.0	8 66.7	1 8.3	1 8.3	-	2 16.7	-	-	-
難病	47 100.0	45 95.7	22 46.8	27 57.4	17 36.2	4 8.5	4 8.5	3 6.4	4 8.5	-	2 4.3	-
無回答	5 100.0	4 80.0	1 20.0	3 60.0	2 40.0	-	-	-	3 60.0	-	-	-

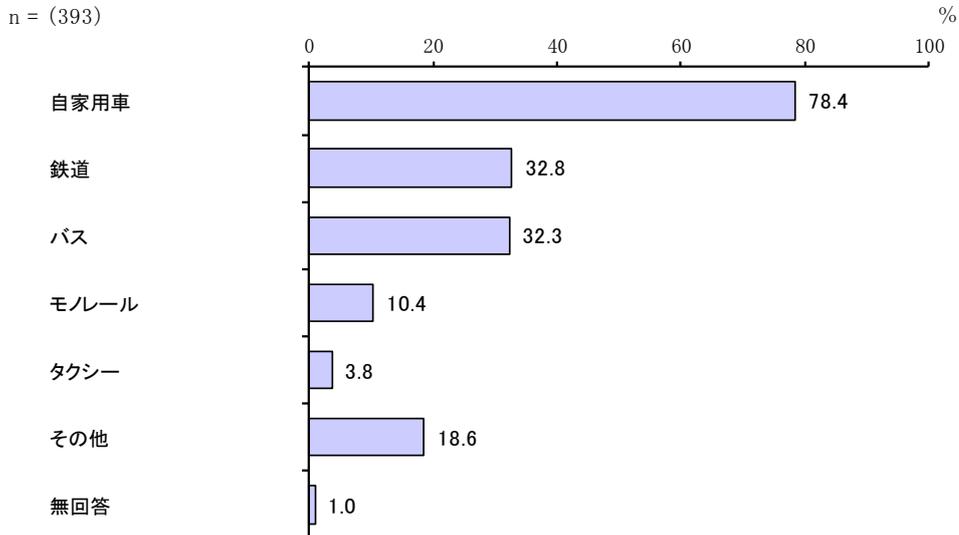
【平成 28 年度調査】

単位 上段:件、下段:%

	調査数	通勤・通学・通所	訓練やリハビリ	医療機関への受診	買い物	友人・知人と会う	趣味やスポーツ	グループ活動	散歩に行く	あまり外出しない	その他	無回答
全体	427 100.0	394 92.3	116 27.2	191 44.7	194 45.4	45 10.5	40 9.4	11 2.6	84 19.7	4 0.9	19 4.4	2 0.5
身体障害	239 100.0	214 89.5	93 38.9	135 56.5	103 43.1	31 13.0	17 7.1	3 1.3	37 15.5	2 0.8	4 1.7	2 0.8
知的障害	264 100.0	249 94.3	65 24.6	104 39.4	123 46.6	20 7.6	29 11.0	10 3.8	60 22.7	3 1.1	15 5.7	1 0.4
精神障害	12 100.0	11 91.7	5 41.7	8 66.7	7 58.3	2 16.7	3 25.0	-	1 8.3	1 8.3	-	-
難病	143 100.0	127 88.8	43 30.1	77 53.8	63 44.1	16 11.2	10 7.0	1 0.7	24 16.8	1 0.7	1 0.7	1 0.7
無回答	3 100.0	3 100.0	1 33.3	3 100.0	3 100.0	-	-	-	1 33.3	-	-	-

問 32 あなたは、外出時の移動手段について、何を利用していますか。
(〇はいくつでも)

「自家用車」の割合が78.4%と最も高く、次いで「鉄道」の割合が32.8%、「バス」の割合が32.3%となっています。



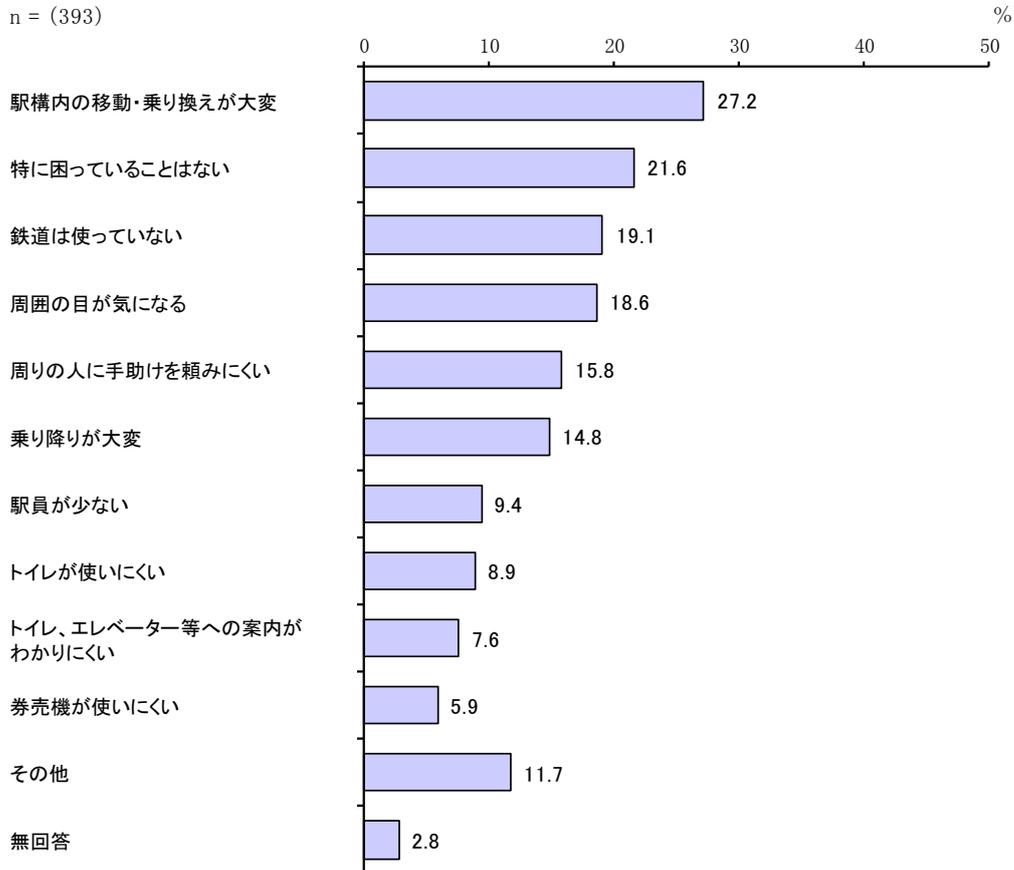
【障害種別】

単位 上段:件、下段:%

	調査数	鉄道	バス	モノレール	タクシー	自家用車	その他	無回答
全 体	393 100.0	129 32.8	127 32.3	41 10.4	15 3.8	308 78.4	73 18.6	4 1.0
身体障害	206 100.0	60 29.1	50 24.3	12 5.8	12 5.8	166 80.6	24 11.7	4 1.9
知的障害	246 100.0	78 31.7	85 34.6	27 11.0	8 3.3	194 78.9	49 19.9	1 0.4
精神障害	12 100.0	3 25.0	4 33.3	3 25.0	1 8.3	10 83.3	1 8.3	-
難病	47 100.0	13 27.7	9 19.1	4 8.5	-	41 87.2	6 12.8	-
無回答	5 100.0	2 40.0	2 40.0	1 20.0	1 20.0	4 80.0	-	-

問 33 あなたは、鉄道を利用する際に困っていることはありますか。
(○はいくつでも)

「駅構内の移動・乗り換えが大変」の割合が 27.2%と最も高く、次いで「特に困っていることはない」の割合が 21.6%、「鉄道は使っていない」の割合が 19.1%となっています。



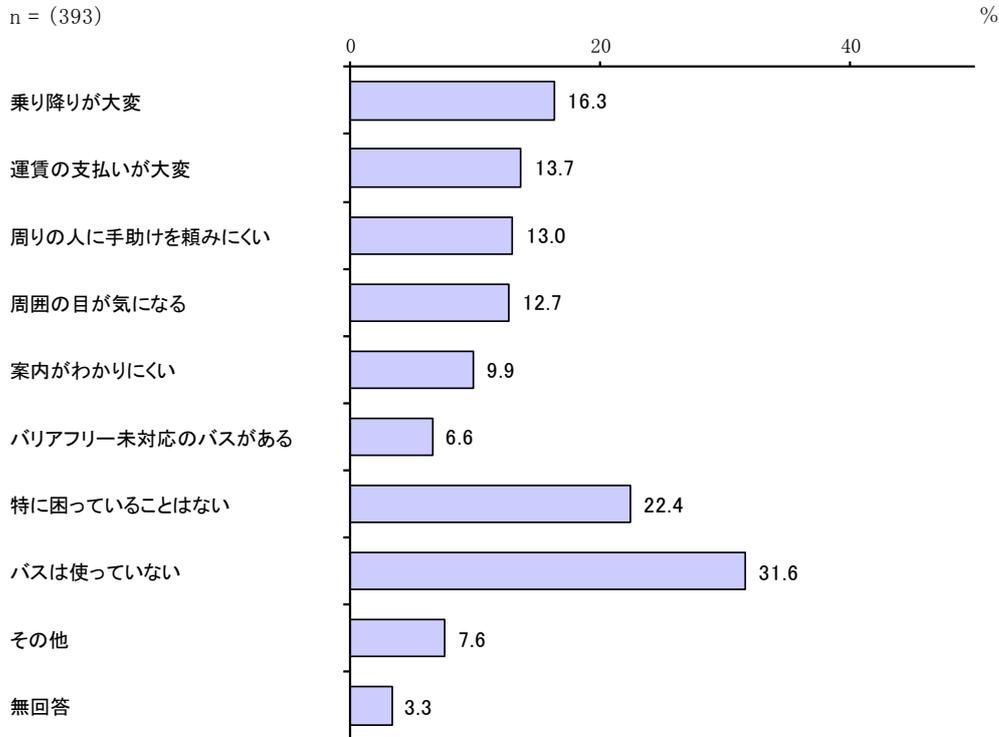
【障害種別】

単位 上段:件、下段:%

	調査数	乗り降りが大変	駅構内の移動・乗り換えが大変	トイレが使いにくい	券売機が使いにくい	トイレ、エレベーター等への案内がわかりにくい	駅員が少ない	周りの人に手助けを頼みにくい	周囲の目が気になる	特に困っていることはない	鉄道は使っていない	その他	無回答
全体	393	58	107	35	23	30	37	62	73	85	75	46	11
	100.0	14.8	27.2	8.9	5.9	7.6	9.4	15.8	18.6	21.6	19.1	11.7	2.8
身体障害	206	50	72	24	12	22	26	27	30	29	46	25	6
	100.0	24.3	35.0	11.7	5.8	10.7	12.6	13.1	14.6	14.1	22.3	12.1	2.9
知的障害	246	29	61	14	13	10	19	46	59	54	48	29	7
	100.0	11.8	24.8	5.7	5.3	4.1	7.7	18.7	24.0	22.0	19.5	11.8	2.8
精神障害	12	1	4	2	2	-	3	4	4	2	3	1	-
	100.0	8.3	33.3	16.7	16.7	-	25.0	33.3	33.3	16.7	25.0	8.3	-
難病	47	16	19	5	4	8	7	8	6	4	13	5	1
	100.0	34.0	40.4	10.6	8.5	17.0	14.9	17.0	12.8	8.5	27.7	10.6	2.1
無回答	5	-	2	-	1	1	-	1	2	1	2	-	-
	100.0	-	40.0	-	20.0	20.0	-	20.0	40.0	20.0	40.0	-	-

問 34 あなたは、バスを利用する際に困っていることはありますか。
(〇はいくつでも)

「バスは使っていない」の割合が 31.6%と最も高く、次いで「特に困っていることはない」の割合が 22.4%、「乗り降りが大変」の割合が 16.3%となっています。



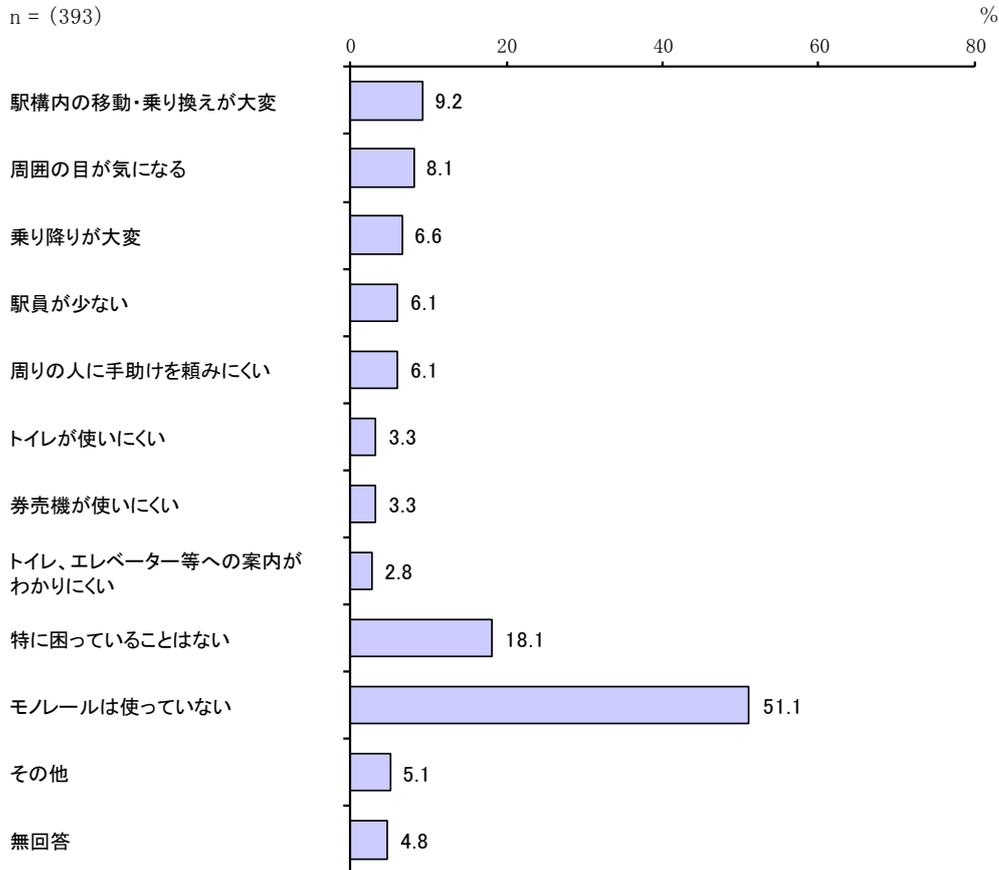
【障害種別】

単位 上段:件、下段:%

	調査数	乗り降り が大変	バリアフ リー未対 応のバス がある	案内がわ かりにくい	運賃の支 払いが大 変	周りの人 に手助け を頼みにく い	周囲の目 が気にな る	特に困っ ていること はない	バスは 使ってい ない	その他	無回答
全 体	393 100.0	64 16.3	26 6.6	39 9.9	54 13.7	51 13.0	50 12.7	88 22.4	124 31.6	30 7.6	13 3.3
身体障害	206 100.0	52 25.2	23 11.2	15 7.3	22 10.7	23 11.2	23 11.2	30 14.6	79 38.3	11 5.3	8 3.9
知的障害	246 100.0	31 12.6	10 4.1	25 10.2	40 16.3	39 15.9	37 15.0	56 22.8	74 30.1	21 8.5	7 2.8
精神障害	12 100.0	1 8.3	1 8.3	3 25.0	3 25.0	4 33.3	2 16.7	3 25.0	4 33.3	-	-
難病	47 100.0	15 31.9	5 10.6	2 4.3	8 17.0	9 19.1	6 12.8	4 8.5	18 38.3	5 10.6	2 4.3
無回答	5 100.0	1 20.0	-	-	2 40.0	1 20.0	2 40.0	1 20.0	2 40.0	-	-

問 35 あなたは、モノレールを利用する際に困っていることはありますか。
(〇はいくつでも)

「モノレールは使っていない」の割合が51.1%と最も高く、次いで「特に困っていることはない」の割合が18.1%となっています。



【障害種別】

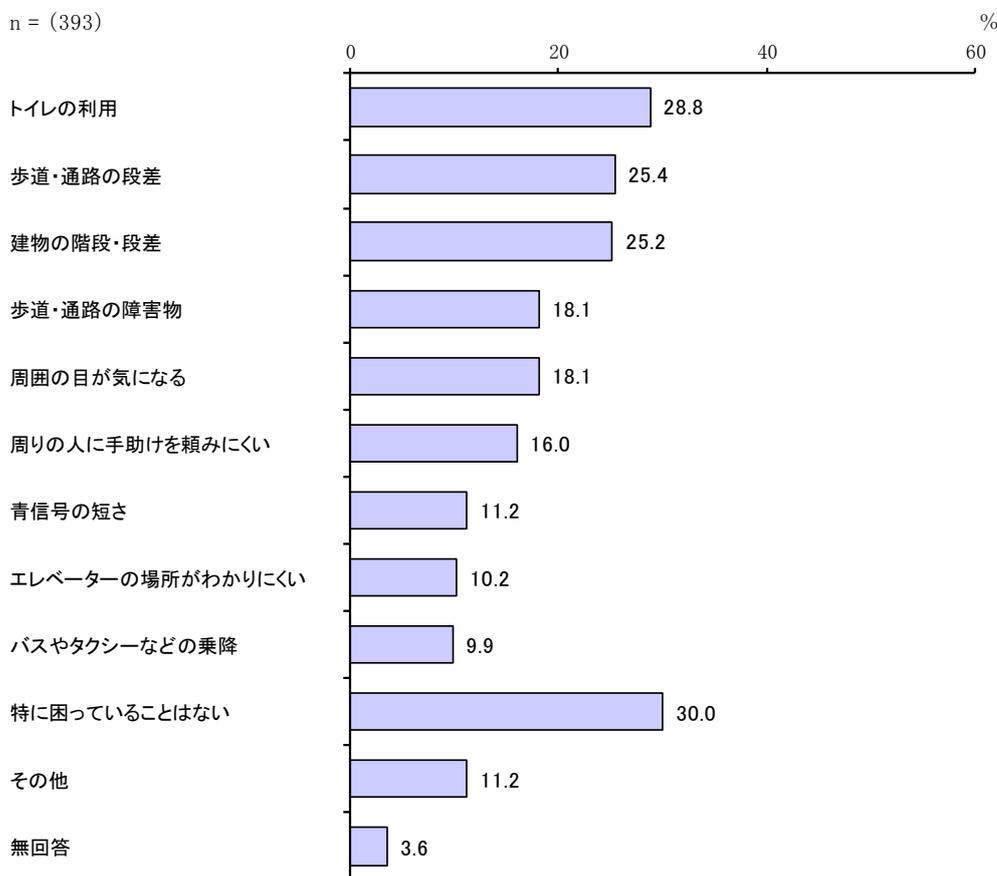
単位 上段:件、下段:%

	調査数	乗り降りが大変	駅構内の移動・乗り換えが大変	トイレが使いにくい	券売機が使いにくい	トイレ、エレベーター等への案内がわかりにくい	駅員が少ない	周りの人に手助けを頼みにくい	周囲の目が気になる	特に困っていることはない	モノレールは使っていない	その他	無回答
全体	393	26	36	13	13	11	24	24	32	71	201	20	19
	100.0	6.6	9.2	3.3	3.3	2.8	6.1	6.1	8.1	18.1	51.1	5.1	4.8
身体障害	206	21	21	8	4	6	13	9	11	24	120	8	11
	100.0	10.2	10.2	3.9	1.9	2.9	6.3	4.4	5.3	11.7	58.3	3.9	5.3
知的障害	246	12	26	8	9	7	15	19	28	45	123	13	11
	100.0	4.9	10.6	3.3	3.7	2.8	6.1	7.7	11.4	18.3	50.0	5.3	4.5
精神障害	12	-	-	-	1	-	1	2	2	-	6	1	1
	100.0	-	-	-	8.3	-	8.3	16.7	16.7	-	50.0	8.3	8.3
難病	47	6	5	2	2	2	2	3	2	9	26	-	2
	100.0	12.8	10.6	4.3	4.3	4.3	4.3	6.4	4.3	19.1	55.3	-	4.3
無回答	5	-	-	-	-	-	-	-	1	-	4	-	-
	100.0	-	-	-	-	-	-	-	20.0	-	80.0	-	-

問 36 あなたは、外出時に困っていることがありますか。(〇はいくつでも)

「特に困っていることはない」の割合が30.0%と最も高く、次いで「トイレの利用」の割合が28.8%、「歩道・通路の段差」の割合が25.4%となっています。

平成28年度調査と比較すると、全体では、「青信号の長さ」の割合が増加しています。また、難病のある方では、「建物の階段・段差」の割合が増加しています。



【障害種別】

単位 上段:件、下段:%

	調査数	歩道・通路の段差	青信号の長さ	歩道・通路の障害物	バスやタクシーなどの乗降	建物の階段・段差	エレベーターの場所がわかりにくい	トイレの利用	周りの人に手助けを頼みにくい	周囲の目が気になる	特に困っていることはない	その他	無回答
全体	393	100	44	71	39	99	40	113	63	71	118	44	14
	100.0	25.4	11.2	18.1	9.9	25.2	10.2	28.8	16.0	18.1	30.0	11.2	3.6
身体障害	206	88	21	58	32	89	35	80	26	31	45	24	8
	100.0	42.7	10.2	28.2	15.5	43.2	17.0	38.8	12.6	15.0	21.8	11.7	3.9
知的障害	246	49	26	38	19	47	20	64	49	53	72	29	10
	100.0	19.9	10.6	15.4	7.7	19.1	8.1	26.0	19.9	21.5	29.3	11.8	4.1
精神障害	12	4	4	2	2	2	-	5	5	3	-	1	1
	100.0	33.3	33.3	16.7	16.7	16.7	-	41.7	41.7	25.0	-	8.3	8.3
難病	47	20	4	17	10	21	11	24	10	7	6	6	1
	100.0	42.6	8.5	36.2	21.3	44.7	23.4	51.1	21.3	14.9	12.8	12.8	2.1
無回答	5	1	-	1	1	-	-	1	2	2	2	1	-
	100.0	20.0	-	20.0	20.0	-	-	20.0	40.0	40.0	40.0	20.0	-

【平成 28 年度調査】

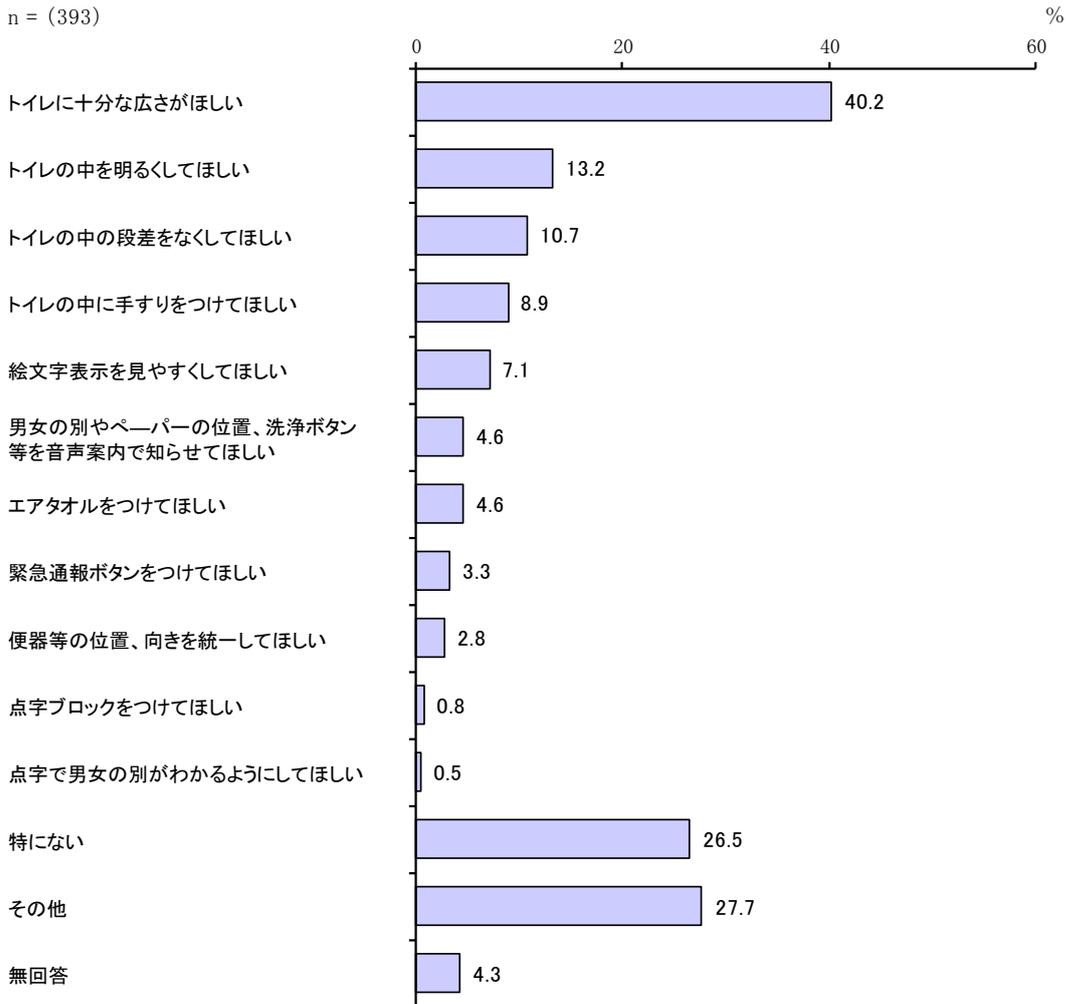
単位 上段:件、下段:%

	調査数	歩道・通路の段差	青信号の長さ	歩道・通路の障害物	バスやタクシーなどの乗降	建物の階段・段差	エレベーターの場所がわかりにくい	トイレの利用	周りの人に手助けを頼みにくい	周囲の目が気になる	特に困っていることはない	その他	無回答
全体	427 100.0	96 22.5	25 5.9	78 18.3	37 8.7	95 22.2	41 9.6	135 31.6	54 12.6	96 22.5	131 30.7	53 12.4	14 3.3
身体障害	239 100.0	89 37.2	19 7.9	70 29.3	30 12.6	81 33.9	32 13.4	93 38.9	27 11.3	50 20.9	56 23.4	30 12.6	8 3.3
知的障害	264 100.0	46 17.4	15 5.7	36 13.6	24 9.1	50 18.9	23 8.7	80 30.3	38 14.4	66 25.0	79 29.9	31 11.7	8 3.0
精神障害	12 100.0	3 25.0	2 16.7	3 25.0	4 33.3	3 25.0	2 16.7	4 33.3	3 25.0	3 25.0	1 8.3	2 16.7	1 8.3
難病	143 100.0	44 30.8	6 4.2	32 22.4	16 11.2	36 25.2	20 14.0	53 37.1	12 8.4	25 17.5	40 28.0	16 11.2	3 2.1
無回答	3 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3 100.0	-	-

問 37 外出先のトイレに望むことは何ですか。(〇はいくつでも)

「トイレに十分な広さがほしい」の割合が 40.2%と最も高く、次いで「特にない」の割合が 26.5%、「トイレの中を明るくしてほしい」の割合が 13.2%となっています。

n = (393)



【障害種別】

単位 上段:件、下段:%

	調査数	点字で男女の別がわかるようにしてほしい	男女の別やペーパーの位置、洗浄ボタン等を音声案内で知らせしてほしい	絵文字表示を見やすくしてほしい	トイレの中を明るくしてほしい	トイレの中の段差をなくしてほしい	点字ブロックをつけてほしい	便器等の位置、向きを統一してほしい
全体	393 100.0	2 0.5	18 4.6	28 7.1	52 13.2	42 10.7	3 0.8	11 2.8
身体障害	206 100.0	1 0.5	7 3.4	10 4.9	22 10.7	37 18.0	2 1.0	7 3.4
知的障害	246 100.0	1 0.4	14 5.7	21 8.5	35 14.2	20 8.1	2 0.8	8 3.3
精神障害	12 100.0	-	-	-	3 25.0	1 8.3	-	-
難病	47 100.0	-	1 2.1	-	14 29.8	15 31.9	-	1 2.1
無回答	5 100.0	-	-	-	1 20.0	-	-	-

	トイレの中に手すりをつけてほしい	エアタオルをつけてほしい	トイレに十分な広さがほしい	緊急通報ボタンをつけてほしい	特にない	その他	無回答
全体	35 8.9	18 4.6	158 40.2	13 3.3	104 26.5	109 27.7	17 4.3
身体障害	32 15.5	10 4.9	109 52.9	7 3.4	35 17.0	65 31.6	7 3.4
知的障害	16 6.5	13 5.3	93 37.8	9 3.7	63 25.6	76 30.9	12 4.9
精神障害	-	-	3 25.0	-	2 16.7	5 41.7	1 8.3
難病	9 19.1	2 4.3	30 63.8	4 8.5	3 6.4	16 34.0	2 4.3
無回答	-	-	2 40.0	-	1 20.0	1 20.0	-

【身体障害種別】

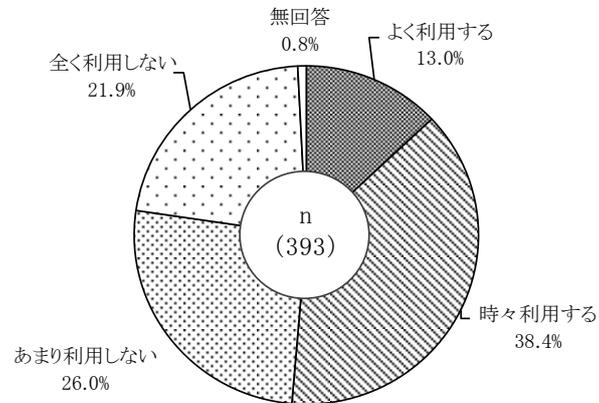
単位 上段:件、下段:%

	調査数	点字で男女の別がわかるようにしてほしい	男女の別やペーパーの位置、洗浄ボタン等を音声案内で知らせてほしい	絵文字表示を見やすくしてほしい	トイレの中を明るくしてほしい	トイレの中の段差をなくしてほしい	点字ブロックをつけてほしい	便器等の位置、向きを統一してほしい
全 体	206 100.0	1 0.5	7 3.4	10 4.9	22 10.7	37 18.0	2 1.0	7 3.4
肢体不自由	141 100.0	-	1 0.7	1 0.7	14 9.9	31 22.0	-	4 2.8
音声・言語・そしゃく機能障害	3 100.0	-	-	-	-	-	-	-
視覚障害	8 100.0	1 12.5	4 50.0	2 25.0	-	3 37.5	2 25.0	3 37.5
聴覚・平衡機能障害	38 100.0	-	1 2.6	5 13.2	5 13.2	-	-	-
内部機能障害(免疫機能障害を含む)	34 100.0	-	1 2.9	2 5.9	4 11.8	3 8.8	-	-
無回答	2 100.0	-	-	-	-	-	-	-

	トイレの中に手すりをつけてほしい	エアタオルをつけてほしい	トイレに十分な広さがほしい	緊急通報ボタンをつけてほしい	特にない	その他	無回答
全 体	32 15.5	10 4.9	109 52.9	7 3.4	35 17.0	65 31.6	7 3.4
肢体不自由	28 19.9	7 5.0	87 61.7	5 3.5	10 7.1	59 41.8	5 3.5
音声・言語・そしゃく機能障害	-	1 33.3	2 66.7	-	-	2 66.7	-
視覚障害	-	-	3 37.5	-	-	2 25.0	-
聴覚・平衡機能障害	2 5.3	-	12 31.6	1 2.6	14 36.8	6 15.8	2 5.3
内部機能障害(免疫機能障害を含む)	3 8.8	4 11.8	16 47.1	1 2.9	9 26.5	7 20.6	1 2.9
無回答	-	-	-	-	2 100.0	-	-

問 38 あなたは日頃、近くの公園を利用していますか。(○は1つ)

「よく利用する」と「時々利用する」をあわせた“利用する”の割合が 51.4%、「あまり利用しない」と「全く利用しない」をあわせた“利用しない”の割合が 47.9%となっています。



【障害種別】

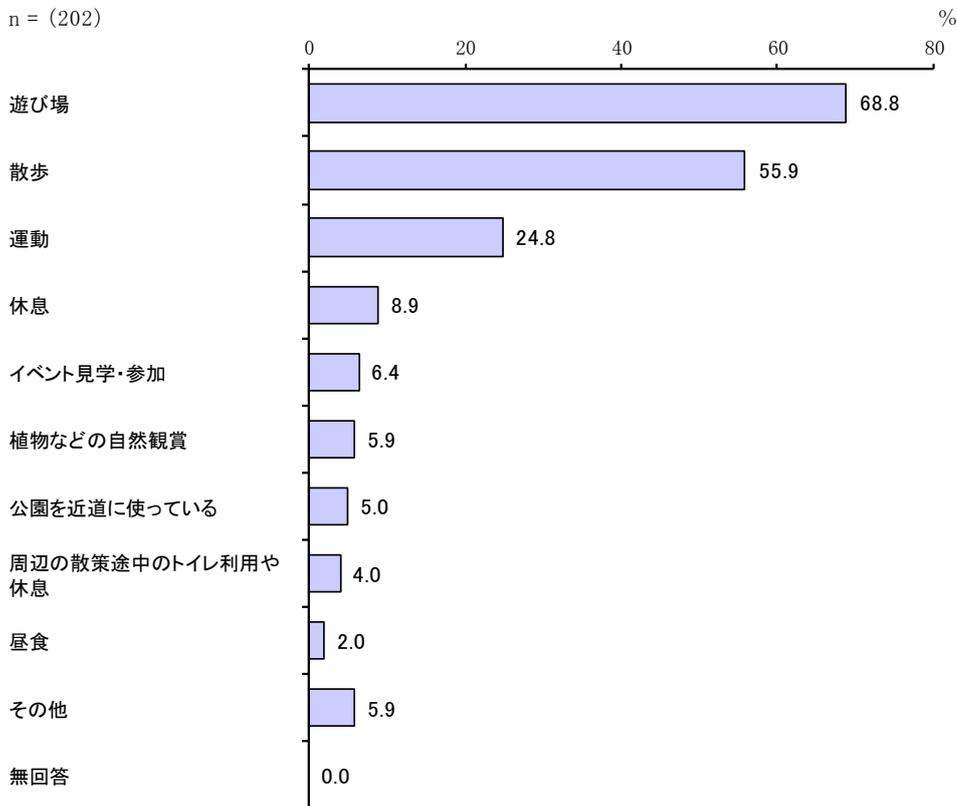
単位 上段：件、下段：%

	調査数	よく利用する	時々利用する	あまり利用しない	全く利用しない	無回答
全 体	393	51	151	102	86	3
	100.0	13.0	38.4	26.0	21.9	0.8
身体障害	206	25	66	56	57	2
	100.0	12.1	32.0	27.2	27.7	1.0
知的障害	246	34	105	58	48	1
	100.0	13.8	42.7	23.6	19.5	0.4
精神障害	12	-	4	3	5	-
	100.0	-	33.3	25.0	41.7	-
難病	47	5	13	12	17	-
	100.0	10.6	27.7	25.5	36.2	-
無回答	5	1	2	1	1	-
	100.0	20.0	40.0	20.0	20.0	-

問 39 【問 38 で「よく利用する」または「時々利用する」に○をつけた方におたずね
 します。】

あなたが公園を利用する目的は何ですか。(○はいくつでも)

「遊び場」の割合が 68.8%と最も高く、次いで「散歩」の割合が 55.9%、「運動」の割合が 24.8%
 となっています。



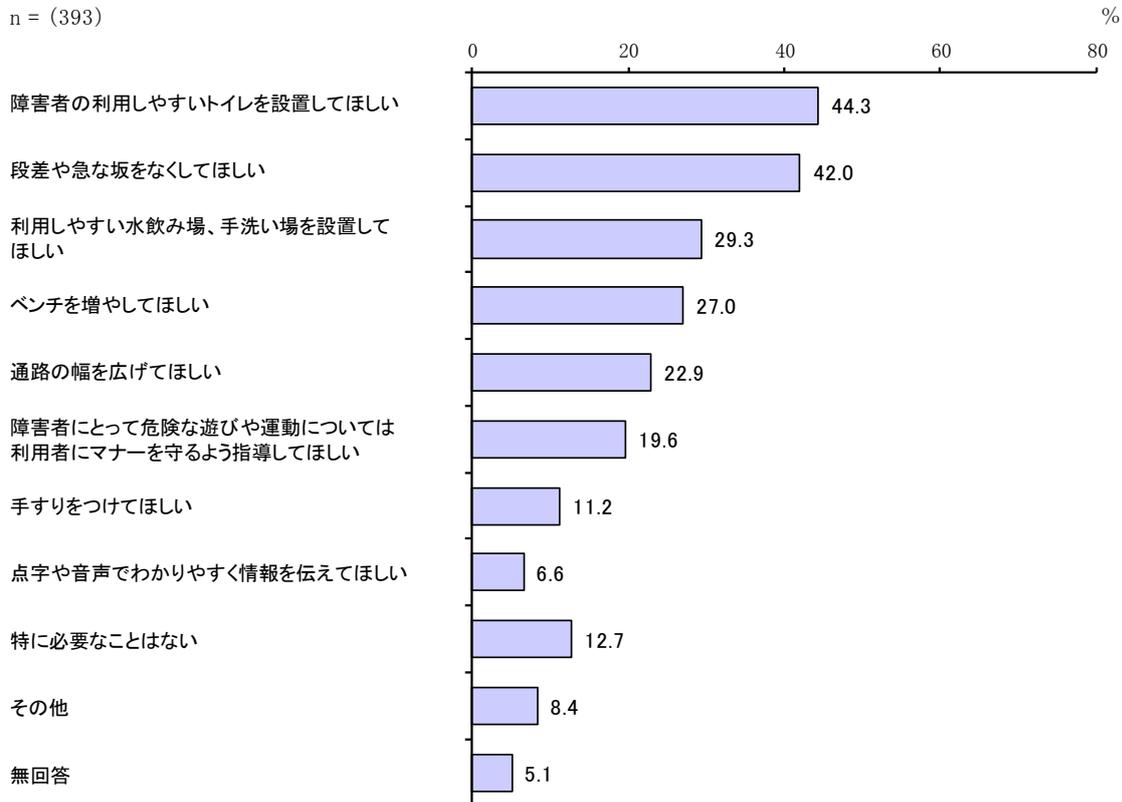
【障害種別】

単位 上段:件、下段:%

	調査数	散歩	運動	休息	植物などの自然観賞	昼食	公園を近道に使っている	周辺の散策途中のトイレ利用や休息	遊び場	イベント見学・参加	その他	無回答
全体	202	113	50	18	12	4	10	8	139	13	12	-
	100.0	55.9	24.8	8.9	5.9	2.0	5.0	4.0	68.8	6.4	5.9	-
身体障害	91	59	15	8	6	2	4	2	59	8	4	-
	100.0	64.8	16.5	8.8	6.6	2.2	4.4	2.2	64.8	8.8	4.4	-
知的障害	139	81	38	12	8	3	5	7	90	8	10	-
	100.0	58.3	27.3	8.6	5.8	2.2	3.6	5.0	64.7	5.8	7.2	-
精神障害	4	3	2	-	-	-	1	-	2	-	-	-
	100.0	75.0	50.0	-	-	-	25.0	-	50.0	-	-	-
難病	18	12	4	2	1	-	-	-	13	-	2	-
	100.0	66.7	22.2	11.1	5.6	-	-	-	72.2	-	11.1	-
無回答	3	1	2	2	-	-	-	1	3	-	1	-
	100.0	33.3	66.7	66.7	-	-	-	33.3	100.0	-	33.3	-

問 40 あなたは、障害者が安心して公園を利用できるようにするために、何が必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

「障害者の利用しやすいトイレを設置してほしい」の割合が 44.3%と最も高く、次いで「段差や急な坂をなくしてほしい」の割合が 42.0%、「利用しやすい水飲み場、手洗い場を設置してほしい」の割合が 29.3%となっています。



【障害種別】

単位 上段:件、下段:%

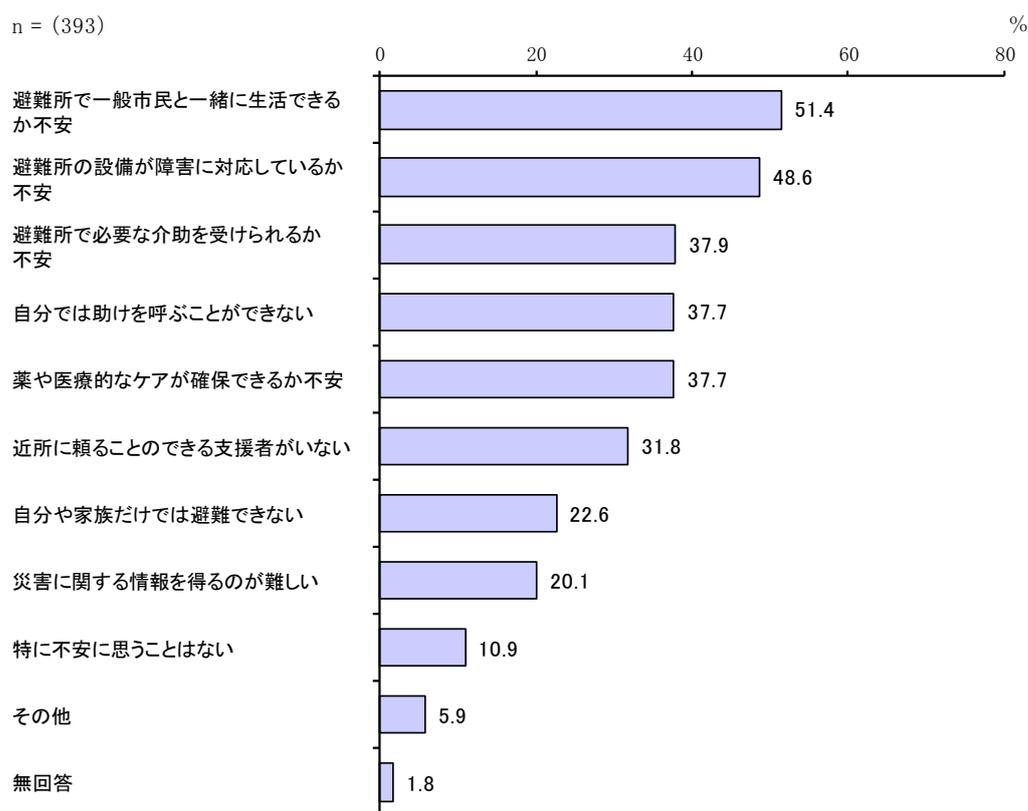
	調査数	通路の幅を広げてほしい	手すりをつけてほしい	段差や急な坂をなくしてほしい	点字や音声でわかりやすく情報を伝えてほしい	障害者の利用しやすいトイレを設置してほしい	障害者にとって危険な遊びや運動については利用者にマナーを守るよう指導してほしい	ベンチを増やしてほしい	利用しやすい水飲み場、手洗い場を設置してほしい	特に必要なことはない	その他	無回答
全体	393	90	44	165	26	174	77	106	115	50	33	20
	100.0	22.9	11.2	42.0	6.6	44.3	19.6	27.0	29.3	12.7	8.4	5.1
身体障害	206	65	26	114	14	102	30	46	52	19	19	12
	100.0	31.6	12.6	55.3	6.8	49.5	14.6	22.3	25.2	9.2	9.2	5.8
知的障害	246	46	27	98	15	105	56	72	80	30	22	9
	100.0	18.7	11.0	39.8	6.1	42.7	22.8	29.3	32.5	12.2	8.9	3.7
精神障害	12	3	1	4	1	7	3	6	5	1	2	2
	100.0	25.0	8.3	33.3	8.3	58.3	25.0	50.0	41.7	8.3	16.7	16.7
難病	47	23	9	30	2	21	6	10	11	1	9	3
	100.0	48.9	19.1	63.8	4.3	44.7	12.8	21.3	23.4	2.1	19.1	6.4
無回答	5	1	-	-	-	4	-	1	1	-	-	-
	100.0	20.0	-	-	-	80.0	-	20.0	20.0	20.0	-	-

(7) 災害対策について

問 41 あなた（や保護者・ご家族の方）は、地震などの災害が起きた時について、どのようなことを不安に思いますか。（〇はいくつでも）

「避難所で一般市民と一緒に生活できるか不安」の割合が 51.4%と最も高く、次いで「避難所の設備が障害に対応しているか不安」の割合が 48.6%、「避難所で必要な介助を受けられるか不安」の割合が 37.9%となっています。

平成 28 年度調査と比較すると、全体では、「災害に関する情報を得るのが難しい」、「薬や医療的なケアが確保できるか不安」の割合が減少しています。また、難病のある方では、「避難所で必要な介助を受けられるか不安」の割合が増加しています。



※令和元年度調査の「近所に頼ることのできる支援者がいない」は新たに追加された選択肢です。

【障害種別】

単位 上段:件、下段:%

	調査数	自分や家族だけでは避難できない	自分では助けを呼ぶことができない	近所に頼ることでできる支援者がいない	災害に関する情報を得るのが難しい	避難所の設備が障害に対応しているか不安	避難所で必要な介助を受けられるか不安	避難所で一般市民と一緒に生活できるか不安	薬や医療的なケアが確保できるか不安	特に不安に思うことはない	その他	無回答
全体	393 100.0	89 22.6	148 37.7	125 31.8	79 20.1	191 48.6	149 37.9	202 51.4	148 37.7	43 10.9	23 5.9	7 1.8
身体障害	206 100.0	59 28.6	66 32.0	70 34.0	44 21.4	124 60.2	100 48.5	98 47.6	107 51.9	23 11.2	11 5.3	2 1.0
知的障害	246 100.0	58 23.6	118 48.0	91 37.0	48 19.5	120 48.8	88 35.8	145 58.9	82 33.3	20 8.1	14 5.7	5 2.0
精神障害	12 100.0	3 25.0	5 41.7	7 58.3	2 16.7	7 58.3	7 58.3	8 66.7	5 41.7	-	1 8.3	-
難病	47 100.0	17 36.2	22 46.8	17 36.2	9 19.1	35 74.5	33 70.2	29 61.7	31 66.0	1 2.1	5 10.6	-
無回答	5 100.0	1 20.0	3 60.0	2 40.0	-	3 60.0	2 40.0	3 60.0	1 20.0	-	-	-

【平成 28 年度調査】

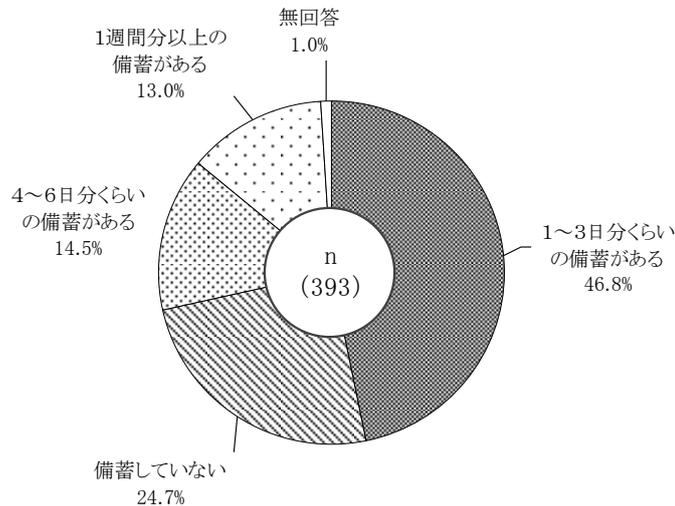
単位 上段:件、下段:%

	調査数	自分や家族だけでは避難できない	自分では助けを呼ぶことができない	近所に頼ることでできる支援者がいない	災害に関する情報を得るのが難しい	避難所の設備が障害に対応しているか不安	避難所で必要な介助を受けられるか不安	避難所で一般市民と一緒に生活できるか不安	薬や医療的なケアが確保できるか不安	特に不安に思うことはない	その他	無回答
全体	427 100.0	104 24.4	168 39.3	111 26.0	227 53.2	176 41.2	227 53.2	192 45.0	26 6.1	24 5.6	7 1.6	
身体障害	239 100.0	65 27.2	79 33.1	62 25.9	144 60.3	108 45.2	109 45.6	129 54.0	11 4.6	15 6.3	3 1.3	
知的障害	264 100.0	65 24.6	122 46.2	71 26.9	143 54.2	112 42.4	169 64.0	105 39.8	15 5.7	16 6.1	4 1.5	
精神障害	12 100.0	5 41.7	7 58.3	6 50.0	8 66.7	7 58.3	6 50.0	9 75.0	-	2 16.7	-	
難病	143 100.0	35 24.5	49 34.3	30 21.0	82 57.3	64 44.8	67 46.9	85 59.4	9 6.3	5 3.5	2 1.4	
無回答	3 100.0	-	-	-	1 33.3	2 66.7	-	2 66.7	-	-	-	

問 42 あなたは、災害発生に備えて、避難生活に必要な物資（薬や装具等）を、備蓄していますか。（○は1つ）

「1～3日分くらいの備蓄がある」の割合が46.8%と最も高く、次いで「備蓄していない」の割合が24.7%、「4～6日分くらいの備蓄がある」の割合が14.5%となっています。

平成28年度調査と比較すると、全体では、大きな変化はみられません。また、精神障害のある方では、「備蓄していない」の割合が増加しています。



【障害種別】

単位 上段：件、下段：%

	調査数	1週間分以上の備蓄がある	4～6日分くらいの備蓄がある	1～3日分くらいの備蓄がある	備蓄していない	無回答
全 体	393 100.0	51 13.0	57 14.5	184 46.8	97 24.7	4 1.0
身体障害	206 100.0	40 19.4	29 14.1	96 46.6	39 18.9	2 1.0
知的障害	246 100.0	19 7.7	39 15.9	117 47.6	69 28.0	2 0.8
精神障害	12 100.0	-	-	4 33.3	8 66.7	-
難病	47 100.0	10 21.3	6 12.8	23 48.9	7 14.9	1 2.1
無回答	5 100.0	1 20.0	1 20.0	-	3 60.0	-

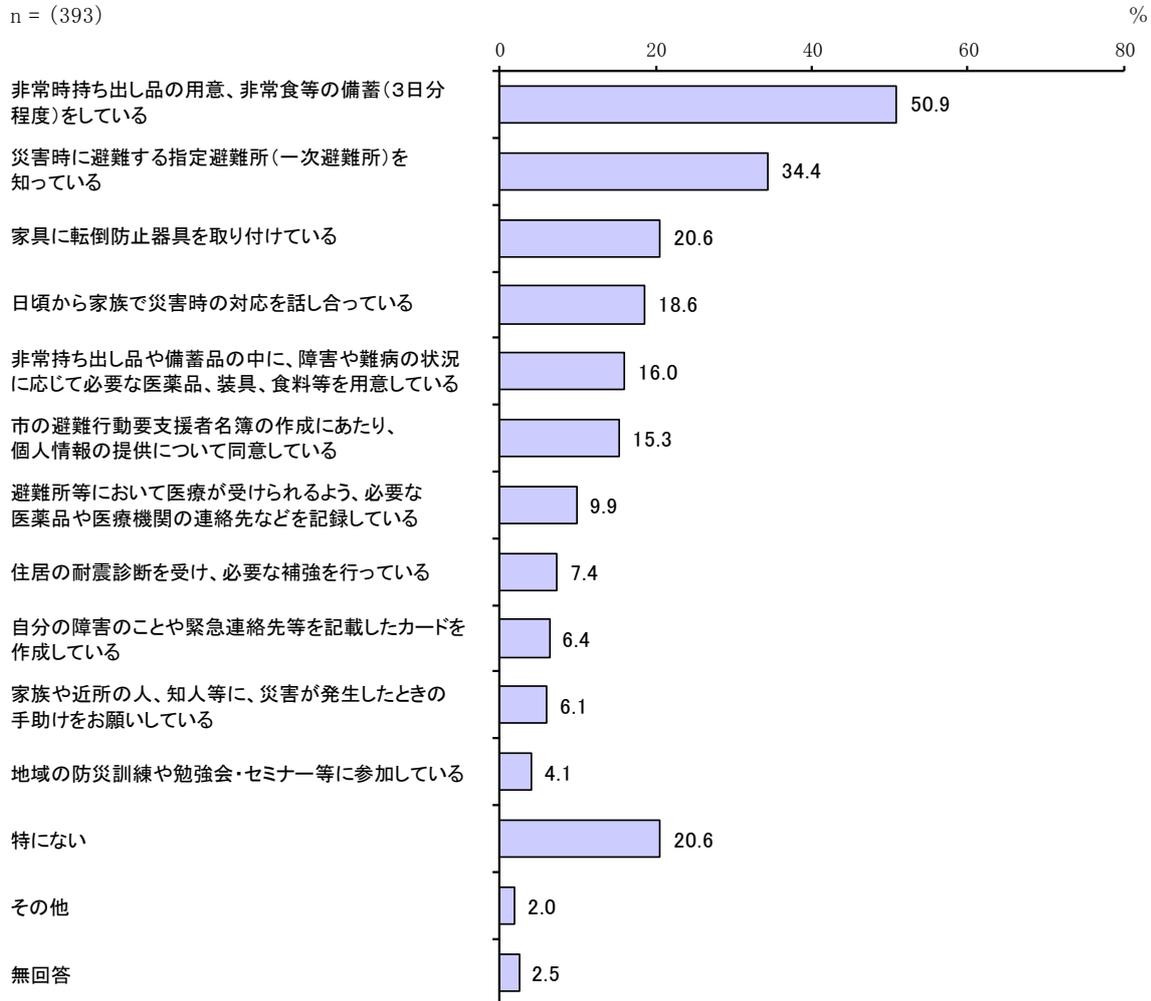
【平成28年度調査】

単位 上段：件、下段：%

	調査数	1週間分以上の備蓄がある	4～6日分くらいの備蓄がある	1～3日分くらいの備蓄がある	備蓄していない	無回答
全 体	427 100.0	71 16.6	44 10.3	203 47.5	105 24.6	4 0.9
身体障害	239 100.0	53 22.2	30 12.6	100 41.8	54 22.6	2 0.8
知的障害	264 100.0	39 14.8	24 9.1	137 51.9	62 23.5	2 0.8
精神障害	12 100.0	5 41.7	2 16.7	2 16.7	3 25.0	-
難病	143 100.0	34 23.8	17 11.9	59 41.3	31 21.7	2 1.4
無回答	3 100.0	-	2 66.7	-	1 33.3	-

問 43 あなたは、災害に対してどのような備えをしていますか。(〇はいくつでも)

「非常時持ち出し品の用意、非常食等の備蓄（3日分程度）をしている」の割合が50.9%と最も高く、次いで「災害時に避難する指定避難所（一次避難所）を知っている」の割合が34.4%、「家具に転倒防止器具を取り付けている」、「特にない」の割合が20.6%となっています。



【障害種別】

単位 上段:件、下段:%

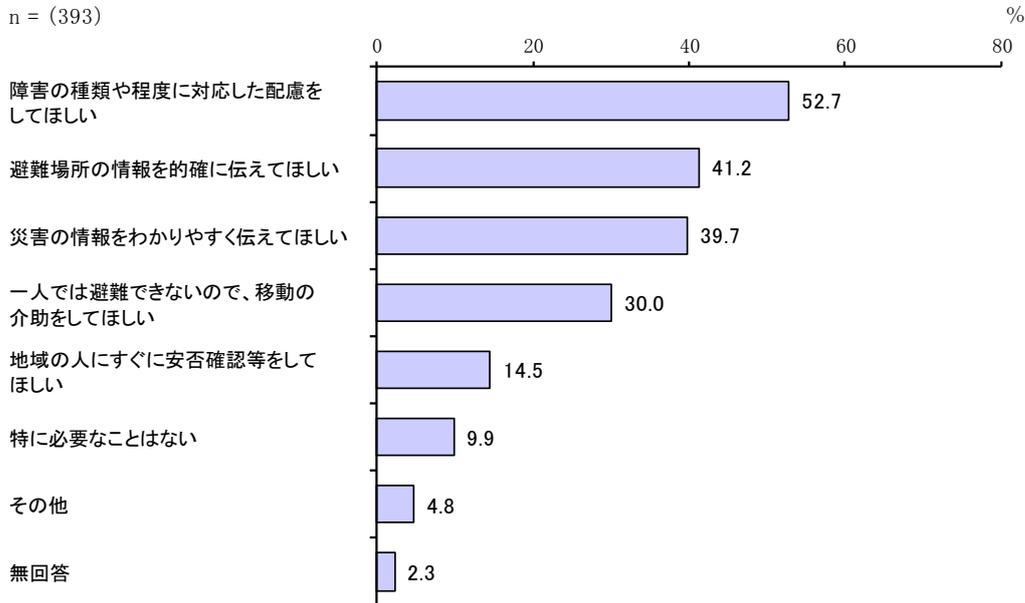
	調査数	日頃から家族で災害時の対応を話し合っている	非常時持ち出し品の用意、非常食等の備蓄(3日分程度)をしている	非常持ち出し品や備蓄品の中に、障害や難病の状況に応じて必要な医薬品、装具、食料等を用意している	避難所等において医療が受けられるよう、必要な医薬品や医療機関の連絡先などを記録している	家族や近所の人、知人等に、災害が発生したときの手助けをお願いしている	自分の障害のことや緊急連絡先等を記載したカードを作成している	市の避難行動要支援者名簿の作成にあたり、個人情報の提供について同意している
全体	393 100.0	73 18.6	200 50.9	63 16.0	39 9.9	24 6.1	25 6.4	60 15.3
身体障害	206 100.0	41 19.9	109 52.9	54 26.2	30 14.6	14 6.8	16 7.8	42 20.4
知的障害	246 100.0	35 14.2	128 52.0	30 12.2	19 7.7	13 5.3	14 5.7	37 15.0
精神障害	12 100.0	1 8.3	4 33.3	-	-	1 8.3	-	1 8.3
難病	47 100.0	7 14.9	23 48.9	17 36.2	8 17.0	6 12.8	8 17.0	12 25.5
無回答	5 100.0	2 40.0	3 60.0	-	-	1 20.0	-	-

	家具に転倒防止器具を取り付けている	住居の耐震診断を受け、必要な補強を行っている	災害時に避難する指定避難所(一次避難所)を知っている	地域の防災訓練や勉強会・セミナー等に参加している	特になし	その他	無回答
全体	81 20.6	29 7.4	135 34.4	16 4.1	81 20.6	8 2.0	10 2.5
身体障害	43 20.9	17 8.3	69 33.5	7 3.4	34 16.5	4 1.9	5 2.4
知的障害	51 20.7	18 7.3	83 33.7	12 4.9	53 21.5	7 2.8	7 2.8
精神障害	-	-	3 25.0	-	6 50.0	-	1 8.3
難病	15 31.9	5 10.6	16 34.0	3 6.4	7 14.9	2 4.3	1 2.1
無回答	2 40.0	1 20.0	2 40.0	-	2 40.0	-	-

問 44 あなたは、災害で避難する場合に、どのような支援をしてほしいですか。
(〇はいくつでも)

「障害の種類や程度に対応した配慮をしてほしい」の割合が 52.7%と最も高く、次いで「避難場所の情報を的確に伝えてほしい」の割合が 41.2%、「災害の情報をわかりやすく伝えてほしい」の割合が 39.7%となっています。

n = (393)



【障害種別】

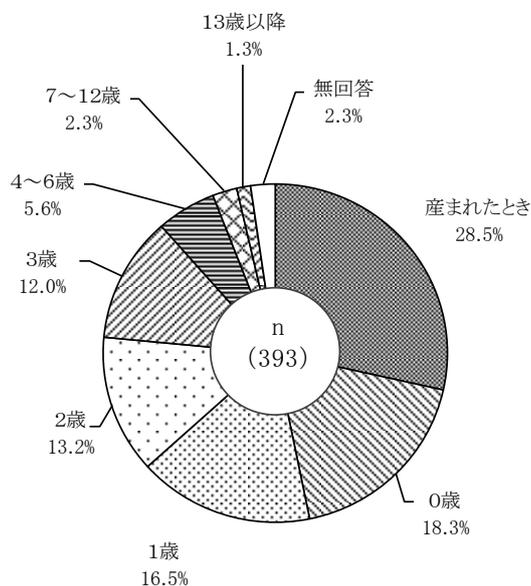
単位 上段:件、下段:%

	調査数	一人では避難できないので、移動の介助をしてほしい	災害の情報をわかりやすく伝えてほしい	障害の種類や程度に対応した配慮をしてほしい	地域の人にすぐに安否確認等をしてほしい	避難場所の情報を的確に伝えてほしい	特に必要なことはない	その他	無回答
全体	393	118	156	207	57	162	39	19	9
	100.0	30.0	39.7	52.7	14.5	41.2	9.9	4.8	2.3
身体障害	206	73	78	110	26	74	18	11	5
	100.0	35.4	37.9	53.4	12.6	35.9	8.7	5.3	2.4
知的障害	246	80	101	134	40	114	22	15	7
	100.0	32.5	41.1	54.5	16.3	46.3	8.9	6.1	2.8
精神障害	12	4	5	9	1	6	-	-	-
	100.0	33.3	41.7	75.0	8.3	50.0	-	-	-
難病	47	21	18	31	7	23	-	3	-
	100.0	44.7	38.3	66.0	14.9	48.9	-	6.4	-
無回答	5	2	1	4	2	2	-	-	-
	100.0	40.0	20.0	80.0	40.0	40.0	-	-	-

(8) 療育・保育について

問 45 保護者・ご家族の方が、あて名のお子さんの障害に気づいたのはいつですか。
(○は1つ)

「産まれたとき」の割合が 28.5%と最も高く、次いで「0歳」の割合が 18.3%、「1歳」の割合が 16.5%となっています。



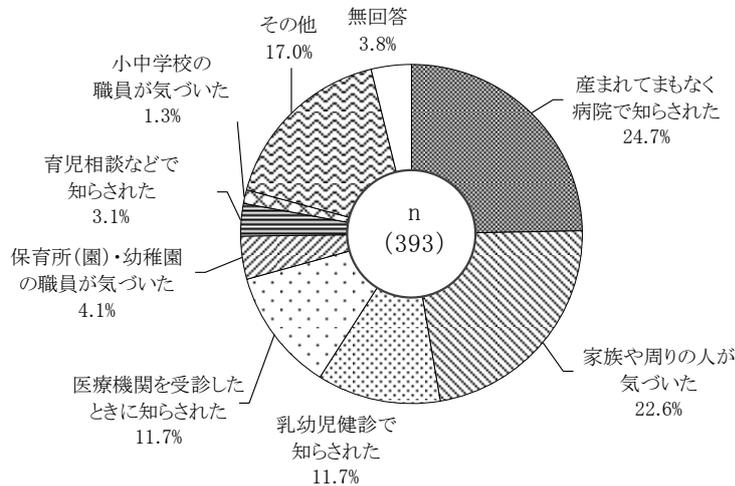
【障害種別】

単位 上段:件、下段:%

	調査数	産まれたとき	0歳	1歳	2歳	3歳	4~6歳	7~12歳	13歳以降	無回答
全体	393	112	72	65	52	47	22	9	5	9
	100.0	28.5	18.3	16.5	13.2	12.0	5.6	2.3	1.3	2.3
身体障害	206	89	52	27	13	9	3	2	3	8
	100.0	43.2	25.2	13.1	6.3	4.4	1.5	1.0	1.5	3.9
知的障害	246	48	41	44	39	40	21	7	3	3
	100.0	19.5	16.7	17.9	15.9	16.3	8.5	2.8	1.2	1.2
精神障害	12	1	4	-	4	2	-	-	-	1
	100.0	8.3	33.3	-	33.3	16.7	-	-	-	8.3
難病	47	22	13	5	3	-	1	-	-	3
	100.0	46.8	27.7	10.6	6.4	-	2.1	-	-	6.4
無回答	5	2	1	-	1	-	-	-	1	-
	100.0	40.0	20.0	-	20.0	-	-	-	20.0	-

問 46 保護者・ご家族の方が、あて名のお子さんの障害に気づいたきっかけは何ですか。(〇は1つ)

「産まれてまもなく病院で知らされた」の割合が24.7%と最も高く、次いで「家族や周りの人が気づいた」の割合が22.6%、「乳幼児健診で知らされた」、「医療機関を受診したときに知らされた」の割合が11.7%となっています。



【障害種別】

単位 上段:件、下段:%

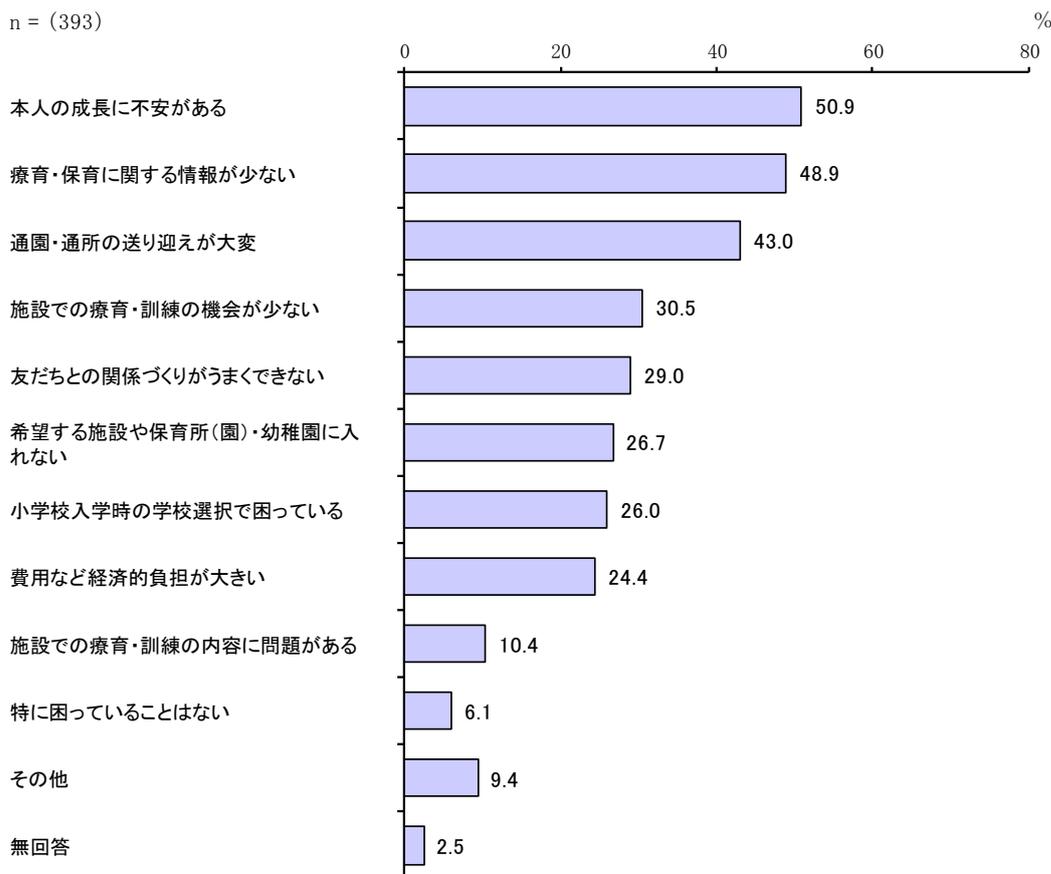
	調査数	産まれてまもなく病院で知らされた	家族や周りの人が気づいた	乳幼児健診で知らされた	医療機関を受診したときに知らされた	育児相談などで知らされた	保育所(園)・幼稚園の職員が気づいた	小中学校の職員が気づいた	その他	無回答
全体	393	97	89	46	46	12	16	5	67	15
	100.0	24.7	22.6	11.7	11.7	3.1	4.1	1.3	17.0	3.8
身体障害	206	75	34	12	35	2	1	1	39	7
	100.0	36.4	16.5	5.8	17.0	1.0	0.5	0.5	18.9	3.4
知的障害	246	48	57	35	26	9	16	5	41	9
	100.0	19.5	23.2	14.2	10.6	3.7	6.5	2.0	16.7	3.7
精神障害	12	2	4	-	1	-	-	-	4	1
	100.0	16.7	33.3	-	8.3	-	-	-	33.3	8.3
難病	47	15	8	4	9	-	-	-	8	3
	100.0	31.9	17.0	8.5	19.1	-	-	-	17.0	6.4
無回答	5	1	2	-	-	-	-	-	1	1
	100.0	20.0	40.0	-	-	-	-	-	20.0	20.0

問 47 保護者・ご家族の方が、あて名のお子さんの療育・保育について困っている
(または以前に困ったことがある) ことはありますか。(〇はいくつでも)

「本人の成長に不安がある」の割合が 50.9%と最も高く、次いで「療育・保育に関する情報が少ない」の割合が 48.9%、「通園・通所の送り迎えが大変」の割合が 43.0%となっています。

年齢別で見ると、他に比べ、9～11歳で「療育・保育に関する情報が少ない」の割合が、3～5歳で「本人の成長に不安がある」の割合が高く、約6割となっています。

平成 28 年度調査と比較すると、全体では、「施設での療育・訓練の機会が少ない」、「本人の成長に不安がある」の割合が減少しています。



【障害種別】

単位 上段:件、下段:%

	調査数	療育・保育に関する情報が少ない	希望する施設や保育所(園)・幼稚園に入れない	施設での療育・訓練の機会が少ない	施設での療育・訓練の内容に問題がある	本人の成長に不安がある	友だちとの関係づくりがうまくできない	通園・通所の送り迎えが大変	費用など経済的負担が大きい	小学校入学時の学校選択で困っている	特に困っていることはない	その他	無回答
全体	393 100.0	192 48.9	105 26.7	120 30.5	41 10.4	200 50.9	114 29.0	169 43.0	96 24.4	102 26.0	24 6.1	37 9.4	10 2.5
身体障害	206 100.0	94 45.6	58 28.2	53 25.7	15 7.3	87 42.2	39 18.9	92 44.7	53 25.7	50 24.3	14 6.8	18 8.7	8 3.9
知的障害	246 100.0	138 56.1	70 28.5	87 35.4	32 13.0	141 57.3	77 31.3	106 43.1	61 24.8	63 25.6	13 5.3	24 9.8	5 2.0
精神障害	12 100.0	9 75.0	5 41.7	3 25.0	1 8.3	6 50.0	5 41.7	10 83.3	6 50.0	1 8.3	-	1 8.3	1 8.3
難病	47 100.0	23 48.9	16 34.0	14 29.8	6 12.8	25 53.2	12 25.5	23 48.9	14 29.8	13 27.7	-	4 8.5	2 4.3
無回答	5 100.0	1 20.0	-	3 60.0	1 20.0	3 60.0	2 40.0	3 60.0	1 20.0	3 60.0	1 20.0	-	-

【年齢別】

単位 上段:件、下段:%

	調査数	療育・保育に関する情報が少ない	希望する施設や保育所(園)・幼稚園に入れない	施設での療育・訓練の機会が少ない	施設での療育・訓練の内容に問題がある	本人の成長に不安がある	友だちとの関係づくりがうまくできない	通園・通所の送り迎えが大変	費用など経済的負担が大きい	小学校入学時の学校選択で困っている	特に困っていることはない	その他	無回答
全体	393 100.0	192 48.9	105 26.7	120 30.5	41 10.4	200 50.9	114 29.0	169 43.0	96 24.4	102 26.0	24 6.1	37 9.4	10 2.5
0~2歳	15 100.0	7 46.7	4 26.7	6 40.0	3 20.0	7 46.7	1 6.7	5 33.3	4 26.7	2 13.3	-	1 6.7	2 13.3
3~5歳	55 100.0	28 50.9	17 30.9	13 23.6	6 10.9	32 58.2	13 23.6	29 52.7	13 23.6	28 50.9	3 5.5	5 9.1	-
6~8歳	69 100.0	32 46.4	24 34.8	22 31.9	6 8.7	31 44.9	24 34.8	37 53.6	23 33.3	20 29.0	4 5.8	3 4.3	1 1.4
9~11歳	92 100.0	58 63.0	25 27.2	31 33.7	10 10.9	47 51.1	25 27.2	40 43.5	17 18.5	25 27.2	6 6.5	10 10.9	1 1.1
12~14歳	73 100.0	33 45.2	13 17.8	19 26.0	4 5.5	40 54.8	27 37.0	28 38.4	17 23.3	15 20.5	3 4.1	4 5.5	3 4.1
15~17歳	79 100.0	29 36.7	19 24.1	27 34.2	10 12.7	38 48.1	21 26.6	25 31.6	19 24.1	12 15.2	8 10.1	13 16.5	3 3.8
無回答	10 100.0	5 50.0	3 30.0	2 20.0	2 20.0	5 50.0	3 30.0	5 50.0	3 30.0	-	-	1 10.0	-

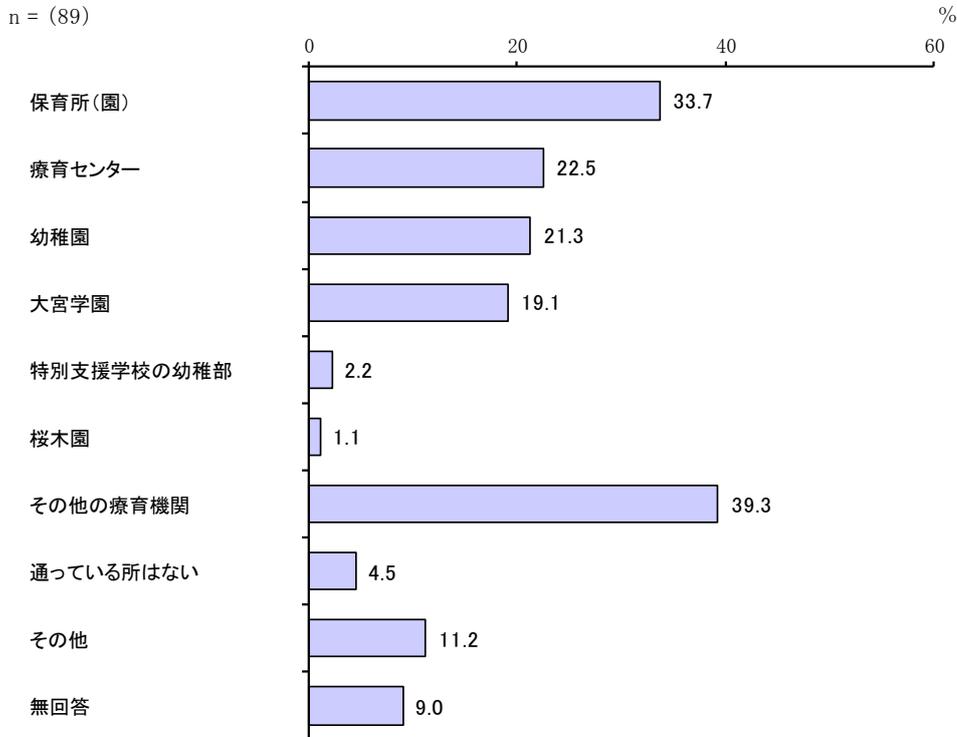
【平成28年度調査】

単位 上段:件、下段:%

	調査数	療育・保育に関する情報が少ない	希望する施設や保育所(園)・幼稚園に入れない	施設での療育・訓練の機会が少ない	施設での療育・訓練の内容に問題がある	本人の成長に不安がある	友だちとの関係づくりがうまくできない	通園・通所の送り迎えが大変	費用など経済的負担が大きい	小学校入学時の学校選択で困っている	特に困っていることはない	その他	無回答
全体	427 100.0	193 45.2	106 24.8	152 35.6	53 12.4	245 57.4	126 29.5	171 40.0	92 21.5	113 26.5	31 7.3	37 8.7	8 1.9
身体障害	239 100.0	92 38.5	57 23.8	69 28.9	25 10.5	127 53.1	38 15.9	94 39.3	51 21.3	54 22.6	21 8.8	22 9.2	5 2.1
知的障害	264 100.0	139 52.7	66 25.0	114 43.2	41 15.5	160 60.6	97 36.7	111 42.0	56 21.2	69 26.1	13 4.9	21 8.0	4 1.5
精神障害	12 100.0	7 58.3	2 16.7	4 33.3	3 25.0	8 66.7	3 25.0	4 33.3	2 16.7	2 16.7	-	1 8.3	-
難病	143 100.0	58 40.6	38 26.6	42 29.4	20 14.0	80 55.9	34 23.8	50 35.0	30 21.0	40 28.0	9 6.3	11 7.7	1 0.7
無回答	3 100.0	1 33.3	-	-	-	-	-	-	-	1 33.3	2 66.7	-	-

問 48 【あなた（あて名のお子さん）が小学校入学前の方におたずねします。
あなたが現在通っているところがありますか。（〇はいくつでも）

「その他の療育機関」の割合が 39.3%と最も高く、次いで「保育所（園）」の割合が 33.7%、「療育センター」の割合が 22.5%となっています。



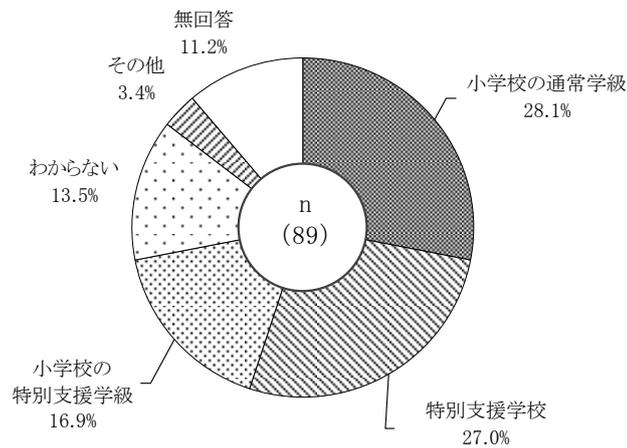
【障害種別】

単位 上段:件、下段:%

	調査数	保育所 (園)	幼稚園	特別支援 学校の幼 稚部	療育セン ター	大宮学園	桜木園	その他の 療育機関	通ってい る所はな い	その他	無回答
全 体	89 100.0	30 33.7	19 21.3	2 2.2	20 22.5	17 19.1	1 1.1	35 39.3	4 4.5	10 11.2	8 9.0
身体障害	55 100.0	17 30.9	9 16.4	2 3.6	11 20.0	7 12.7	-	18 32.7	4 7.3	6 10.9	4 7.3
知的障害	48 100.0	19 39.6	11 22.9	-	12 25.0	13 27.1	1 2.1	23 47.9	1 2.1	7 14.6	3 6.3
精神障害	1 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1 100.0
難病	16 100.0	3 18.8	3 18.8	-	2 12.5	6 37.5	-	6 37.5	-	1 6.3	1 6.3
無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

問 49 【あなた（あて名のお子さん）が小学校入学前の方におたずねします。
 あなたが小学校（小学部）に入学するとき、どの学校・学級に通わせたいと思いますか。（○は1つ）

「小学校の通常学級」の割合が 28.1%と最も高く、次いで「特別支援学校」の割合が 27.0%、「小学校の特別支援学級」の割合が 16.9%となっています。



【障害種別】

単位 上段: 件、下段: %

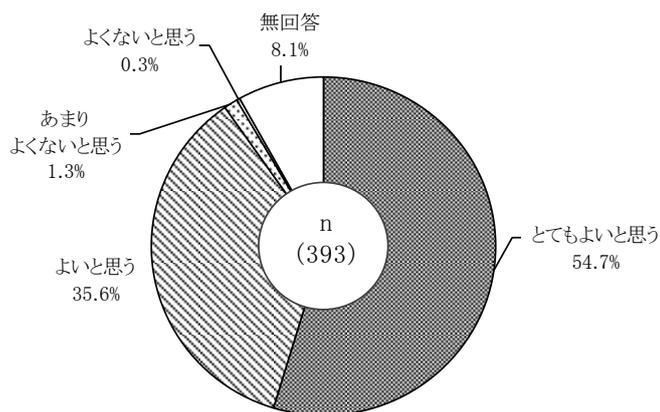
	調査数	小学校の通常学級	小学校の特別支援学級	特別支援学校	わからない	その他	無回答
全体	89	25	15	24	12	3	10
	100.0	28.1	16.9	27.0	13.5	3.4	11.2
身体障害	55	20	4	19	5	1	6
	100.0	36.4	7.3	34.5	9.1	1.8	10.9
知的障害	48	5	13	15	8	3	4
	100.0	10.4	27.1	31.3	16.7	6.3	8.3
精神障害	1	-	-	-	-	-	1
	100.0	-	-	-	-	-	100.0
難病	16	4	2	6	2	1	1
	100.0	25.0	12.5	37.5	12.5	6.3	6.3
無回答	-	-	-	-	-	-	-

問 50 【保護者の方におたずねします。】

療育・保育から小学校に入学する際に、保護者の同意があった場合、お子さんの支援に関する情報が小学校に提供されることについてどう思いますか。

(○は1つ)

「とてもよいと思う」と「よいと思う」をあわせた“よいと思う”の割合が 90.3%、「あまりよくないと思う」と「よくないと思う」をあわせた“よくないと思う”の割合が 1.6%となっています。



【障害種別】

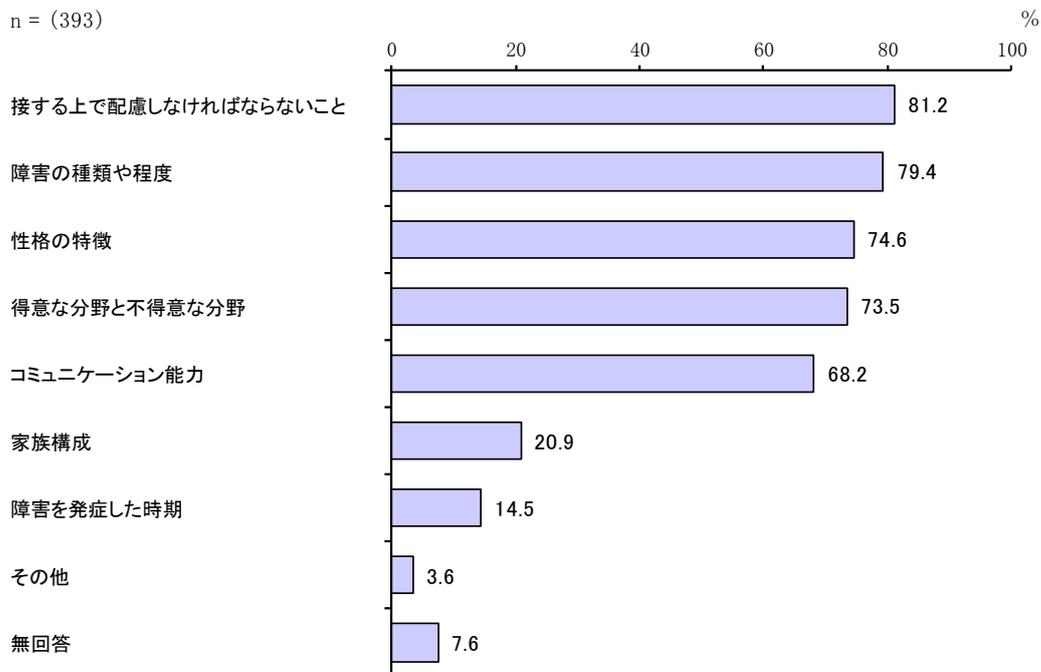
単位 上段: 件、下段: %

	調査数	とてもよいと思う	よいと思う	あまりよくないと思う	よくないと思う	無回答
全 体	393	215	140	5	1	32
	100.0	54.7	35.6	1.3	0.3	8.1
身体障害	206	114	71	1	-	20
	100.0	55.3	34.5	0.5	-	9.7
知的障害	246	135	88	4	1	18
	100.0	54.9	35.8	1.6	0.4	7.3
精神障害	12	6	3	-	-	3
	100.0	50.0	25.0	-	-	25.0
難病	47	32	11	-	-	4
	100.0	68.1	23.4	-	-	8.5
無回答	5	3	2	-	-	-
	100.0	60.0	40.0	-	-	-

問 51 【保護者の方におたずねします。】

療育・保育から小学校に入学する際に、保護者の同意があった場合、お子さんの支援についてのどのような情報が小学校に提供されるとよいと思いますか。
(〇はいくつでも)

「接する上で配慮しなければならないこと」の割合が81.2%と最も高く、次いで「障害の種類や程度」の割合が79.4%、「性格の特徴」の割合が74.6%となっています。



【障害種別】

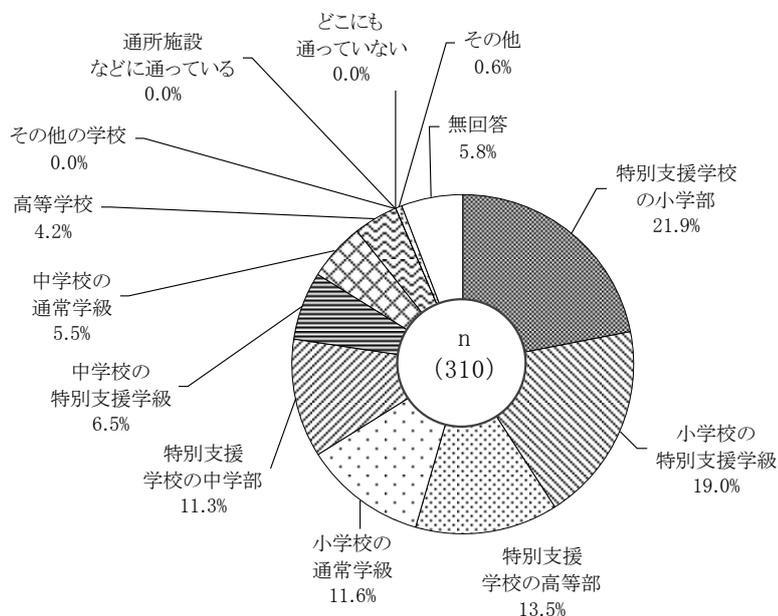
単位 上段:件、下段:%

	調査数	障害の種類 や程度	性格の特徴	得意な分野 と不得意な 分野	コミュニケー ション能力	接する上で 配慮しなけ ればならな いこと	家族構成	障害を発症 した時期	その他	無回答
全 体	393	312	293	289	268	319	82	57	14	30
	100.0	79.4	74.6	73.5	68.2	81.2	20.9	14.5	3.6	7.6
身体障害	206	169	136	139	124	166	45	37	9	18
	100.0	82.0	66.0	67.5	60.2	80.6	21.8	18.0	4.4	8.7
知的障害	246	193	204	194	190	201	57	38	10	18
	100.0	78.5	82.9	78.9	77.2	81.7	23.2	15.4	4.1	7.3
精神障害	12	8	8	8	8	8	2	1	-	3
	100.0	66.7	66.7	66.7	66.7	66.7	16.7	8.3	-	25.0
難病	47	41	36	37	33	42	10	7	1	3
	100.0	87.2	76.6	78.7	70.2	89.4	21.3	14.9	2.1	6.4
無回答	5	5	4	4	4	3	-	-	-	-
	100.0	100.0	80.0	80.0	80.0	60.0	-	-	-	-

(9) 学校・教育について

問 52 あなたは、主にどの学校・学級等に通っていますか。(○は1つ)

「特別支援学校の小学部」の割合が21.9%と最も高く、次いで「小学校の特別支援学級」の割合が19.0%、「特別支援学校の高等部」の割合が13.5%となっています。



【障害種別】

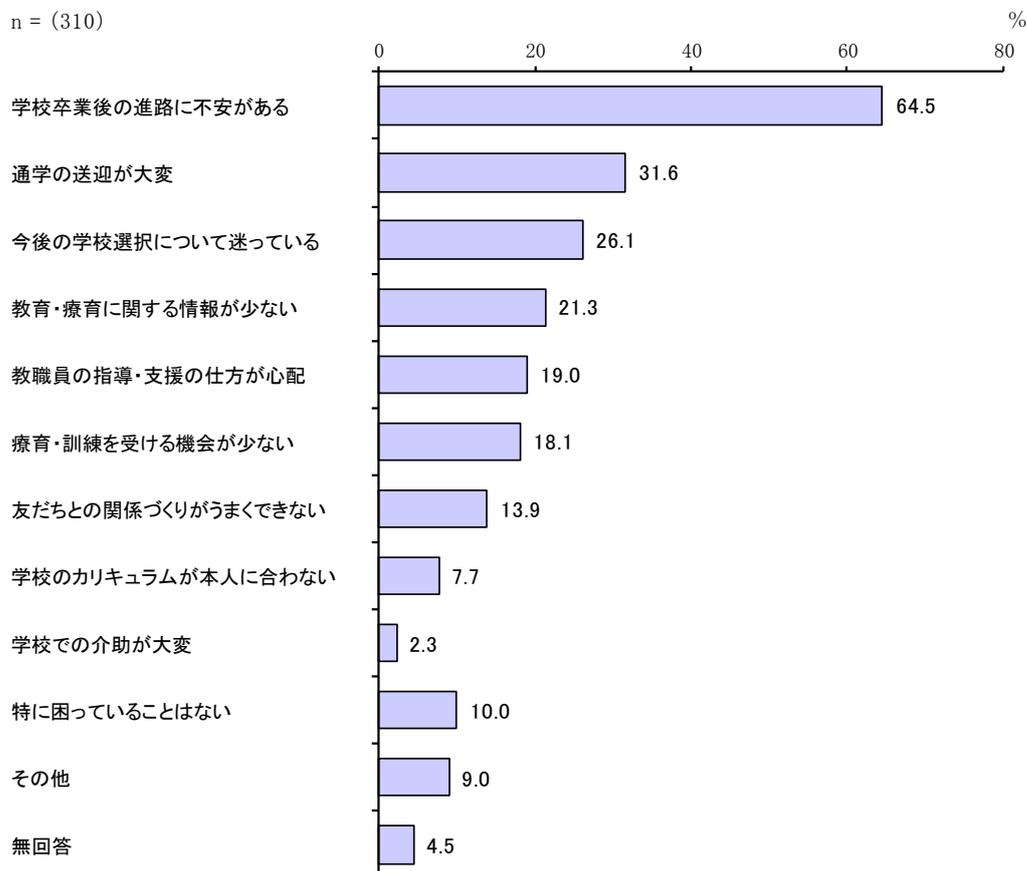
単位 上段:件、下段:%

	調査数	小学校の通常学級	小学校の特別支援学級	特別支援学校の小学部	中学校の通常学級	中学校の特別支援学級	特別支援学校の中学部	高等学校	特別支援学校の高等部	その他の学校	通所施設などに通っている	どこにも通っていない	その他	無回答
全体	310	36	59	68	17	20	35	13	42	-	-	-	2	18
	100.0	11.6	19.0	21.9	5.5	6.5	11.3	4.2	13.5	-	-	-	0.6	5.8
身体障害	154	22	9	45	11	3	23	10	24	-	-	-	-	7
	100.0	14.3	5.8	29.2	7.1	1.9	14.9	6.5	15.6	-	-	-	-	4.5
知的障害	201	9	51	39	5	20	24	2	34	-	-	-	2	15
	100.0	4.5	25.4	19.4	2.5	10.0	11.9	1.0	16.9	-	-	-	1.0	7.5
精神障害	12	1	7	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	2
	100.0	8.3	58.3	8.3	-	-	-	-	8.3	-	-	-	-	16.7
難病	32	6	4	6	-	-	3	2	10	-	-	-	-	1
	100.0	18.8	12.5	18.8	-	-	9.4	6.3	31.3	-	-	-	-	3.1
無回答	5	1	-	2	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-
	100.0	20.0	-	40.0	20.0	-	-	20.0	-	-	-	-	-	-

問 53 あなた（や保護者・ご家族の方）は、学校や教育について、どのようなことで困っていますか。（〇はいくつでも）

「学校卒業後の進路に不安がある」の割合が 64.5%と最も高く、次いで「通学の送迎が大変」の割合が 31.6%、「今後の学校選択について迷っている」の割合が 26.1%となっています。

平成 28 年度調査と比較すると、全体では、「今後の学校選択について迷っている」の割合が増加しています。



※令和元年度調査の「学校卒業後の進路に不安がある」は、平成 28 年度調査では「学校終了後の進路に不安がある」でした。

【障害種別】

単位 上段:件、下段:%

	調査数	教育・療育に関する情報が少ない	学校での介助が大変	通学の送迎が大変	教職員の指導・支援の仕方が心配	学校のカリキュラムが本人に合わない	友だちとの関係づくりがうまくできない	療育・訓練を受ける機会が少ない	今後の学校選択について迷っている	学校卒業後の進路に不安がある	特に困っていることはない	その他	無回答
全体	310 100.0	66 21.3	7 2.3	98 31.6	59 19.0	24 7.7	43 13.9	56 18.1	81 26.1	200 64.5	31 10.0	28 9.0	14 4.5
身体障害	154 100.0	25 16.2	3 1.9	60 39.0	28 18.2	11 7.1	12 7.8	24 15.6	33 21.4	99 64.3	16 10.4	13 8.4	7 4.5
知的障害	201 100.0	48 23.9	3 1.5	55 27.4	39 19.4	14 7.0	24 11.9	44 21.9	54 26.9	144 71.6	16 8.0	17 8.5	10 5.0
精神障害	12 100.0	5 41.7	-	8 66.7	4 33.3	2 16.7	3 25.0	2 16.7	3 25.0	9 75.0	-	-	1 8.3
難病	32 100.0	6 18.8	1 3.1	17 53.1	9 28.1	-	3 9.4	8 25.0	8 25.0	24 75.0	1 3.1	4 12.5	1 3.1
無回答	5 100.0	-	-	3 60.0	1 20.0	-	1 20.0	1 20.0	-	4 80.0	-	-	-

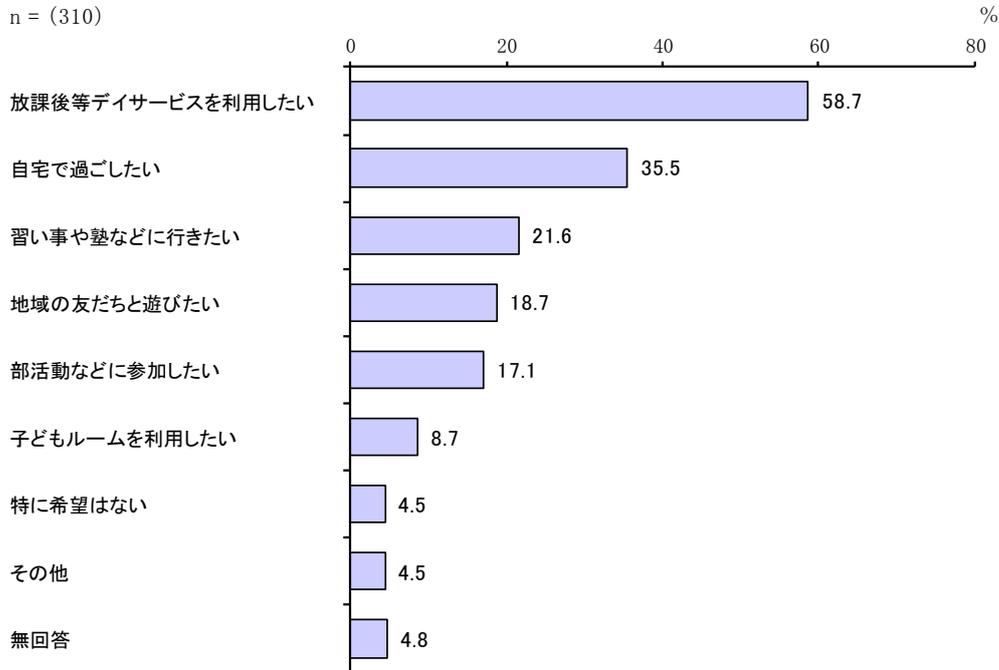
【平成 28 年度調査】

単位 上段:件、下段:%

	調査数	教育・療育に関する情報が少ない	学校での介助が大変	通学の送迎が大変	教職員の指導・支援の仕方が心配	学校のカリキュラムが本人に合わない	友だちとの関係づくりがうまくできない	療育・訓練を受ける機会が少ない	今後の学校選択について迷っている	学校終了後の進路に不安がある	特に困っていることはない	その他	無回答
全体	345 100.0	60 17.4	5 1.4	102 29.6	70 20.3	24 7.0	42 12.2	66 19.1	70 20.3	220 63.8	34 9.9	17 4.9	40 11.6
身体障害	184 100.0	19 10.3	4 2.2	62 33.7	30 16.3	9 4.9	15 8.2	27 14.7	29 15.8	109 59.2	18 9.8	8 4.3	26 14.1
知的障害	227 100.0	52 22.9	4 1.8	70 30.8	52 22.9	18 7.9	29 12.8	59 26.0	55 24.2	165 72.7	17 7.5	13 5.7	19 8.4
精神障害	11 100.0	-	-	2 18.2	4 36.4	1 9.1	2 18.2	2 18.2	1 9.1	10 90.9	-	-	1 9.1
難病	105 100.0	15 14.3	1 1.0	31 29.5	21 20.0	5 4.8	15 14.3	21 20.0	21 20.0	65 61.9	9 8.6	5 4.8	12 11.4
無回答	1 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1 100.0	-	-

問 54 あなた（や保護者・ご家族の方）は、放課後や夏休みなどの過ごし方について、どのような希望をお持ちですか。（〇はいくつでも）

「放課後等デイサービスを利用したい」の割合が 58.7%と最も高く、次いで「自宅で過ごしたい」の割合が 35.5%、「習い事や塾などに行きたい」の割合が 21.6%となっています。



【障害種別】

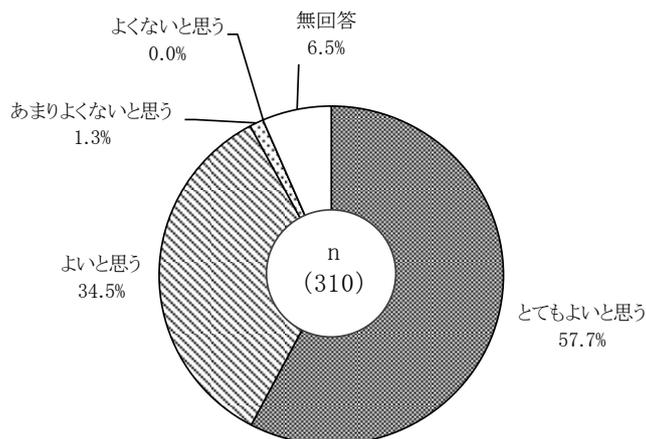
単位 上段:件、下段:%

	調査数	自宅で過ごしたい	地域の友だちと遊びたい	放課後等デイサービスを利用したい	子どもルームを利用したい	部活動などに参加したい	習い事や塾などに行きたい	特に希望はない	その他	無回答
全 体	310 100.0	110 35.5	58 18.7	182 58.7	27 8.7	53 17.1	67 21.6	14 4.5	14 4.5	15 4.8
身体障害	154 100.0	51 33.1	31 20.1	79 51.3	10 6.5	30 19.5	33 21.4	11 7.1	9 5.8	6 3.9
知的障害	201 100.0	63 31.3	29 14.4	140 69.7	20 10.0	27 13.4	33 16.4	5 2.5	8 4.0	11 5.5
精神障害	12 100.0	6 50.0	1 8.3	8 66.7	2 16.7	-	1 8.3	1 8.3	1 8.3	1 8.3
難病	32 100.0	9 28.1	7 21.9	16 50.0	3 9.4	8 25.0	5 15.6	2 6.3	2 6.3	1 3.1
無回答	5 100.0	3 60.0	1 20.0	3 60.0	-	2 40.0	1 20.0	-	-	-

問 55 【保護者の方におたずねします。】

小学校（初等部）から中学校（中等部）に入学する際に、保護者の同意があった場合、お子さんの支援に関する情報が中学校（中等部）に提供されることについてどう思いますか。（○は1つ）

「とてもよいと思う」と「よいと思う」をあわせた“よいと思う”の割合が 92.2%、「あまりよくないと思う」と「よくないと思う」をあわせた“よくないと思う”の割合が 1.3%となっています。



【障害種別】

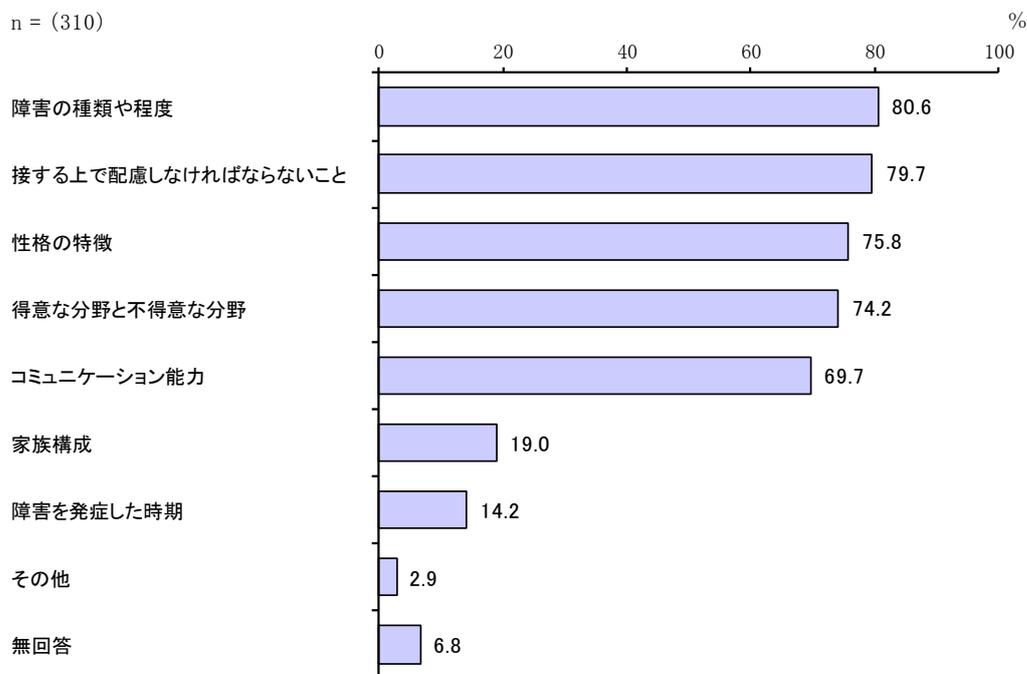
単位 上段：件、下段：%

	調査数	とてもよいと思う	よいと思う	あまりよくないと思う	よくないと思う	無回答
全 体	310	179	107	4	-	20
	100.0	57.7	34.5	1.3	-	6.5
身体障害	154	90	54	1	-	9
	100.0	58.4	35.1	0.6	-	5.8
知的障害	201	118	67	3	-	13
	100.0	58.7	33.3	1.5	-	6.5
精神障害	12	6	5	-	-	1
	100.0	50.0	41.7	-	-	8.3
難病	32	21	8	1	-	2
	100.0	65.6	25.0	3.1	-	6.3
無回答	5	5	-	-	-	-
	100.0	100.0	-	-	-	-

問 56 【保護者の方におたずねします。】

小学校から中学校に入学する際に、保護者の同意があった場合、お子さんの支援についてのどのような情報が中学校に提供されるとよいと思いますか。
(〇はいくつでも)

「障害の種類や程度」の割合が 80.6%と最も高く、次いで「接する上で配慮しなければならないこと」の割合が 79.7%、「性格の特徴」の割合が 75.8%となっています。



【障害種別】

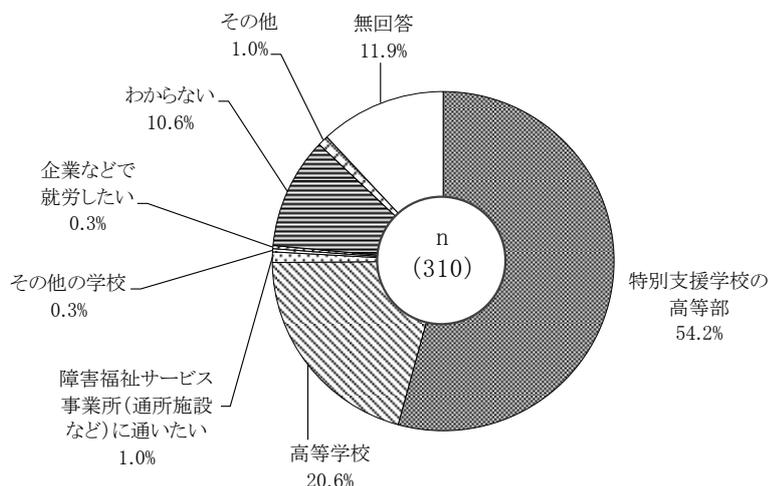
単位 上段:件、下段:%

	調査数	障害の種類 や程度	性格の特徴	得意な分野 と不得意な 分野	コミュニケー ション能力	接する上で 配慮しなけ ればならな いこと	家族構成	障害を発症 した時期	その他	無回答
全 体	310	250	235	230	216	247	59	44	9	21
	100.0	80.6	75.8	74.2	69.7	79.7	19.0	14.2	2.9	6.8
身体障害	154	128	104	106	95	121	34	26	6	10
	100.0	83.1	67.5	68.8	61.7	78.6	22.1	16.9	3.9	6.5
知的障害	201	163	167	158	158	164	41	34	7	13
	100.0	81.1	83.1	78.6	78.6	81.6	20.4	16.9	3.5	6.5
精神障害	12	11	10	9	10	8	3	3	-	1
	100.0	91.7	83.3	75.0	83.3	66.7	25.0	25.0	-	8.3
難病	32	29	26	26	22	28	6	6	-	2
	100.0	90.6	81.3	81.3	68.8	87.5	18.8	18.8	-	6.3
無回答	5	5	4	4	4	3	1	-	-	-
	100.0	100.0	80.0	80.0	80.0	60.0	20.0	-	-	-

問 57 あなたは、中学校卒業後、どのような進路を希望していますか。(○は1つ)

「特別支援学校の高等部」の割合が 54.2%と最も高く、次いで「高等学校」の割合が 20.6%、「わからない」の割合が 10.6%となっています。

平成 28 年度調査と比較すると、全体では、「特別支援学校の高等部」の割合が減少しています。また、身体障害のある方では、「特別支援学校の高等部」の割合が減少しています。



【障害種別】

単位 上段:件、下段:%

	調査数	高等学校	特別支援学校の高等部	その他の学校	障害福祉サービス事業所(通所施設など)に通いたい	企業などで就労したい	わからない	その他	無回答
全 体	310 100.0	64 20.6	168 54.2	1 0.3	3 1.0	1 0.3	33 10.6	3 1.0	37 11.9
身体障害	154 100.0	39 25.3	81 52.6	-	1 0.6	-	13 8.4	1 0.6	19 12.3
知的障害	201 100.0	21 10.4	132 65.7	1 0.5	2 1.0	1 0.5	20 10.0	3 1.5	21 10.4
精神障害	12 100.0	2 16.7	4 33.3	-	1 8.3	-	2 16.7	1 8.3	2 16.7
難病	32 100.0	9 28.1	16 50.0	-	-	-	3 9.4	-	4 12.5
無回答	5 100.0	1 20.0	2 40.0	-	-	-	1 20.0	-	1 20.0

【平成 28 年度調査】

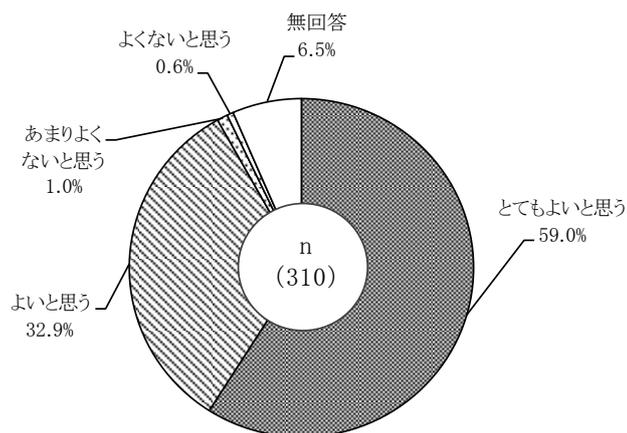
単位 上段:件、下段:%

	調査数	高等学校	特別支援学校の高等部	その他の学校	障害福祉サービス事業所(通所施設など)に通いたい	企業などで就労したい	わからない	その他	無回答
全 体	247 100.0	42 17.0	169 68.4	1 0.4	-	1 0.4	23 9.3	3 1.2	8 3.2
身体障害	134 100.0	30 22.4	93 69.4	-	-	1 0.7	8 6.0	1 0.7	1 0.7
知的障害	169 100.0	14 8.3	126 74.6	1 0.6	-	-	18 10.7	3 1.8	7 4.1
精神障害	4 100.0	-	3 75.0	-	-	-	1 25.0	-	-
難病	76 100.0	20 26.3	49 64.5	-	-	-	4 5.3	-	3 3.9
無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-

問 58 【保護者の方におたずねします。】

中学校（中学部）から高等学校（高等部）に入学する際に、保護者の同意があった場合、お子さんの支援に関する情報が高等学校（高等部）に提供されることについてどう思いますか。（○は1つ）

「とてもよいと思う」と「よいと思う」をあわせた“よいと思う”の割合が 91.9%、「あまりよくないと思う」と「よくないと思う」をあわせた“よくないと思う”の割合が 1.6%となっています。



【障害種別】

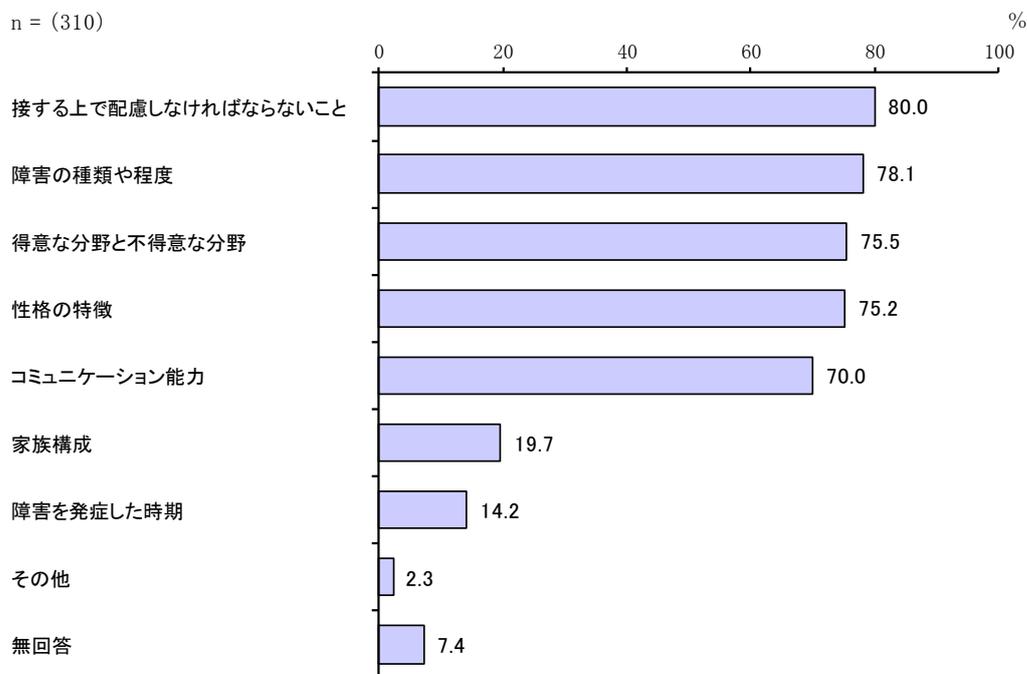
単位 上段：件、下段：%

	調査数	とてもよいと思う	よいと思う	あまりよくないと思う	よくないと思う	無回答
全体	310	183	102	3	2	20
	100.0	59.0	32.9	1.0	0.6	6.5
身体障害	154	90	52	1	2	9
	100.0	58.4	33.8	0.6	1.3	5.8
知的障害	201	123	63	2	-	13
	100.0	61.2	31.3	1.0	-	6.5
精神障害	12	6	4	-	-	2
	100.0	50.0	33.3	-	-	16.7
難病	32	20	8	-	1	3
	100.0	62.5	25.0	-	3.1	9.4
無回答	5	5	-	-	-	-
	100.0	100.0	-	-	-	-

問 59 【保護者の方におたずねします。】

中学校から高等学校（高等部）に入学する際に、保護者の同意があった場合、お子さんの支援についてのどのような情報が高等学校（高等部）に提供されるとよいと思いますか。（〇はいくつでも）

「接する上で配慮しなければならないこと」の割合が80.0%と最も高く、次いで「障害の種類や程度」の割合が78.1%、「得意な分野と不得意な分野」の割合が75.5%となっています。



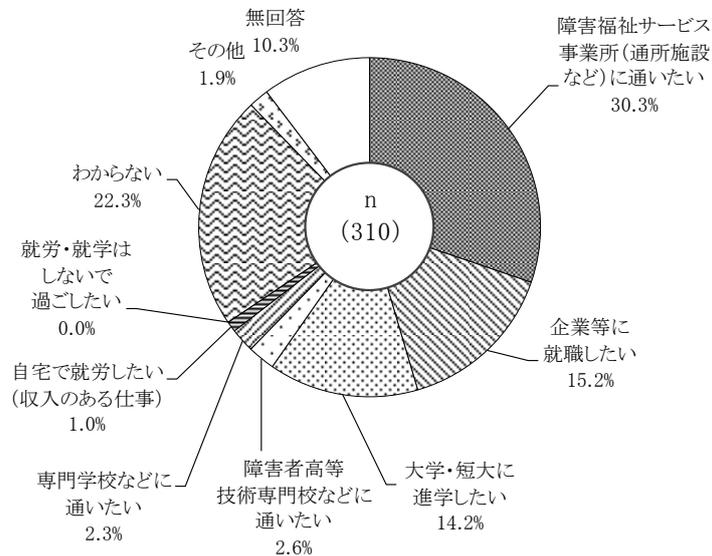
【障害種別】

単位 上段:件、下段:%

	調査数	障害の種類 や程度	性格の特徴	得意な分野 と不得意な 分野	コミュニケー ション能力	接する上で 配慮しなけ ればならな いこと	家族構成	障害を発症 した時期	その他	無回答
全 体	310	242	233	234	217	248	61	44	7	23
	100.0	78.1	75.2	75.5	70.0	80.0	19.7	14.2	2.3	7.4
身体障害	154	124	104	105	95	124	32	26	4	11
	100.0	80.5	67.5	68.2	61.7	80.5	20.8	16.9	2.6	7.1
知的障害	201	157	169	164	159	163	45	33	6	14
	100.0	78.1	84.1	81.6	79.1	81.1	22.4	16.4	3.0	7.0
精神障害	12	8	8	7	8	9	2	2	-	3
	100.0	66.7	66.7	58.3	66.7	75.0	16.7	16.7	-	25.0
難病	32	29	26	26	22	28	6	6	-	2
	100.0	90.6	81.3	81.3	68.8	87.5	18.8	18.8	-	6.3
無回答	5	5	4	4	4	3	1	-	-	-
	100.0	100.0	80.0	80.0	80.0	60.0	20.0	-	-	-

問 60 あなたは、高等学校（高等部）卒業後、どのような進路を希望していますか。
（○は1つ）

「障害福祉サービス事業所（通所施設など）に通いたい」の割合が30.3%と最も高く、次いで「わからない」の割合が22.3%、「企業等に就職したい」の割合が15.2%となっています。



【障害種別】

単位 上段:件、下段:%

	調査数	企業等に就職したい	大学・短大に進学したい	専門学校などに通いたい	障害者高等技術専門学校などに通いたい	障害福祉サービス事業所(通所施設など)に通いたい	自宅で就労したい(収入のある仕事)	就労・就学はしないで過ごしたい	わからない	その他	無回答
全体	310	47	44	7	8	94	3	-	69	6	32
	100.0	15.2	14.2	2.3	2.6	30.3	1.0	-	22.3	1.9	10.3
身体障害	154	11	37	3	3	50	1	-	32	6	11
	100.0	7.1	24.0	1.9	1.9	32.5	0.6	-	20.8	3.9	7.1
知的障害	201	38	4	4	8	77	1	-	42	4	23
	100.0	18.9	2.0	2.0	4.0	38.3	0.5	-	20.9	2.0	11.4
精神障害	12	1	1	1	1	3	1	-	1	1	2
	100.0	8.3	8.3	8.3	8.3	25.0	8.3	-	8.3	8.3	16.7
難病	32	2	8	-	1	9	-	-	8	-	4
	100.0	6.3	25.0	-	3.1	28.1	-	-	25.0	-	12.5
無回答	5	1	1	-	-	1	-	-	1	-	1
	100.0	20.0	20.0	-	-	20.0	-	-	20.0	-	20.0

(10) 日中活動・就労について

問 61 あなたは、平日の日中を主にどのように過ごしていますか。
(最もあてはまる番号1つだけ○)

「特に何もしていない」、「学校などに通っている」が1件となっています。

問 62 あなたは、障害のある人が企業などで一般就労するためには、どのような支援が必要だと思えますか。(○はいくつでも)

「仕事探しから就労までの総合的な相談支援」、「障害の特性に合った職業・雇用の拡大」、「障害者向けの求人情報の提供」、「障害理解を促進するための職場への働きかけ」が2件となっています。

問 63 あなたは今後、どのような活動に取り組みたいと思えますか。すでに取り組んでいる方は、今後も取り組みたいかどうかをお答えください。(○はいくつでも)

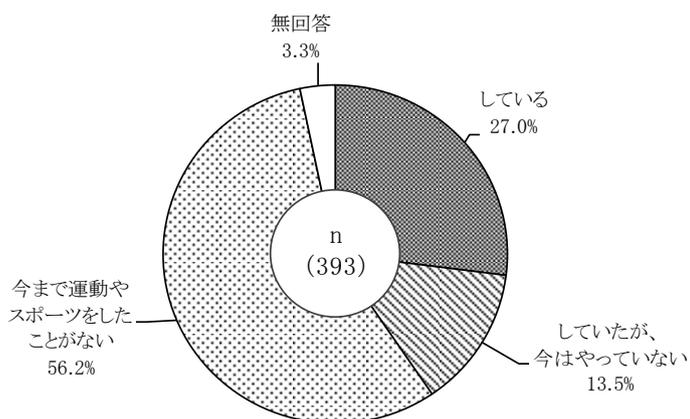
「趣味・教養に関する活動」、「スポーツ活動」、「特にない」が1件となっています。

(11) 運動やスポーツについて

問 64 あなたは、運動やスポーツをしていますか。
(学校に通っている方は、学校の授業を除く)

「今まで運動やスポーツをしたことがない」の割合が 56.2%と最も高く、次いで「している」の割合が 27.0%、「していたが、今はやっていない」の割合が 13.5%となっています。

平成 28 年度調査と比較すると、全体では、「今まで運動やスポーツをしたことがない」の割合が増加しています。



【障害種別】

単位 上段:件、下段:%

	調査数	している	していたが、今はやっていない	今まで運動やスポーツをしたことがない	無回答
全 体	393	106	53	221	13
	100.0	27.0	13.5	56.2	3.3
身体障害	206	45	24	127	10
	100.0	21.8	11.7	61.7	4.9
知的障害	246	60	33	146	7
	100.0	24.4	13.4	59.3	2.8
精神障害	12	4	1	7	-
	100.0	33.3	8.3	58.3	-
難病	47	11	5	26	5
	100.0	23.4	10.6	55.3	10.6
無回答	5	1	2	2	-
	100.0	20.0	40.0	40.0	-

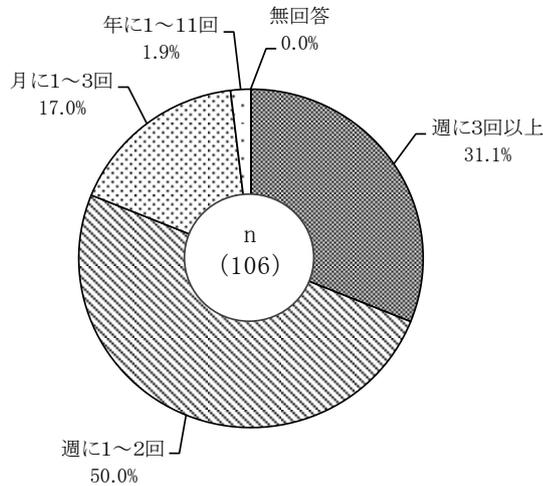
【平成 28 年度調査】

単位 上段:件、下段:%

	調査数	している	していたが、今はやっていない	今まで運動やスポーツをしたことがない	無回答
全 体	427	98	61	216	52
	100.0	23.0	14.3	50.6	12.2
身体障害	239	50	28	130	31
	100.0	20.9	11.7	54.4	13.0
知的障害	264	66	40	133	25
	100.0	25.0	15.2	50.4	9.5
精神障害	12	1	4	5	2
	100.0	8.3	33.3	41.7	16.7
難病	143	25	13	79	26
	100.0	17.5	9.1	55.2	18.2
無回答	3	2	-	1	-
	100.0	66.7	-	33.3	-

問 65 【問 64 で「している」に○をつけた方におたずねします。
あなたは、どのくらいの頻度で運動やスポーツをしていますか。

「週に1～2回」の割合が50.0%と最も高く、次いで「週に3回以上」の割合が31.1%、「月に1～3回」の割合が17.0%となっています。



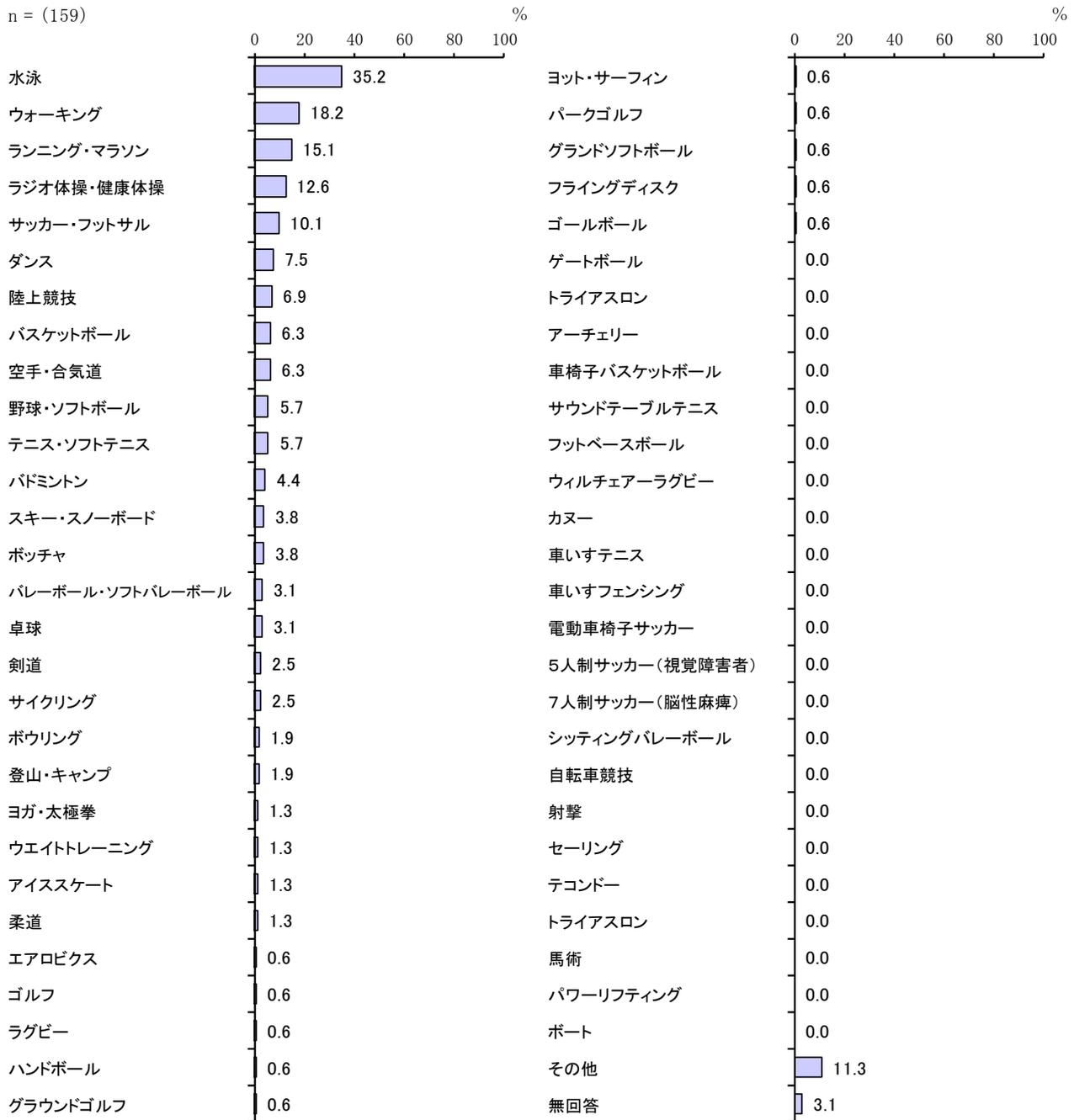
【障害種別】

単位 上段: 件、下段: %

	調査数	週に3回以上	週に1～2回	月に1～3回	年に1～11回	無回答
全 体	106	33	53	18	2	-
	100.0	31.1	50.0	17.0	1.9	-
身体障害	45	14	22	8	1	-
	100.0	31.1	48.9	17.8	2.2	-
知的障害	60	18	30	11	1	-
	100.0	30.0	50.0	18.3	1.7	-
精神障害	4	1	3	-	-	-
	100.0	25.0	75.0	-	-	-
難病	11	3	5	3	-	-
	100.0	27.3	45.5	27.3	-	-
無回答	1	-	-	1	-	-
	100.0	-	-	100.0	-	-

問 66 【問 64 で「1. している」または「2. していたが、今はやっていない」に○
をつけた方におたずねします。】
あなたが行っている(行っていた)運動やスポーツの種目は何ですか。
(あてはまるものすべてに○)

「水泳」の割合が 35.2%と最も高く、次いで「ウォーキング」の割合が 18.2%、「ランニング・
マラソン」の割合が 15.1%となっています。



【障害種別】

単位 上段:件、下段:%

	調査数	ウォーキング	ランニング・マラソン	ラジ体操・健康体操	ヨガ・太極拳	ウエイトトレーニング	ダンス	エアロビクス	水泳	野球・ソフトボール	ゴルフ	サッカー・フットサル	ラグビー	バスケットボール	陸上競技
全体	159	29	24	20	2	2	12	1	56	9	1	16	1	10	11
	100.0	18.2	15.1	12.6	1.3	1.3	7.5	0.6	35.2	5.7	0.6	10.1	0.6	6.3	6.9
身体障害	69	7	9	5	-	1	5	1	25	8	1	9	1	2	5
	100.0	10.1	13.0	7.2	-	1.4	7.2	1.4	36.2	11.6	1.4	13.0	1.4	2.9	7.2
知的障害	93	22	15	15	2	1	9	-	31	3	-	8	-	7	7
	100.0	23.7	16.1	16.1	2.2	1.1	9.7	-	33.3	3.2	-	8.6	-	7.5	7.5
精神障害	5	3	-	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
	100.0	60.0	-	20.0	-	-	-	-	20.0	-	-	-	-	-	-
難病	16	2	1	2	-	-	1	-	7	-	-	2	-	-	1
	100.0	12.5	6.3	12.5	-	-	6.3	-	43.8	-	-	12.5	-	-	6.3
無回答	3	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1	1
	100.0	-	-	-	-	-	-	-	33.3	-	-	-	-	33.3	33.3

	バレーボール・ソフトバレーボール	テニス・ソフトテニス	ハンドボール	卓球	バドミントン	アイススケート	スキー・スノーボード	柔道	剣道	空手・合気道	ゲートボール	ボウリング	グラウンドゴルフ	登山・キャンプ	サイクリング
全体	5	9	1	5	7	2	6	2	4	10	-	3	1	3	4
	3.1	5.7	0.6	3.1	4.4	1.3	3.8	1.3	2.5	6.3	-	1.9	0.6	1.9	2.5
身体障害	3	4	1	2	4	2	4	1	2	5	-	2	1	1	1
	4.3	5.8	1.4	2.9	5.8	2.9	5.8	1.4	2.9	7.2	-	2.9	1.4	1.4	1.4
知的障害	2	3	-	3	3	-	2	1	1	4	-	1	-	2	2
	2.2	3.2	-	3.2	3.2	-	2.2	1.1	1.1	4.3	-	1.1	-	2.2	2.2
精神障害	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
難病	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	6.3	-	-	-	-	6.3	-	-	-	-	-
無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

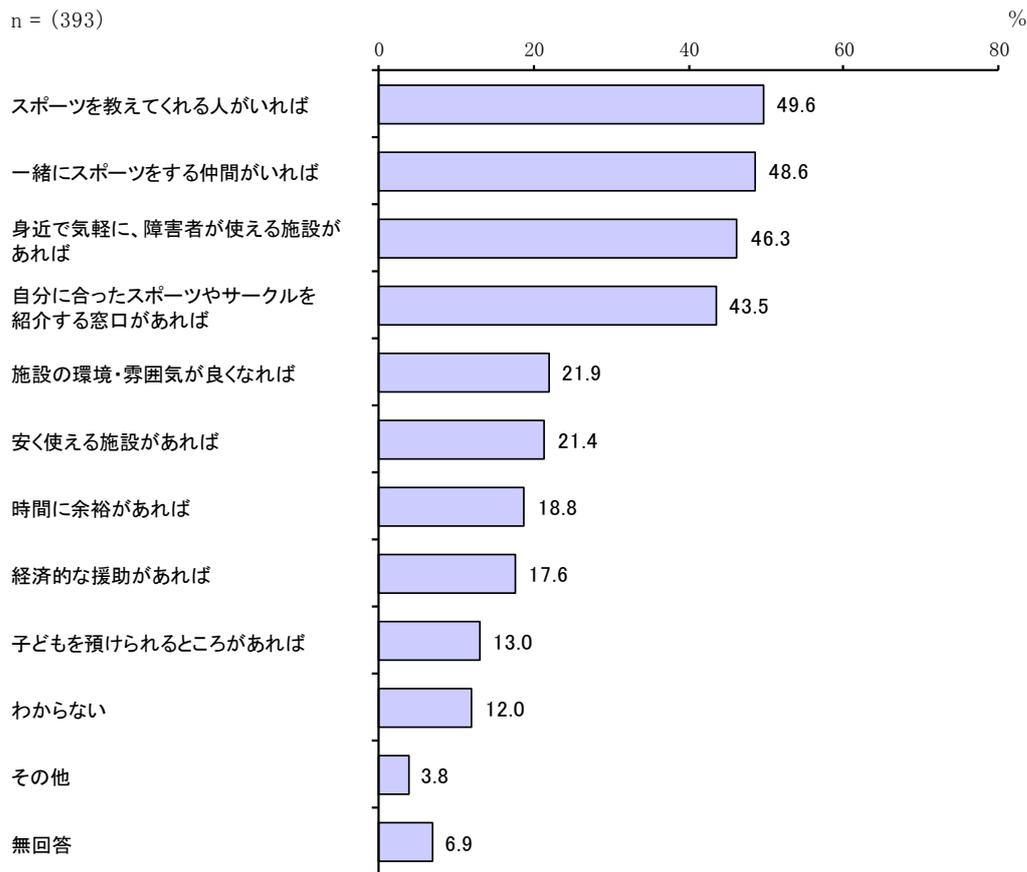
	ヨット・サーフィン	トライアスロン	パークゴルフ	アーチェリー	グランドソフトボール	車椅子バスケットボール	サウンドテーブルテニス	フットベースボール	フライングディスク	ウィルチェアラグビー	カヌー	車いすテニス	車いすフェンシング	ゴールボール	電動車椅子サッカー
全体	1	-	1	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	1	-
	0.6	-	0.6	-	0.6	-	-	-	0.6	-	-	-	-	0.6	-
身体障害	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	-	-	1.4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
知的障害	1	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	1	-
	1.1	-	-	-	1.1	-	-	-	1.1	-	-	-	-	1.1	-
精神障害	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
難病	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

	5人制サッカー(視覚障害者)	7人制サッカー(脳性麻痺)	シッティンングバレーボール	自転車競技	射撃	セーリング	テコンドー	トライアスロン	馬術	パワーリフティング	ボート	ボッチャ	その他	無回答
全体	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	18	5
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.8	11.3	3.1
身体障害	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	9	3
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.9	13.0	4.3
知的障害	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	9	3
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.3	9.7	3.2
精神障害	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	40.0	-
難病	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	3	-
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12.5	18.8	-
無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

問 67 今後、障害のある方がスポーツ活動を、より多く行うためには、どのようになればいいと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

「スポーツを教えてくれる人がいれば」の割合が49.6%と最も高く、次いで「一緒にスポーツをする仲間があれば」の割合が48.6%、「身近で気軽に、障害者が使える施設があれば」の割合が46.3%となっています。

平成28年度調査と比較すると、全体では、「一緒にスポーツをする仲間があれば」の割合が増加しています。一方、「身近で気軽に、障害者が使える施設があれば」、「安く使える施設があれば」の割合が減少しています。



※令和元年度調査の「自分に合ったスポーツやサークルを紹介する窓口があれば」は新たに追加された選択肢です。

【障害種別】

単位 上段：件、下段：%

	調査数	一緒にスポーツをする仲間がいれば	スポーツを教えてくれる人がいれば	自分に合ったスポーツやサークルを紹介する窓口があれば	子どもを預けられるところがあれば	身近で気軽に、障害者が使える施設があれば	安く使える施設があれば	施設の種類・雰囲気良くなれば	時間に余裕があれば	経済的な援助があれば	わからない	その他	無回答
全体	393 100.0	191 48.6	195 49.6	171 43.5	51 13.0	182 46.3	84 21.4	86 21.9	74 18.8	69 17.6	47 12.0	15 3.8	27 6.9
身体障害	206 100.0	95 46.1	90 43.7	79 38.3	20 9.7	92 44.7	40 19.4	44 21.4	36 17.5	27 13.1	30 14.6	11 5.3	22 10.7
知的障害	246 100.0	121 49.2	133 54.1	109 44.3	36 14.6	124 50.4	61 24.8	57 23.2	43 17.5	50 20.3	24 9.8	12 4.9	13 5.3
精神障害	12 100.0	5 41.7	6 50.0	7 58.3	3 25.0	6 50.0	4 33.3	4 33.3	3 25.0	4 33.3	1 8.3	1 8.3	-
難病	47 100.0	18 38.3	18 38.3	20 42.6	6 12.8	21 44.7	10 21.3	8 17.0	6 12.8	6 12.8	7 14.9	2 4.3	8 17.0
無回答	5 100.0	4 80.0	4 80.0	2 40.0	-	3 60.0	-	2 40.0	2 40.0	2 40.0	-	-	-

【平成 28 年度調査】

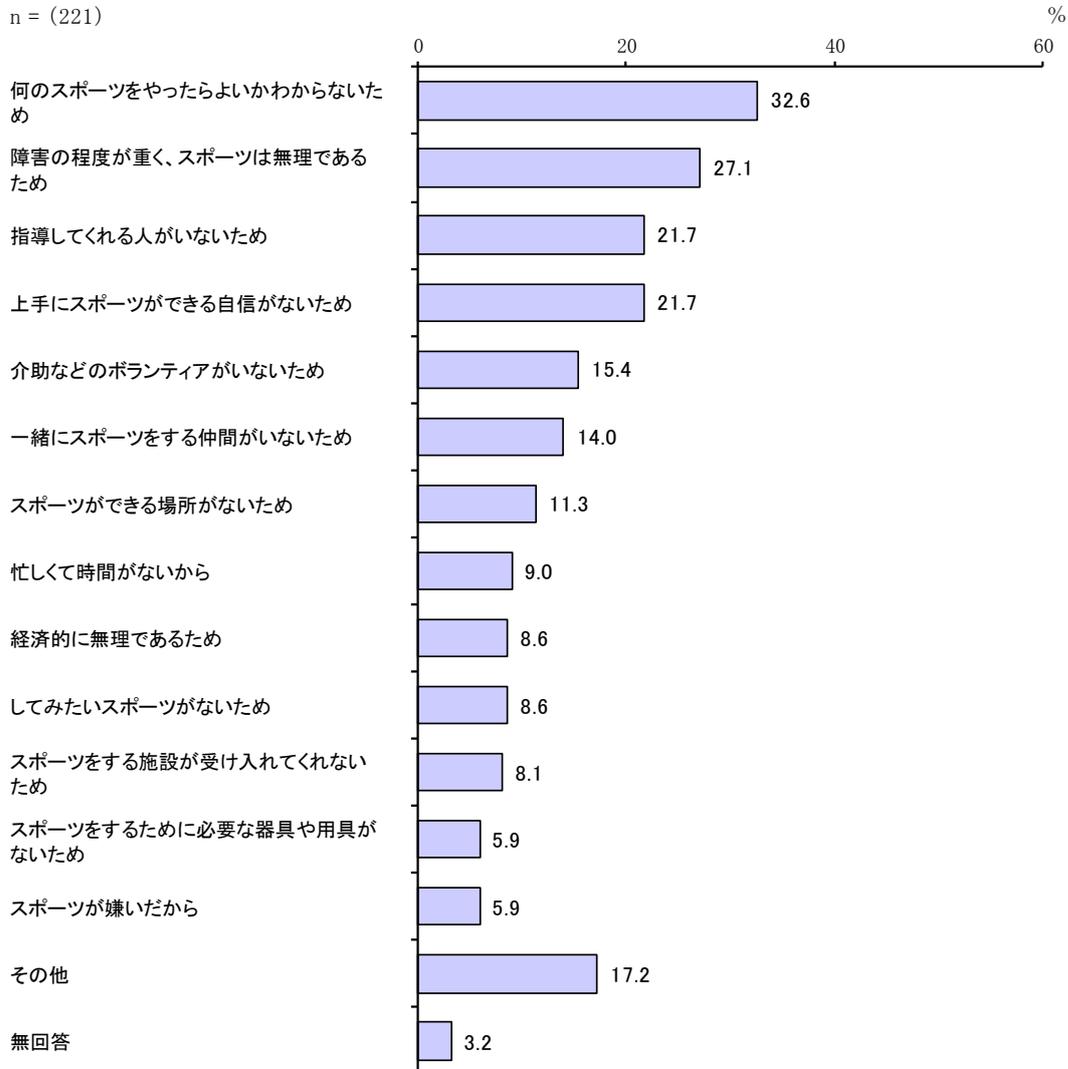
単位 上段：件、下段：%

	調査数	一緒にスポーツをする仲間がいれば	スポーツを教えてくれる人がいれば	自分に合ったスポーツやサークルを紹介する窓口があれば	子どもを預けられるところがあれば	身近で気軽に、障害者が使える施設があれば	安く使える施設があれば	施設の種類・雰囲気良くなれば	時間に余裕があれば	経済的な援助があれば	わからない	その他	無回答
全体	427 100.0	183 42.9	196 45.9	////	61 14.3	256 60.0	118 27.6	108 25.3	80 18.7	85 19.9	33 7.7	19 4.4	62 14.5
身体障害	239 100.0	94 39.3	94 39.3	////	28 11.7	139 58.2	64 26.8	54 22.6	35 14.6	35 14.6	27 11.3	10 4.2	36 15.1
知的障害	264 100.0	123 46.6	140 53.0	////	46 17.4	168 63.6	72 27.3	72 27.3	59 22.3	66 25.0	12 4.5	15 5.7	33 12.5
精神障害	12 100.0	4 33.3	3 25.0	////	2 16.7	3 25.0	1 8.3	-	2 16.7	2 16.7	3 25.0	1 8.3	4 33.3
難病	143 100.0	48 33.6	52 36.4	////	14 9.8	83 58.0	35 24.5	30 21.0	24 16.8	21 14.7	15 10.5	3 2.1	29 20.3
無回答	3 100.0	1 33.3	-	////	-	2 66.7	1 33.3	1 33.3	1 33.3	-	-	-	-

問 68 【問 64で「今まで運動やスポーツをしたことがない」に○をつけた方におたずねします。】
あなたがスポーツをしない理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

「何のスポーツをやったらよいかわからないため」の割合が 32.6%と最も高く、次いで「障害の程度が重く、スポーツは無理であるため」の割合が 27.1%、「指導してくれる人がいないため」、「上手にスポーツができる自信がないため」の割合が 21.7%となっています。

n = (221)



【障害種別】

単位 上段:件、下段:%

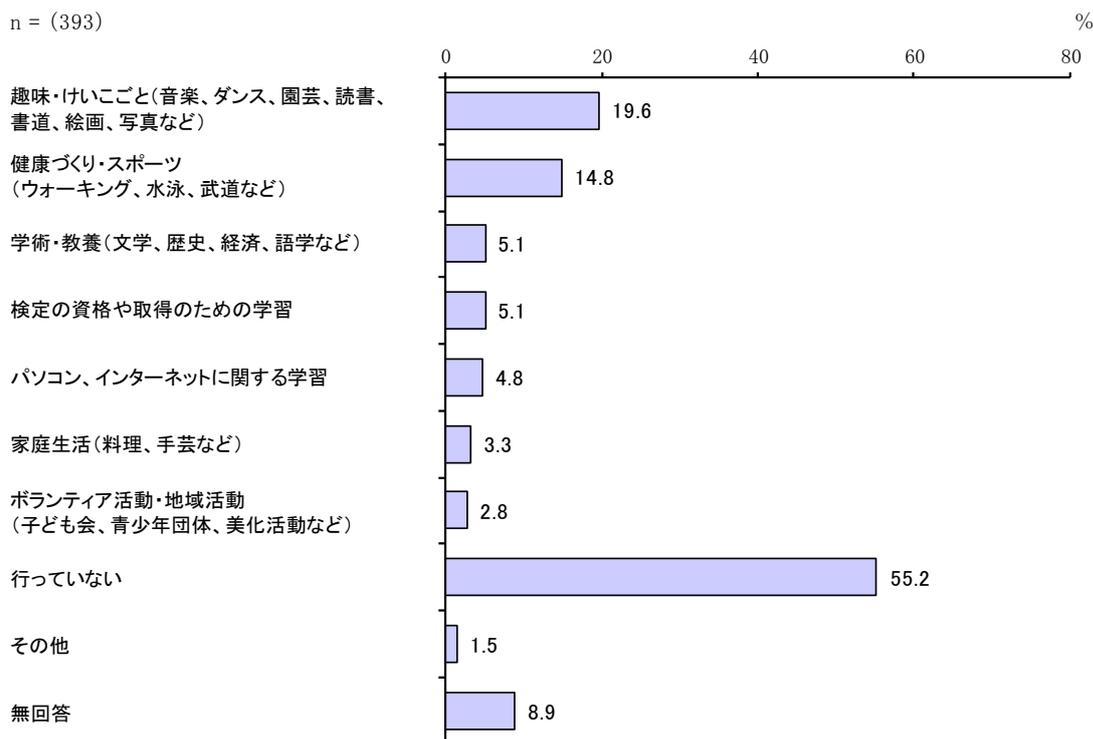
	調査数	スポーツができる場所がないため	スポーツをする施設が受け入れてくれないため	指導してくれる人がいないため	上手にスポーツができる自信がないため	スポーツをするために必要な器具や用具がないため	経済的に無理であるため	一緒にスポーツをする仲間がいないため
全体	221 100.0	25 11.3	18 8.1	48 21.7	48 21.7	13 5.9	19 8.6	31 14.0
身体障害	127 100.0	14 11.0	8 6.3	23 18.1	20 15.7	9 7.1	7 5.5	13 10.2
知的障害	146 100.0	19 13.0	14 9.6	34 23.3	34 23.3	5 3.4	14 9.6	24 16.4
精神障害	7 100.0	1 14.3	1 14.3	1 14.3	3 42.9	1 14.3	1 14.3	2 28.6
難病	26 100.0	4 15.4	3 11.5	7 26.9	3 11.5	2 7.7	2 7.7	4 15.4
無回答	2 100.0	-	-	-	2 100.0	-	-	1 50.0

	介助などのボランティアがないため	障害の程度が重く、スポーツは無理であるため	何のスポーツをやったらよいかわからないため	してみたいスポーツがないため	スポーツが嫌いだから	忙しくて時間がないから	その他	無回答
全体	34 15.4	60 27.1	72 32.6	19 8.6	13 5.9	20 9.0	38 17.2	7 3.2
身体障害	19 15.0	53 41.7	41 32.3	4 3.1	3 2.4	7 5.5	21 16.5	5 3.9
知的障害	23 15.8	34 23.3	53 36.3	15 10.3	9 6.2	15 10.3	24 16.4	3 2.1
精神障害	1 14.3	3 42.9	2 28.6	1 14.3	1 14.3	3 42.9	-	-
難病	5 19.2	12 46.2	10 38.5	-	-	1 3.8	4 15.4	2 7.7
無回答	1 50.0	-	1 50.0	-	-	-	-	-

(12) 趣味や教養などの生涯学習活動について

問 69 次の選択肢は、趣味や教養などの、生涯学習に関する活動といえるものです。あなたが行っている(行っていた)活動は何ですか。
(あてはまるものすべてに○)

「行っていない」の割合が55.2%と最も高く、次いで「趣味・けいごと(音楽、ダンス、園芸、読書、書道、絵画、写真など)」の割合が19.6%、「健康づくり・スポーツ(ウォーキング、水泳、武道など)」の割合が14.8%となっています。



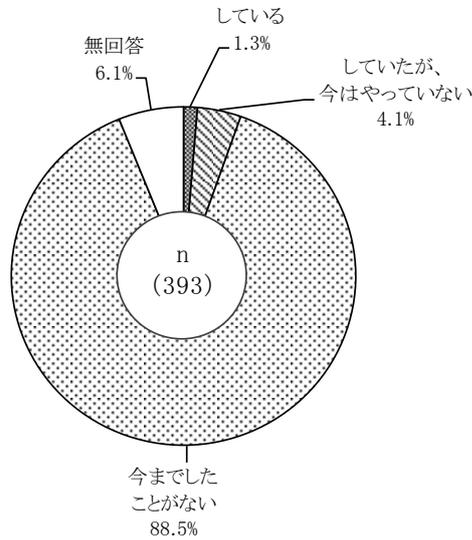
【障害種別】

単位 上段:件、下段:%

	調査数	趣味・けいごと(音楽、ダンス、園芸、読書、書道、絵画、写真など)	学術・教養(文学、歴史、経済、語学など)	健康づくり・スポーツ(ウォーキング、水泳、武道など)	家庭生活(料理、手芸など)	検定の資格や取得のための学習	パソコン、インターネットに関する学習	ボランティア活動・地域活動(子ども会、青少年団体、美化活動など)	行っていない	その他	無回答
全体	393	77	20	58	13	20	19	11	217	6	35
	100.0	19.6	5.1	14.8	3.3	5.1	4.8	2.8	55.2	1.5	8.9
身体障害	206	39	13	26	8	16	11	6	110	3	22
	100.0	18.9	6.3	12.6	3.9	7.8	5.3	2.9	53.4	1.5	10.7
知的障害	246	39	7	34	5	4	7	4	152	4	24
	100.0	15.9	2.8	13.8	2.0	1.6	2.8	1.6	61.8	1.6	9.8
精神障害	12	1	-	-	-	1	1	-	10	-	-
	100.0	8.3	-	-	-	8.3	8.3	-	83.3	-	-
難病	47	11	4	9	2	4	2	-	20	2	7
	100.0	23.4	8.5	19.1	4.3	8.5	4.3	-	42.6	4.3	14.9
無回答	5	-	-	3	1	-	1	-	1	-	-
	100.0	-	-	60.0	20.0	-	20.0	-	20.0	-	-

問 70 あなたは、趣味や学習活動のため、生涯学習センター・公民館等で実施されている講座を受講したことがありますか。
 (学校に通っている方は、学校の授業を除く)

「今までしたことがない」の割合が 88.5%と最も高くなっています。



【障害種別】

単位 上段:件、下段:%

	調査数	している	していたが、今はやっていない	今までしたことがない	無回答
全体	393	5	16	348	24
	100.0	1.3	4.1	88.5	6.1
身体障害	206	5	9	175	17
	100.0	2.4	4.4	85.0	8.3
知的障害	246	-	7	226	13
	100.0	-	2.8	91.9	5.3
精神障害	12	-	-	12	-
	100.0	-	-	100.0	-
難病	47	1	2	38	6
	100.0	2.1	4.3	80.9	12.8
無回答	5	-	-	5	-
	100.0	-	-	100.0	-

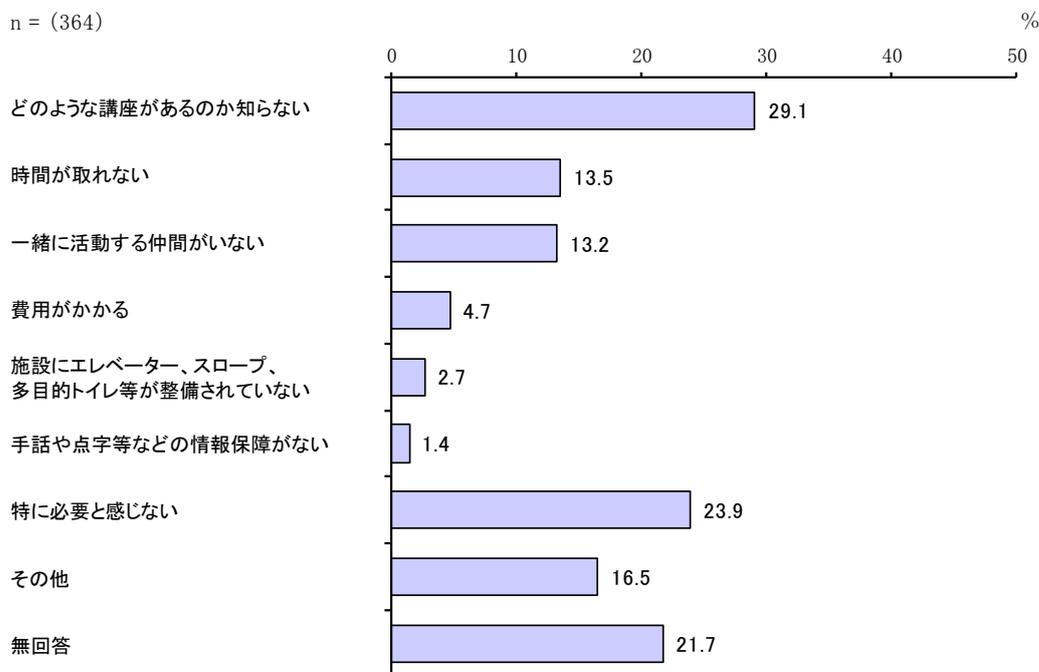
問 71 【問 70 で「している」と回答した方におたずねします。】
 あなたは、どのくらいの頻度で生涯学習センター・公民館等で実施されている講座の受講をしていますか。

「年に1～11回」が3件となっています。「週に3回以上」、「週に1～2回」が1件となっています。

問 72 【問 70 で「していたが今はやっていない」または「今までしたことがない」と回答した方におたずねします。】

あなたが趣味や学習活動のため、生涯学習センター・公民館等で実施されている講座を受講しない理由は何ですか。

「どのような講座があるのか知らない」の割合が 29.1%と最も高く、次いで「特に必要と感
じない」の割合が 23.9%、「時間が取れない」の割合が 13.5%となっています。



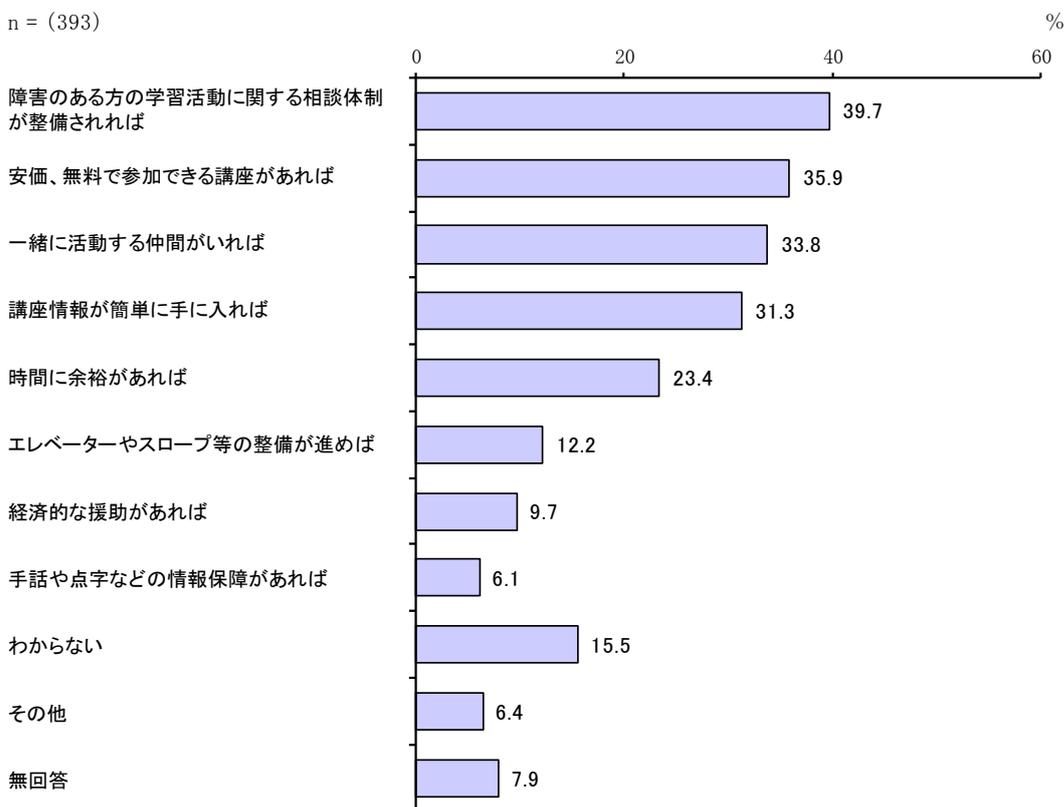
【障害種別】

単位 上段:件、下段:%

	調査数	時間が取れない	一緒に活動する仲間がいない	費用がかかる	施設にエレベーター、スロープ、多目的トイレ等が整備されていない	手話や点字などの情報保障がない	どのような講座があるのか知らない	特に必要と感 じない	その他	無回答
全 体	364	49	48	17	10	5	106	87	60	79
	100.0	13.5	13.2	4.7	2.7	1.4	29.1	23.9	16.5	21.7
身体障害	184	23	20	2	9	5	41	51	32	41
	100.0	12.5	10.9	1.1	4.9	2.7	22.3	27.7	17.4	22.3
知的障害	233	31	33	14	4	2	75	49	43	47
	100.0	13.3	14.2	6.0	1.7	0.9	32.2	21.0	18.5	20.2
精神障害	12	2	1	3	-	-	5	2	2	3
	100.0	16.7	8.3	25.0	-	-	41.7	16.7	16.7	25.0
難病	40	5	7	-	3	-	13	9	7	9
	100.0	12.5	17.5	-	7.5	-	32.5	22.5	17.5	22.5
無回答	5	-	1	-	-	-	1	2	1	1
	100.0	-	20.0	-	-	-	20.0	40.0	20.0	20.0

問 73 今後、障害のある方が、趣味や学習活動のため、生涯学習センター・公民館等で実施されている講座の受講を、より多く行うためには、どのようになればいいと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

「障害のある方の学習活動に関する相談体制が整備されれば」の割合が 39.7%と最も高く、次いで「安価、無料で参加できる講座があれば」の割合が 35.9%、「一緒に活動する仲間がいれば」の割合が 33.8%となっています。



【障害種別】

単位 上段:件、下段: %

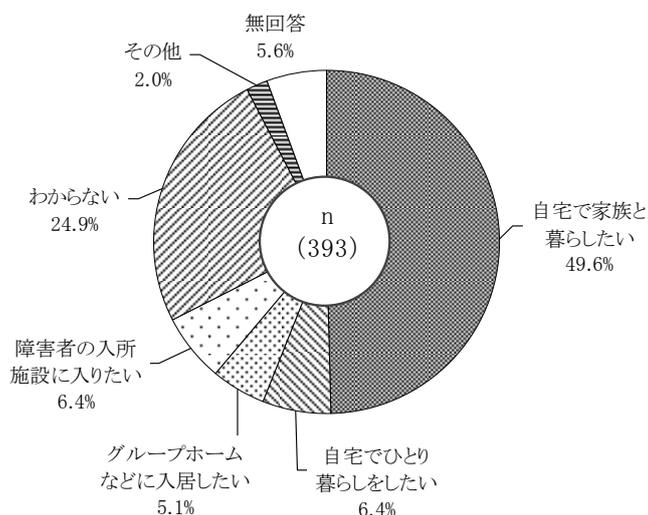
	調査数	時間に余裕があれば	一緒に活動する仲間がいれば	安価、無料で参加できる講座があれば	経済的な援助があれば	エレベーターやスロープ等の整備が進めば	手話や点字などの情報保障があれば	講座情報が簡単に手に入れば	障害のある方の学習活動に関する相談体制が整備されれば	わからない	その他	無回答
全体	393	92	133	141	38	48	24	123	156	61	25	31
	100.0	23.4	33.8	35.9	9.7	12.2	6.1	31.3	39.7	15.5	6.4	7.9
身体障害	206	40	61	67	14	38	19	54	69	44	12	23
	100.0	19.4	29.6	32.5	6.8	18.4	9.2	26.2	33.5	21.4	5.8	11.2
知的障害	246	59	90	89	28	24	9	80	112	31	20	18
	100.0	24.0	36.6	36.2	11.4	9.8	3.7	32.5	45.5	12.6	8.1	7.3
精神障害	12	4	4	6	3	2	1	2	6	2	1	-
	100.0	33.3	33.3	50.0	25.0	16.7	8.3	16.7	50.0	16.7	8.3	-
難病	47	11	12	15	4	10	-	15	21	5	2	7
	100.0	23.4	25.5	31.9	8.5	21.3	-	31.9	44.7	10.6	4.3	14.9
無回答	5	1	3	2	-	1	-	3	3	-	-	-
	100.0	20.0	60.0	40.0	-	20.0	-	60.0	60.0	-	-	-

(13) 将来について

問 74 あなたは将来、どのような暮らし方をしたいと思いますか。(○は1つ)

「自宅で家族と暮らしたい」の割合が 49.6%と最も高く、次いで「わからない」の割合が 24.9%となっています。

平成 28 年度調査と比較すると、全体では、大きな変化はみられません。また、精神障害のある方では、「自宅でひとり暮らしをしたい」の割合が増加しています。



【障害種別】

単位 上段:件、下段:%

	調査数	自宅で家族と暮らしたい	自宅でひとり暮らしをしたい	グループホームなどに入居したい	障害者の入所施設に入りたい	わからない	その他	無回答
全体	393 100.0	195 49.6	25 6.4	20 5.1	25 6.4	98 24.9	8 2.0	22 5.6
身体障害	206 100.0	105 51.0	16 7.8	8 3.9	18 8.7	41 19.9	4 1.9	14 6.8
知的障害	246 100.0	111 45.1	10 4.1	19 7.7	18 7.3	66 26.8	6 2.4	16 6.5
精神障害	12 100.0	4 33.3	1 8.3	1 8.3	-	6 50.0	-	-
難病	47 100.0	20 42.6	4 8.5	-	1 2.1	14 29.8	-	8 17.0
無回答	5 100.0	3 60.0	1 20.0	-	-	1 20.0	-	-

【平成 28 年度調査】

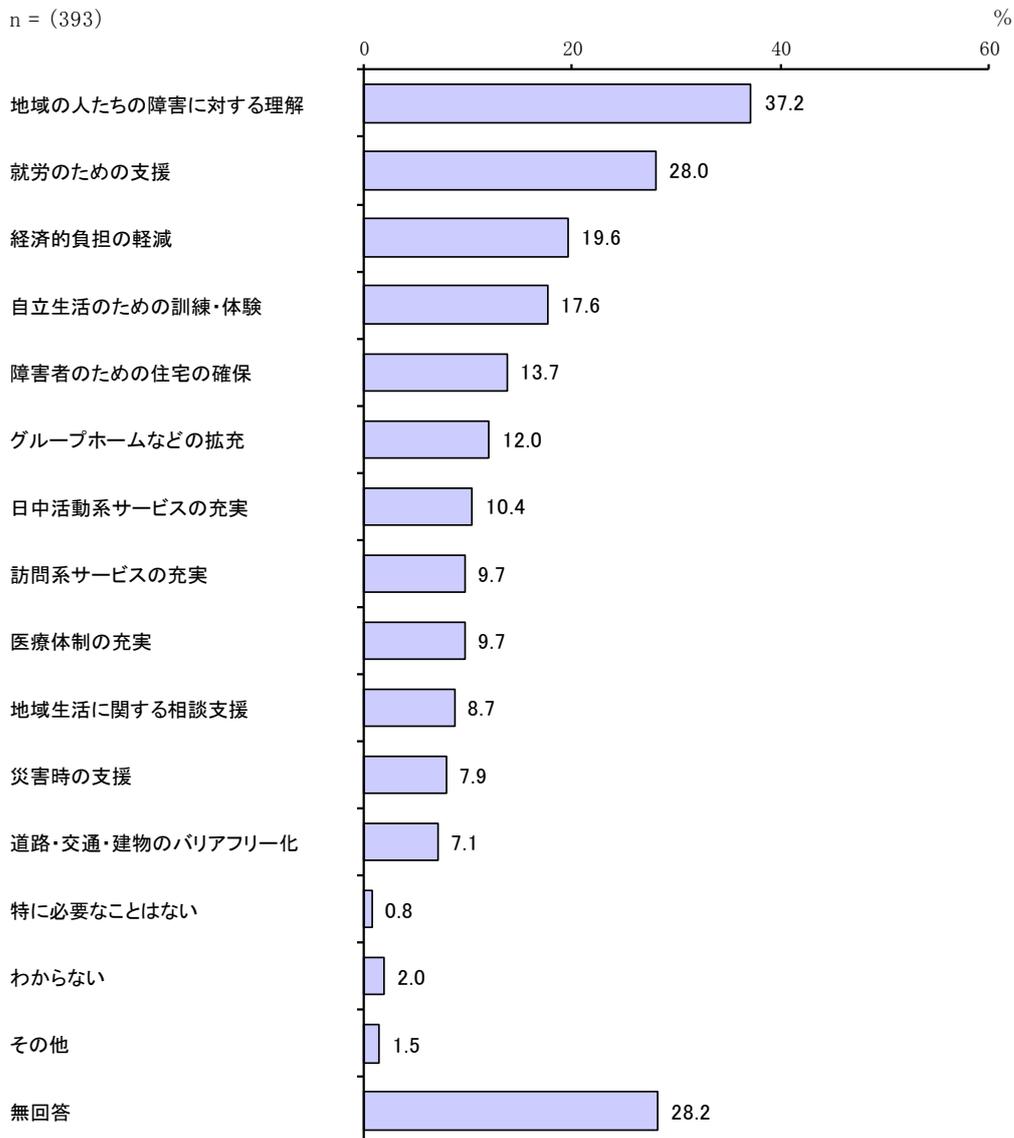
単位 上段:件、下段:%

	調査数	自宅で家族と暮らしたい	自宅でひとり暮らしをしたい	グループホームなどに入居したい	障害者の入所施設に入りたい	わからない	その他	無回答
全体	427 100.0	227 53.2	19 4.4	27 6.3	23 5.4	106 24.8	8 1.9	17 4.0
身体障害	239 100.0	129 54.0	15 6.3	7 2.9	13 5.4	59 24.7	5 2.1	11 4.6
知的障害	264 100.0	134 50.8	7 2.7	26 9.8	17 6.4	64 24.2	6 2.3	10 3.8
精神障害	12 100.0	7 58.3	-	1 8.3	1 8.3	2 16.7	-	1 8.3
難病	143 100.0	79 55.2	7 4.9	4 2.8	4 2.8	45 31.5	-	4 2.8
無回答	3 100.0	2 66.7	-	-	-	1 33.3	-	-

問 75 あなた（や保護者・ご家族の方）は、障害のある人が地域で生活していくためには、何が必要だと思いますか。（〇は3つまで）

「地域の人たちの障害に対する理解」の割合が 37.2%と最も高く、次いで「就労のための支援」の割合が 28.0%、「経済的負担の軽減」の割合が 19.6%となっています。

平成 28 年度調査と比較すると、全体では、「地域の人たちの障害に対する理解」、「地域生活に関する相談支援」、「訪問系サービスの充実」、「日中活動系サービスの充実」、「自立生活のための訓練・体験」の割合が減少しています。



【障害種別】

単位 上段:件、下段:%

	調査数	地域の人たちの障害に対する理解	地域生活に関する相談支援	訪問系サービスの充実	日中活動系サービスの充実	自立生活のための訓練・体験	グループホームなどの拡充	障害者のための住宅の確保	医療体制の充実
全体	393 100.0	146 37.2	34 8.7	38 9.7	41 10.4	69 17.6	47 12.0	54 13.7	38 9.7
身体障害	206 100.0	68 33.0	14 6.8	29 14.1	22 10.7	22 10.7	21 10.2	23 11.2	28 13.6
知的障害	246 100.0	92 37.4	27 11.0	22 8.9	31 12.6	52 21.1	41 16.7	42 17.1	20 8.1
精神障害	12 100.0	5 41.7	1 8.3	2 16.7	3 25.0	4 33.3	2 16.7	1 8.3	-
難病	47 100.0	10 21.3	3 6.4	9 19.1	3 6.4	7 14.9	6 12.8	9 19.1	8 17.0
無回答	5 100.0	3 60.0	-	-	-	-	-	1 20.0	1 20.0

	就労のための支援	災害時の支援	道路・交通・建物のバリアフリー化	経済的負担の軽減	特に必要なことはない	わからない	その他	無回答
全体	110 28.0	31 7.9	28 7.1	77 19.6	3 0.8	8 2.0	6 1.5	111 28.2
身体障害	43 20.9	22 10.7	26 12.6	42 20.4	2 1.0	4 1.9	5 2.4	64 31.1
知的障害	71 28.9	11 4.5	7 2.8	41 16.7	1 0.4	6 2.4	1 0.4	70 28.5
精神障害	3 25.0	-	-	1 8.3	-	-	-	4 33.3
難病	15 31.9	6 12.8	5 10.6	12 25.5	-	1 2.1	1 2.1	13 27.7
無回答	2 40.0	1 20.0	-	1 20.0	-	-	-	1 20.0

【平成 28 年度調査】

単位 上段:件、下段:%

	調査数	地域の人たちの障害に対する理解	地域生活に関する相談支援	訪問系サービスの充実	日中活動系サービスの充実	自立生活のための訓練・体験	グループホームなどの拡充	障害者のための住宅の確保	医療体制の充実
全体	427 100.0	256 60.0	68 15.9	87 20.4	111 26.0	123 28.8	62 14.5	69 16.2	54 12.6
身体障害	239 100.0	133 55.6	31 13.0	64 26.8	67 28.0	45 18.8	27 11.3	34 14.2	45 18.8
知的障害	264 100.0	169 64.0	49 18.6	44 16.7	82 31.1	92 34.8	55 20.8	45 17.0	24 9.1
精神障害	12 100.0	9 75.0	3 25.0	3 25.0	4 33.3	3 25.0	2 16.7	3 25.0	1 8.3
難病	143 100.0	81 56.6	18 12.6	35 24.5	38 26.6	39 27.3	18 12.6	20 14.0	28 19.6
無回答	3 100.0	1 33.3	1 33.3	-	-	3 100.0	-	-	-

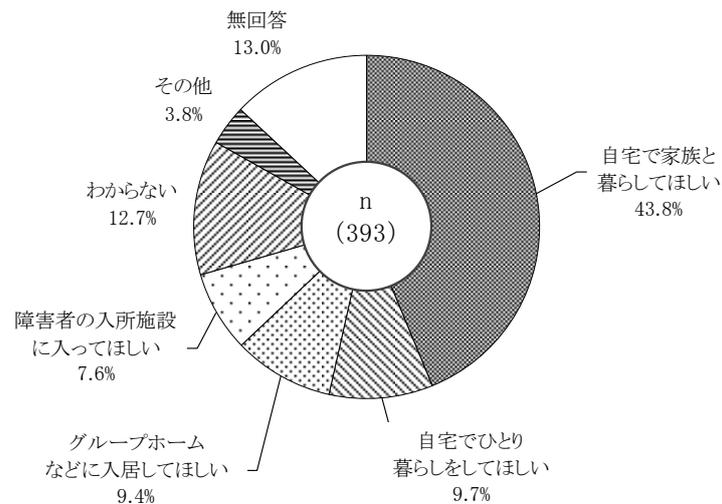
	就労のための支援	災害時の支援	道路・交通・建物のバリアフリー化	経済的負担の軽減	特に必要なことはない	わからない	その他	無回答
全体	138 32.3	51 11.9	43 10.1	82 19.2	3 0.7	9 2.1	1 0.2	13 3.0
身体障害	59 24.7	33 13.8	42 17.6	53 22.2	2 0.8	6 2.5	-	8 3.3
知的障害	89 33.7	25 9.5	9 3.4	43 16.3	1 0.4	3 1.1	1 0.4	8 3.0
精神障害	3 25.0	-	1 8.3	1 8.3	-	-	-	1 8.3
難病	49 34.3	17 11.9	18 12.6	28 19.6	2 1.4	4 2.8	-	1 0.7
無回答	1 33.3	-	-	1 33.3	-	-	-	-

問 76 【主な介助者の方におたずねします。】

今あなたが介助をしている人に、将来どのような暮らし方をしてほしいと思いますか。(○は1つ)

「自宅で家族と暮らしてほしい」の割合が43.8%と最も高く、次いで「わからない」の割合が12.7%となっています。

年齢別で見ると、他に比べ、0～2歳で「自宅で家族と暮らしてほしい」の割合が高く、6割となっています。また、15～17歳で「障害者の入所施設に入してほしい」の割合が高くなっています。



【障害種別】

単位 上段:件、下段:%

	調査数	自宅で家族と暮らしてほしい	自宅でひとり暮らしをほしい	グループホームなどに入居してほしい	障害者の入所施設に入してほしい	わからない	その他	無回答
全体	393	172	38	37	30	50	15	51
	100.0	43.8	9.7	9.4	7.6	12.7	3.8	13.0
身体障害	206	91	24	15	20	22	7	27
	100.0	44.2	11.7	7.3	9.7	10.7	3.4	13.1
知的障害	246	101	14	35	23	35	11	27
	100.0	41.1	5.7	14.2	9.3	14.2	4.5	11.0
精神障害	12	5	2	1	-	2	-	2
	100.0	41.7	16.7	8.3	-	16.7	-	16.7
難病	47	22	6	6	4	6	1	2
	100.0	46.8	12.8	12.8	8.5	12.8	2.1	4.3
無回答	5	3	1	-	1	-	-	-
	100.0	60.0	20.0	-	20.0	-	-	-

【年齢別】

単位 上段:件、下段:%

	調査数	自宅で家族と暮らしてほしい	自宅でひとり暮らししてほしい	グループホームなどに入居してほしい	障害者の入所施設に入りたい	わからない	その他	無回答
全体	393 100.0	172 43.8	38 9.7	37 9.4	30 7.6	50 12.7	15 3.8	51 13.0
0～2歳	15 100.0	9 60.0	2 13.3	-	-	1 6.7	-	3 20.0
3～5歳	55 100.0	21 38.2	8 14.5	2 3.6	4 7.3	11 20.0	2 3.6	7 12.7
6～8歳	69 100.0	33 47.8	6 8.7	5 7.2	5 7.2	12 17.4	-	8 11.6
9～11歳	92 100.0	37 40.2	8 8.7	15 16.3	7 7.6	15 16.3	4 4.3	6 6.5
12～14歳	73 100.0	36 49.3	6 8.2	4 5.5	2 2.7	8 11.0	4 5.5	13 17.8
15～17歳	79 100.0	31 39.2	8 10.1	11 13.9	10 12.7	3 3.8	4 5.1	12 15.2
無回答	10 100.0	5 50.0	-	-	2 20.0	-	1 10.0	2 20.0

【家族・親族である介助者の年齢別】

単位 上段:件、下段:%

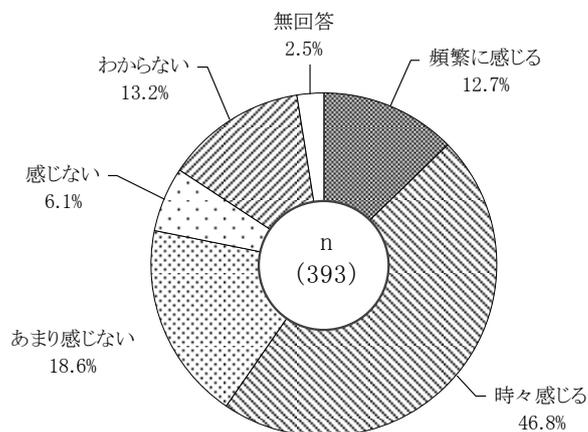
	調査数	自宅で家族と暮らしてほしい	自宅でひとり暮らししてほしい	グループホームなどに入居してほしい	障害者の入所施設に入りたい	わからない	その他	無回答
全体	287 100.0	130 45.3	32 11.1	28 9.8	23 8.0	44 15.3	10 3.5	20 7.0
20歳未満	2 100.0	-	-	-	-	2 100.0	-	-
20代	5 100.0	1 20.0	2 40.0	-	1 20.0	1 20.0	-	-
30代	75 100.0	35 46.7	10 13.3	2 2.7	4 5.3	14 18.7	1 1.3	9 12.0
40代	167 100.0	78 46.7	16 9.6	21 12.6	13 7.8	23 13.8	8 4.8	8 4.8
50代	35 100.0	14 40.0	4 11.4	5 14.3	5 14.3	3 8.6	1 2.9	3 8.6
60代	2 100.0	1 50.0	-	-	-	1 50.0	-	-
70歳以上	-	-	-	-	-	-	-	-
無回答	1 100.0	1 100.0	-	-	-	-	-	-

(14) 障害のある人に対する理解度

問 77 あなたは、普段の生活のなかで、差別を感じることはありませんか。(○は1つ)

「頻繁に感じる」と「時々感じる」をあわせた“感じる”の割合が59.5%、「あまり感じない」と「感じない」をあわせた“感じない”の割合が24.7%となっています。

平成28年度調査と比較すると、全体では、“感じる”の割合が増加しています。



【障害種別】

単位 上段:件、下段:%

	調査数	頻繁に感じる	時々感じる	あまり感じない	感じない	わからない	無回答
全体	393	50	184	73	24	52	10
	100.0	12.7	46.8	18.6	6.1	13.2	2.5
身体障害	206	29	97	40	13	21	6
	100.0	14.1	47.1	19.4	6.3	10.2	2.9
知的障害	246	33	120	43	10	35	5
	100.0	13.4	48.8	17.5	4.1	14.2	2.0
精神障害	12	4	6	2	-	-	-
	100.0	33.3	50.0	16.7	-	-	-
難病	47	8	19	11	2	6	1
	100.0	17.0	40.4	23.4	4.3	12.8	2.1
無回答	5	-	3	1	1	-	-
	100.0	-	60.0	20.0	20.0	-	-

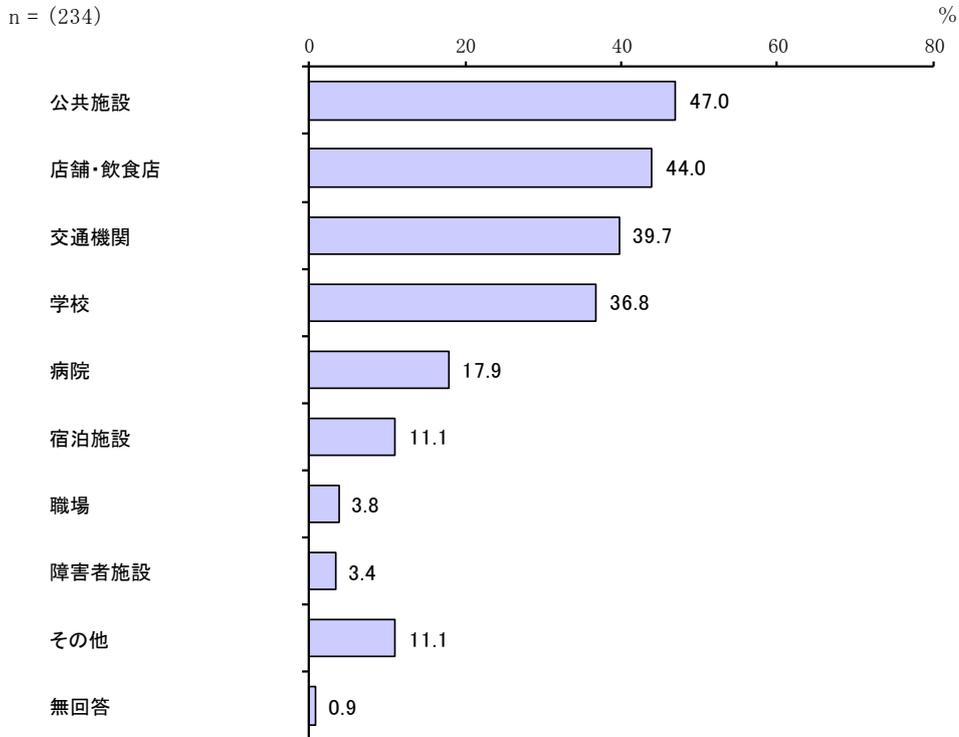
【平成28年度調査】

単位 上段:件、下段:%

	調査数	頻繁に感じる	時々感じる	あまり感じない	感じない	わからない	無回答
全体	427	46	177	107	45	44	8
	100.0	10.8	41.5	25.1	10.5	10.3	1.9
身体障害	239	27	97	60	27	23	5
	100.0	11.3	40.6	25.1	11.3	9.6	2.1
知的障害	264	29	115	67	19	30	4
	100.0	11.0	43.6	25.4	7.2	11.4	1.5
精神障害	12	2	5	1	1	3	-
	100.0	16.7	41.7	8.3	8.3	25.0	-
難病	143	16	50	46	17	12	2
	100.0	11.2	35.0	32.2	11.9	8.4	1.4
無回答	3	-	2	-	1	-	-
	100.0	-	66.7	-	33.3	-	-

問 78 差別を感じた経験のある方におたずねします。それはどのような場所でありましたか。(〇はいくつでも)

「公共施設」の割合が47.0%と最も高く、次いで「店舗・飲食店」の割合が44.0%、「交通機関」の割合が39.7%となっています。



【障害種別】

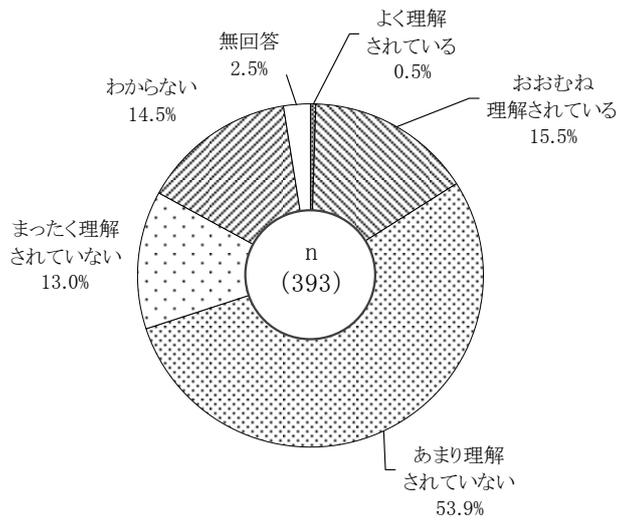
単位 上段:件、下段:%

	調査数	職場	学校	障害者施設	病院	店舗・飲食店	公共施設	宿泊施設	交通機関	その他	無回答
全 体	234	9	86	8	42	103	110	26	93	26	2
	100.0	3.8	36.8	3.4	17.9	44.0	47.0	11.1	39.7	11.1	0.9
身体障害	126	4	38	5	14	61	68	17	49	19	1
	100.0	3.2	30.2	4.0	11.1	48.4	54.0	13.5	38.9	15.1	0.8
知的障害	153	6	50	5	35	73	68	20	61	13	2
	100.0	3.9	32.7	3.3	22.9	47.7	44.4	13.1	39.9	8.5	1.3
精神障害	10	-	4	1	2	5	6	1	5	2	-
	100.0	-	40.0	10.0	20.0	50.0	60.0	10.0	50.0	20.0	-
難病	27	2	13	2	3	14	13	5	5	7	-
	100.0	7.4	48.1	7.4	11.1	51.9	48.1	18.5	18.5	25.9	-
無回答	3	-	1	-	1	1	2	2	3	-	-
	100.0	-	33.3	-	33.3	33.3	66.7	66.7	100.0	-	-

問 79 あなたは、障害のある人に対する市民の理解が、どの程度あると感じていますか。(○は1つ)

「よく理解されている」と「おおむね理解されている」をあわせた“理解されている”の割合が16.0%、「あまり理解されていない」と「まったく理解されていない」をあわせた“理解されていない”の割合が66.9%となっています。

平成28年度調査と比較すると、全体では、大きな変化はみられません。



【障害種別】

単位 上段:件、下段:%

	調査数	よく理解されている	おおむね理解されている	あまり理解されていない	まったく理解されていない	わからない	無回答
全体	393	2	61	212	51	57	10
	100.0	0.5	15.5	53.9	13.0	14.5	2.5
身体障害	206	1	27	117	28	27	6
	100.0	0.5	13.1	56.8	13.6	13.1	2.9
知的障害	246	-	44	127	36	34	5
	100.0	-	17.9	51.6	14.6	13.8	2.0
精神障害	12	-	1	6	4	1	-
	100.0	-	8.3	50.0	33.3	8.3	-
難病	47	1	5	27	8	5	1
	100.0	2.1	10.6	57.4	17.0	10.6	2.1
無回答	5	1	-	4	-	-	-
	100.0	20.0	-	80.0	-	-	-

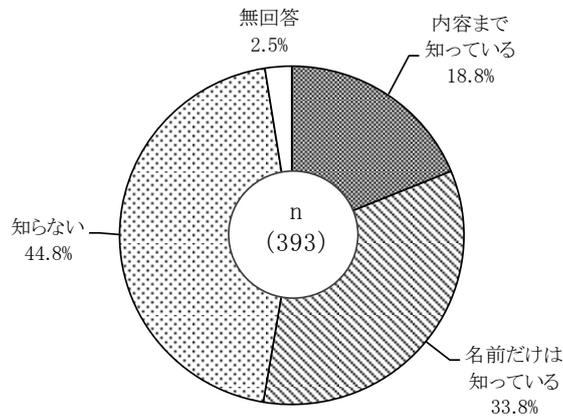
【平成28年度調査】

単位 上段:件、下段:%

	調査数	よく理解されている	おおむね理解されている	あまり理解されていない	まったく理解されていない	わからない	無回答
全体	427	8	77	231	44	59	8
	100.0	1.9	18.0	54.1	10.3	13.8	1.9
身体障害	239	4	41	130	22	38	4
	100.0	1.7	17.2	54.4	9.2	15.9	1.7
知的障害	264	4	49	146	31	29	5
	100.0	1.5	18.6	55.3	11.7	11.0	1.9
精神障害	12	1	3	3	2	3	-
	100.0	8.3	25.0	25.0	16.7	25.0	-
難病	143	4	24	77	14	23	1
	100.0	2.8	16.8	53.8	9.8	16.1	0.7
無回答	3	1	1	1	-	-	-
	100.0	33.3	33.3	33.3	-	-	-

問 80 障害者への差別をなくすことを目的として、平成 28 年 4 月 1 日に「障害者差別解消法」が施行されましたが、その法律について知っていますか。(○は 1 つ)

「知らない」の割合が 44.8%と最も高く、次いで「名前だけは知っている」の割合が 33.8%、「内容まで知っている」の割合が 18.8%となっています。



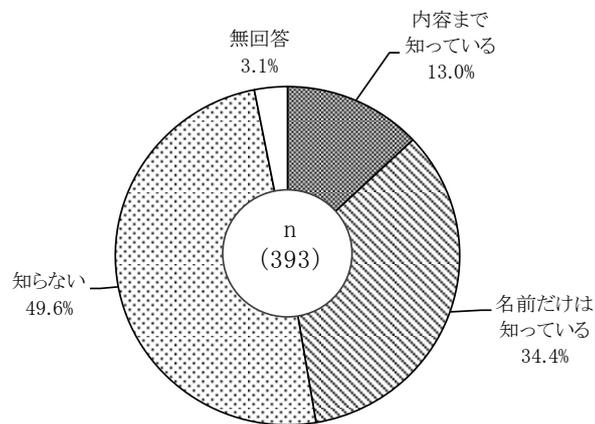
【障害種別】

単位 上段:件、下段:%

	調査数	内容まで知っている	名前だけは知っている	知らない	無回答
全 体	393	74	133	176	10
	100.0	18.8	33.8	44.8	2.5
身体障害	206	53	64	84	5
	100.0	25.7	31.1	40.8	2.4
知的障害	246	43	85	112	6
	100.0	17.5	34.6	45.5	2.4
精神障害	12	1	3	8	-
	100.0	8.3	25.0	66.7	-
難病	47	10	13	23	1
	100.0	21.3	27.7	48.9	2.1
無回答	5	1	2	2	-
	100.0	20.0	40.0	40.0	-

問 81 障害者への虐待を発見した場合や障害者が虐待を受けた場合に、市へ通報や届出をする「障害者虐待防止法」が平成 24 年 10 月 1 日に施行されましたが、その法律について知っていますか。(〇は 1 つ)

「知らない」の割合が 49.6%と最も高く、次いで「名前だけは知っている」の割合が 34.4%、「内容まで知っている」の割合が 13.0%となっています。



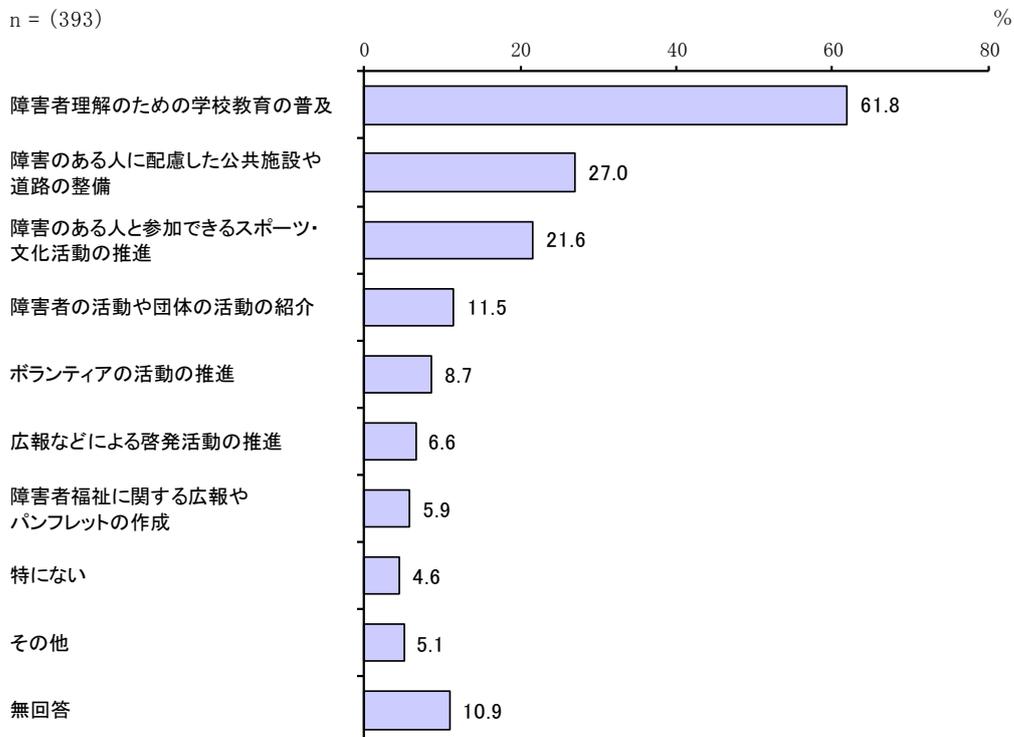
【障害種別】

単位 上段: 件、下段: %

	調査数	内容まで知っている	名前だけは知っている	知らない	無回答
全 体	393	51	135	195	12
	100.0	13.0	34.4	49.6	3.1
身体障害	206	33	75	92	6
	100.0	16.0	36.4	44.7	2.9
知的障害	246	38	87	114	7
	100.0	15.4	35.4	46.3	2.8
精神障害	12	3	2	7	-
	100.0	25.0	16.7	58.3	-
難病	47	7	16	23	1
	100.0	14.9	34.0	48.9	2.1
無回答	5	1	1	3	-
	100.0	20.0	20.0	60.0	-

問 82 あなたは、障害者に対する理解をより深めるために、どのようなことを行政に取り組んでもらいたいですか。(○は2つまで)

「障害者理解のための学校教育の普及」の割合が 61.8%と最も高く、次いで「障害のある人に配慮した公共施設や道路の整備」の割合が 27.0%、「障害のある人と参加できるスポーツ・文化活動の推進」の割合が 21.6%となっています。



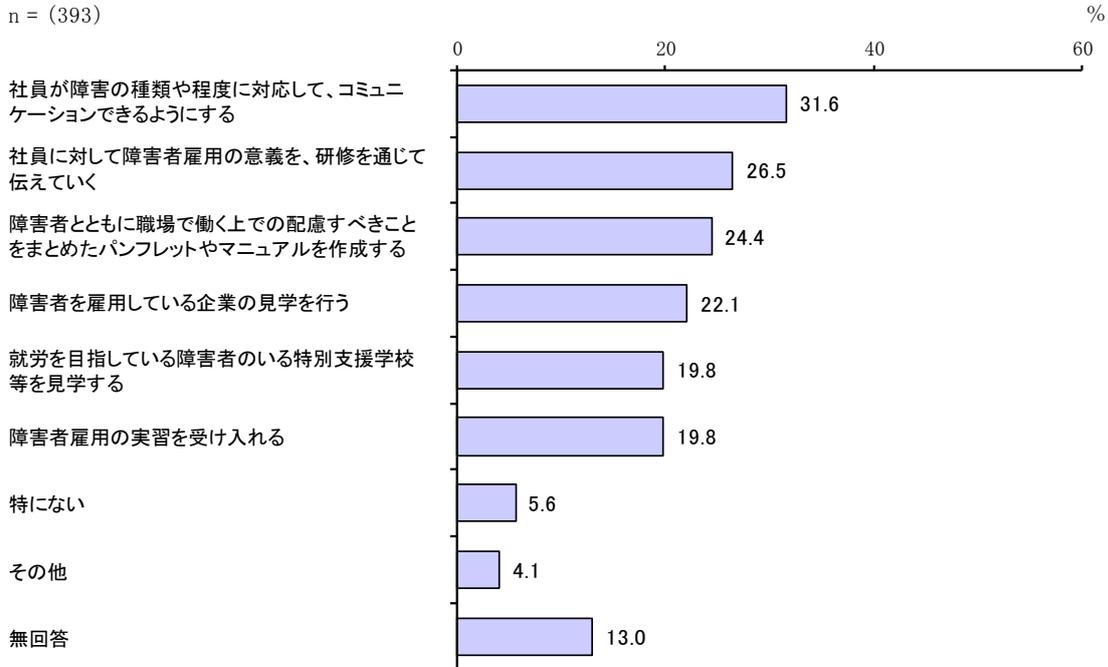
【障害種別】

単位 上段:件、下段:%

	調査数	障害者理解のための学校教育の普及	広報などによる啓発活動の推進	障害者の活動や団体の活動の紹介	ボランティアの活動の推進	障害のある人と参加できるスポーツ・文化活動の推進	障害のある人に配慮した公共施設や道路の整備	障害者福祉に関する広報やパンフレットの作成	特になし	その他	無回答
全体	393 100.0	243 61.8	26 6.6	45 11.5	34 8.7	85 21.6	106 27.0	23 5.9	18 4.6	20 5.1	43 10.9
身体障害	206 100.0	118 57.3	9 4.4	25 12.1	25 12.1	39 18.9	71 34.5	11 5.3	10 4.9	8 3.9	23 11.2
知的障害	246 100.0	162 65.9	17 6.9	28 11.4	18 7.3	57 23.2	65 26.4	15 6.1	7 2.8	16 6.5	23 9.3
精神障害	12 100.0	6 50.0	1 8.3	1 8.3	-	-	3 25.0	1 8.3	1 8.3	1 8.3	3 25.0
難病	47 100.0	25 53.2	4 8.5	6 12.8	3 6.4	9 19.1	17 36.2	4 8.5	-	5 10.6	5 10.6
無回答	5 100.0	2 40.0	1 20.0	-	1 20.0	3 60.0	-	-	-	-	1 20.0

問 83 あなたは、障害者に対する理解をより深めるために、どのようなことを企業に取り組んでもらいたいですか。(〇は2つまで)

「社員が障害の種類や程度に対応して、コミュニケーションできるようにする」の割合が31.6%と最も高く、次いで「社員に対して障害者雇用の意義を、研修を通じて伝えていく」の割合が26.5%、「障害者とともに職場で働く上での配慮すべきことをまとめたパンフレットやマニュアルを作成する」の割合が24.4%となっています。



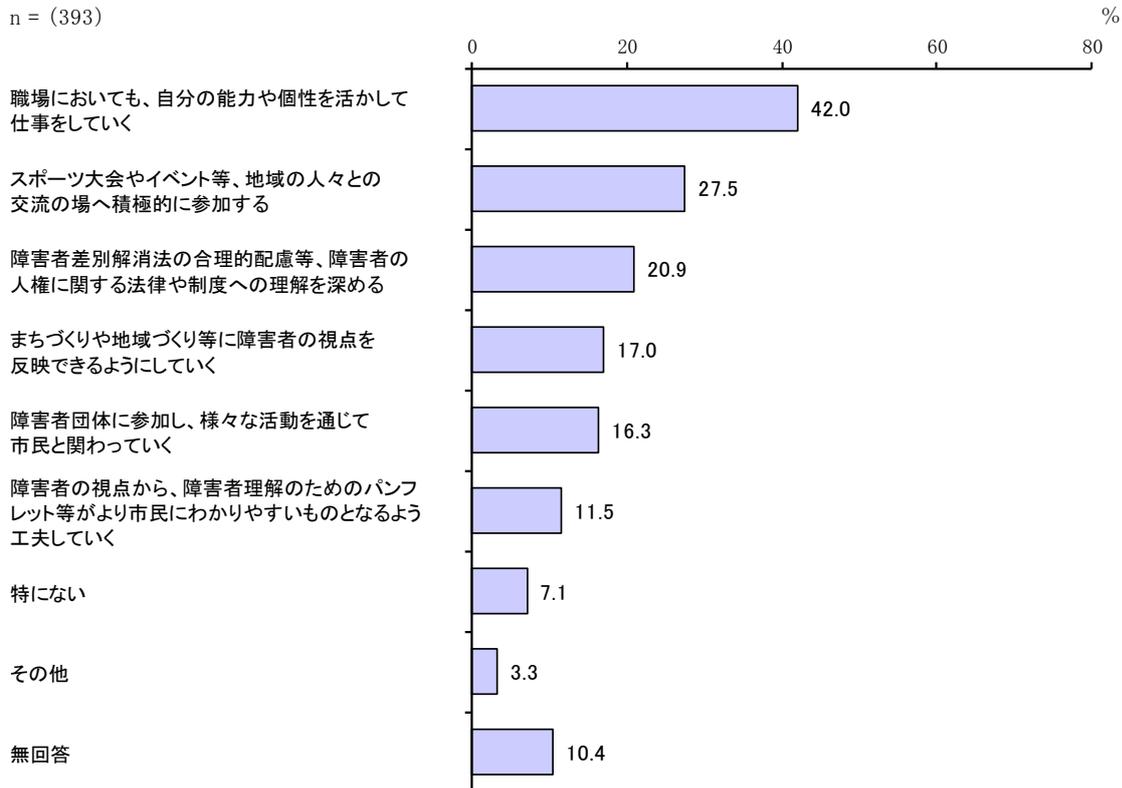
【障害種別】

単位 上段:件、下段:%

	調査数	社員に対して障害者雇用の意義を、研修を通じて伝えていく	就労を目指している障害者のいる特別支援学校等を見学する	障害者を雇用している企業の見学を行う	障害者雇用の実習を受け入れる	社員が障害の種類や程度に対応して、コミュニケーションできるようにする	障害者とともに職場で働く上での配慮すべきことをまとめたパンフレットやマニュアルを作成する	特にない	その他	無回答
全体	393 100.0	104 26.5	78 19.8	87 22.1	78 19.8	124 31.6	96 24.4	22 5.6	16 4.1	51 13.0
身体障害	206 100.0	47 22.8	44 21.4	47 22.8	48 23.3	63 30.6	43 20.9	15 7.3	7 3.4	27 13.1
知的障害	246 100.0	69 28.0	56 22.8	53 21.5	44 17.9	80 32.5	64 26.0	10 4.1	12 4.9	30 12.2
精神障害	12 100.0	3 25.0	-	4 33.3	3 25.0	3 25.0	3 25.0	1 8.3	-	2 16.7
難病	47 100.0	10 21.3	8 17.0	7 14.9	12 25.5	14 29.8	12 25.5	2 4.3	2 4.3	9 19.1
無回答	5 100.0	-	-	3 60.0	1 20.0	3 60.0	1 20.0	-	-	1 20.0

問 84 障害者への理解を深めるために、障害者自身がどのような取り組みをしていく必要があると思いますか。(○は2つまで)

「職場においても、自分の能力や個性を活かして仕事をしていく」の割合が 42.0%と最も高く、次いで「スポーツ大会やイベント等、地域の人々との交流の場へ積極的に参加する」の割合が 27.5%、「障害者差別解消法の合理的配慮等、障害者の人権に関する法律や制度への理解を深める」の割合が 20.9%となっています。



【障害種別】

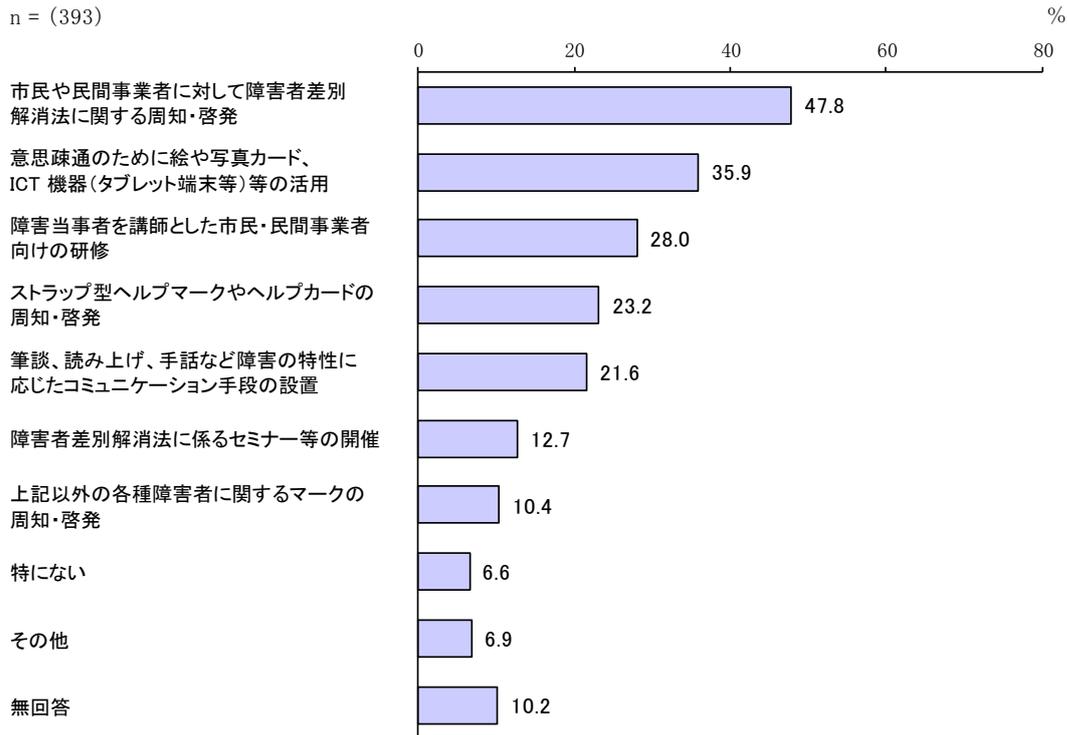
単位 上段:件、下段:%

	調査数	障害者差別解消法の合理的配慮等、障害者の人権に関する法律や制度への理解を深める	スポーツ大会やイベント等、地域の人々との交流の場へ積極的に参加する	まちづくりや地域づくり等に障害者の視点を反映できるようにしていく	障害者団体に参加し、様々な活動を通じて市民と関わっていく	障害者の視点から、障害者理解のためのパンフレット等がより市民にわかりやすいものとなるよう工夫していく	職場においても、自分の能力や個性を活かして仕事をしていく	特にない	その他	無回答
全体	393	82	108	67	64	45	165	28	13	41
	100.0	20.9	27.5	17.0	16.3	11.5	42.0	7.1	3.3	10.4
身体障害	206	36	65	46	32	23	72	17	4	27
	100.0	17.5	31.6	22.3	15.5	11.2	35.0	8.3	1.9	13.1
知的障害	246	56	69	40	47	27	99	16	11	21
	100.0	22.8	28.0	16.3	19.1	11.0	40.2	6.5	4.5	8.5
精神障害	12	4	4	2	2	2	5	-	-	1
	100.0	33.3	33.3	16.7	16.7	16.7	41.7	-	-	8.3
難病	47	11	14	8	8	7	15	3	3	7
	100.0	23.4	29.8	17.0	17.0	14.9	31.9	6.4	6.4	14.9
無回答	5	-	2	1	-	1	4	-	-	1
	100.0	-	40.0	20.0	-	20.0	80.0	-	-	20.0

問 85 社会的障壁の除去に向けて、合理的配慮を進めていくために必要なことは何だと思われるですか。(〇は3つまで)

「市民や民間事業者に対して障害者差別解消法に関する周知・啓発」の割合が47.8%と最も高く、次いで「意思疎通のために絵や写真カード、ICT機器（タブレット端末等）等の活用」の割合が35.9%、「障害当事者を講師とした市民・民間事業者向けの研修」の割合が28.0%となっています。

平成28年度調査と比較すると、全体では、「意思疎通のために絵や写真カード、ICT機器（タブレット端末等）等の活用」の割合が増加しています。



※令和元年度調査の「ストラップ型ヘルプマークやヘルプカードの周知・啓発」、「上記以外の各種障害者に関するマークの周知・啓発」は新たに追加された選択肢です。平成28年度調査の「各種障害者に関するマークの周知・啓発」は令和元年度調査にはありません。

【障害種別】

単位 上段:件、下段:%

	調査数	市民や民間事業者 に対して障害者差別 解消法に関する周知・啓発	障害者差別 解消法に係るセミナー等の 開催	障害当事者 を講師とした市民・ 民間事業者向けの 研修	筆談、読み 上げ、手話 など障害 の特性に 応じたコ ミュニケー ション手段 の設置	意思疎通 のために 絵や写真 カード、ICT 機器(タブ レット端末 等)等の活 用	ストラップ 型ヘルプ マークやヘル プカードの 周知・啓 発	上記6以外 の各種障 害者に関 するマーク の周知・啓 発	特にな い	その他	無回答
全 体	393 100.0	188 47.8	50 12.7	110 28.0	85 21.6	141 35.9	91 23.2	41 10.4	26 6.6	27 6.9	40 10.2
身体障害	206 100.0	99 48.1	22 10.7	64 31.1	52 25.2	69 33.5	44 21.4	15 7.3	17 8.3	13 6.3	20 9.7
知的障害	246 100.0	123 50.0	33 13.4	69 28.0	47 19.1	93 37.8	60 24.4	27 11.0	13 5.3	20 8.1	25 10.2
精神障害	12 100.0	6 50.0	3 25.0	-	3 25.0	4 33.3	6 50.0	2 16.7	1 8.3	-	-
難病	47 100.0	22 46.8	6 12.8	16 34.0	6 12.8	13 27.7	13 27.7	4 8.5	5 10.6	2 4.3	7 14.9
無回答	5 100.0	2 40.0	1 20.0	2 40.0	-	2 40.0	1 20.0	1 20.0	-	-	1 20.0

【平成 28 年度調査】

単位 上段:件、下段:%

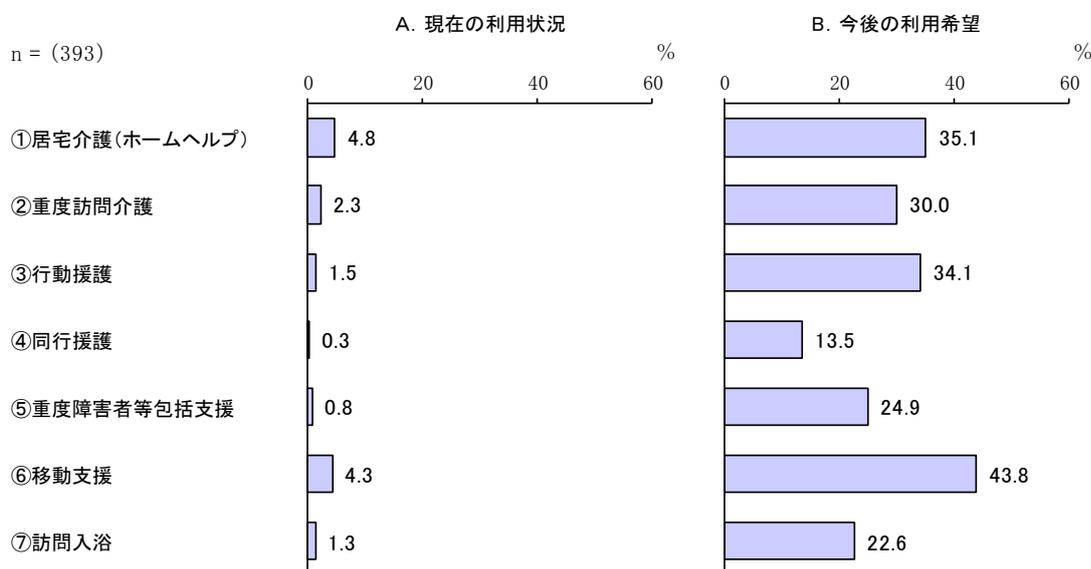
	調査数	市民や民間事業者 に対して障害者差別 解消法に関する周知・啓発	障害者差別 解消法に係るセミナー等の 開催	障害当事者 を講師とした市民・ 民間事業者向けの 研修	筆談、読み 上げ、手話 など障害 の特性に 応じたコ ミュニケー ション手段 の設置	意思疎通 のために 絵や写真 カード、ICT 機器(タブ レット端末 等)等の活 用	ストラップ 型ヘルプ マークやヘル プカードの 周知・啓 発	各種障害 者に関するマークの 周知・啓 発	特にな い	その他	無回答
全 体	427 100.0	213 49.9	55 12.9	118 27.6	88 20.6	121 28.3	47 11.0	18 4.2	24 5.6	24 5.6	
身体障害	239 100.0	116 48.5	27 11.3	63 26.4	55 23.0	54 22.6	27 11.3	15 6.3	13 5.4	16 6.7	
知的障害	264 100.0	141 53.4	39 14.8	81 30.7	41 15.5	86 32.6	25 9.5	4 1.5	17 6.4	13 4.9	
精神障害	12 100.0	8 66.7	3 25.0	5 41.7	1 8.3	-	-	-	-	2 16.7	1 8.3
難病	143 100.0	76 53.1	17 11.9	35 24.5	29 20.3	35 24.5	18 12.6	10 7.0	5 3.5	8 5.6	
無回答	3 100.0	1 33.3	-	-	1 33.3	1 33.3	1 33.3	-	-	-	

(15) サービス利用について

問 86 あなたは、次のような訪問系サービスを利用していますか。また今後利用したいと思いますか。すでに利用している方も、今後利用したいかどうかをお答えください。
 (①～⑦のそれぞれのサービスについて、回答欄Aは1・2のどちらか、回答欄Bは1・2のどちらかに○をつけてください。)

現在の利用状況については、「①居宅介護(ホームヘルプ)」の割合が4.8%と最も高くなっています。今後の利用希望については、「⑥移動支援」の割合が43.8%と最も高く、次いで「①居宅介護(ホームヘルプ)」の割合が35.1%、「③行動援護」の割合が34.1%となっています。

平成28年度調査と比較すると、現在の利用状況については、全体では、大きな変化はみられません。また、精神障害のある方では、「①居宅介護(ホームヘルプ)」の割合が増加しています。今後の利用希望については、全体では、「④同行援護」、「⑤重度障害者等包括支援」の割合が減少しています。



※令和元年度調査の「⑥移動支援」、「⑦訪問入浴」は、平成28年度調査では問91に含まれていた選択肢です。

【障害種別】

A. 現在の利用状況

	調査数	サービス							無回答
		①居宅介護(ホームヘルプ)	②重度訪問介護	③行動援護	④同行援護	⑤重度障害者等包括支援	⑥移動支援	⑦訪問入浴	
全体	393	19	9	6	1	3	17	5	355
	100.0	4.8	2.3	1.5	0.3	0.8	4.3	1.3	90.3
身体障害	206	18	9	2	1	3	14	5	176
	100.0	8.7	4.4	1.0	0.5	1.5	6.8	2.4	85.4
知的障害	246	11	5	4	1	1	10	2	222
	100.0	4.5	2.0	1.6	0.4	0.4	4.1	0.8	90.2
精神障害	12	3	1	2	-	-	1	1	8
	100.0	25.0	8.3	16.7	-	-	8.3	8.3	66.7
難病	47	4	5	1	-	2	3	1	38
	100.0	8.5	10.6	2.1	-	4.3	6.4	2.1	80.9
無回答	5	-	-	-	-	-	-	-	5
	100.0	-	-	-	-	-	-	-	100.0

B. 今後の利用希望

単位 上段:件、下段:%

	調査数	①居宅介護 (ホームヘルプ)	②重度訪問 介護	③行動援護	④同行援護	⑤重度障害 者等包括支 援	⑥移動支援	⑦訪問入浴	無回答
全 体	393 100.0	138 35.1	118 30.0	134 34.1	53 13.5	98 24.9	172 43.8	89 22.6	166 42.2
身体障害	206 100.0	91 44.2	81 39.3	51 24.8	27 13.1	66 32.0	100 48.5	70 34.0	78 37.9
知的障害	246 100.0	91 37.0	75 30.5	110 44.7	39 15.9	65 26.4	115 46.7	47 19.1	93 37.8
精神障害	12 100.0	7 58.3	5 41.7	8 66.7	5 41.7	5 41.7	9 75.0	4 33.3	- -
難病	47 100.0	25 53.2	27 57.4	17 36.2	9 19.1	19 40.4	26 55.3	23 48.9	12 25.5
無回答	5 100.0	1 20.0	1 20.0	3 60.0	1 20.0	1 20.0	3 60.0	- -	2 40.0

【平成 28 年度調査】

A. 現在の利用状況

単位 上段:件、下段:%

	調査数	①居宅介護 (ホームヘルプ)	②重度訪問 介護	③行動援護	④同行援護	⑤重度障害 者等包括支 援	⑥移動支援	⑦訪問入浴
全 体	427 100.0	20 4.7	9 2.1	9 2.1	3 0.7	3 0.7	29 6.8	5 1.2
身体障害	239 100.0	18 7.5	8 3.3	2 0.8	3 1.3	3 1.3	19 7.9	5 2.1
知的障害	264 100.0	10 3.8	4 1.5	8 3.0	1 0.4	- -	22 8.3	4 1.5
精神障害	12 100.0	1 8.3	- -	1 8.3	- -	- -	3 25.0	1 8.3
難病	143 100.0	9 6.3	5 3.5	1 0.7	1 0.7	2 1.4	8 5.6	3 2.1
無回答	3 100.0	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -

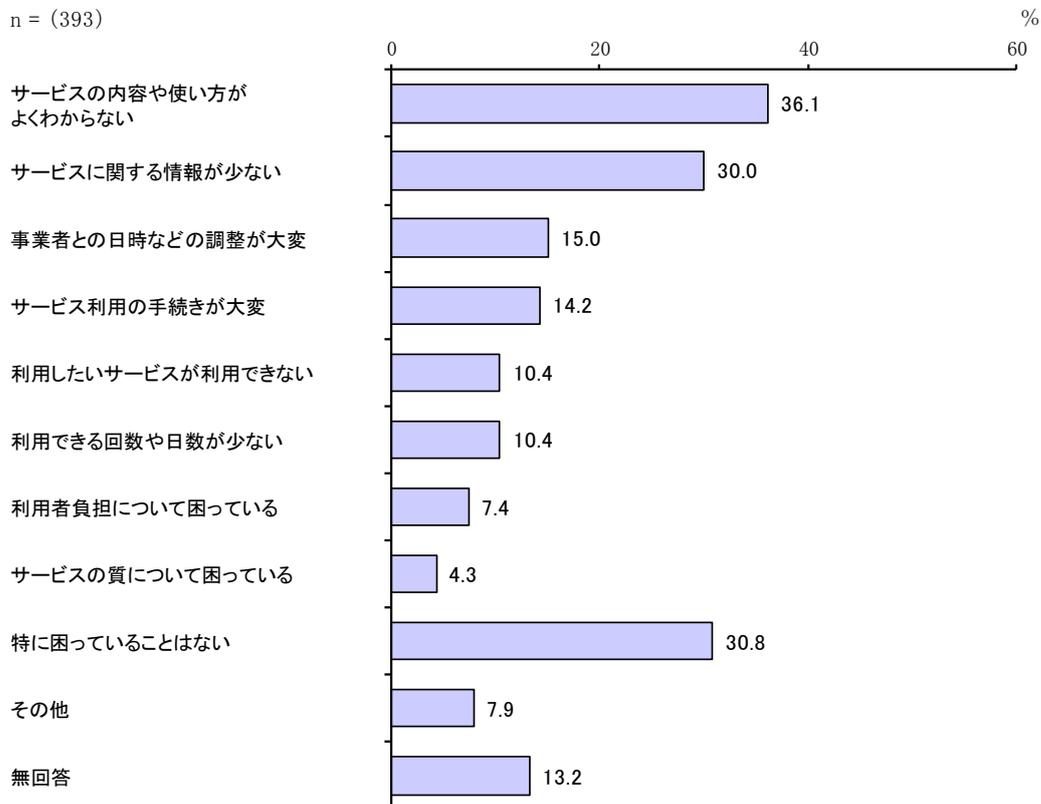
B. 今後の利用希望

単位 上段:件、下段:%

	調査数	①居宅介護 (ホームヘルプ)	②重度訪問 介護	③行動援護	④同行援護	⑤重度障害 者等包括支 援	⑥移動支援	⑦訪問入浴
全 体	427 100.0	167 39.1	143 33.5	159 37.2	99 23.2	129 30.2	207 48.5	98 23.0
身体障害	239 100.0	104 43.5	104 43.5	72 30.1	58 24.3	89 37.2	132 55.2	80 33.5
知的障害	264 100.0	111 42.0	89 33.7	127 48.1	64 24.2	79 29.9	134 50.8	55 20.8
精神障害	12 100.0	4 33.3	8 66.7	6 50.0	3 25.0	6 50.0	8 66.7	2 16.7
難病	143 100.0	58 40.6	56 39.2	46 32.2	36 25.2	53 37.1	69 48.3	41 28.7
無回答	3 100.0	- -	- -	- -	- -	- -	1 33.3	- -

問 87 あなたは、訪問系サービスの利用に関して困っていることがありますか。
(〇はいくつでも)

「サービスの内容や使い方がよくわからない」の割合が36.1%と最も高く、次いで「特に困っていることはない」の割合が30.8%、「サービスに関する情報が少ない」の割合が30.0%となっています。



【障害種別】

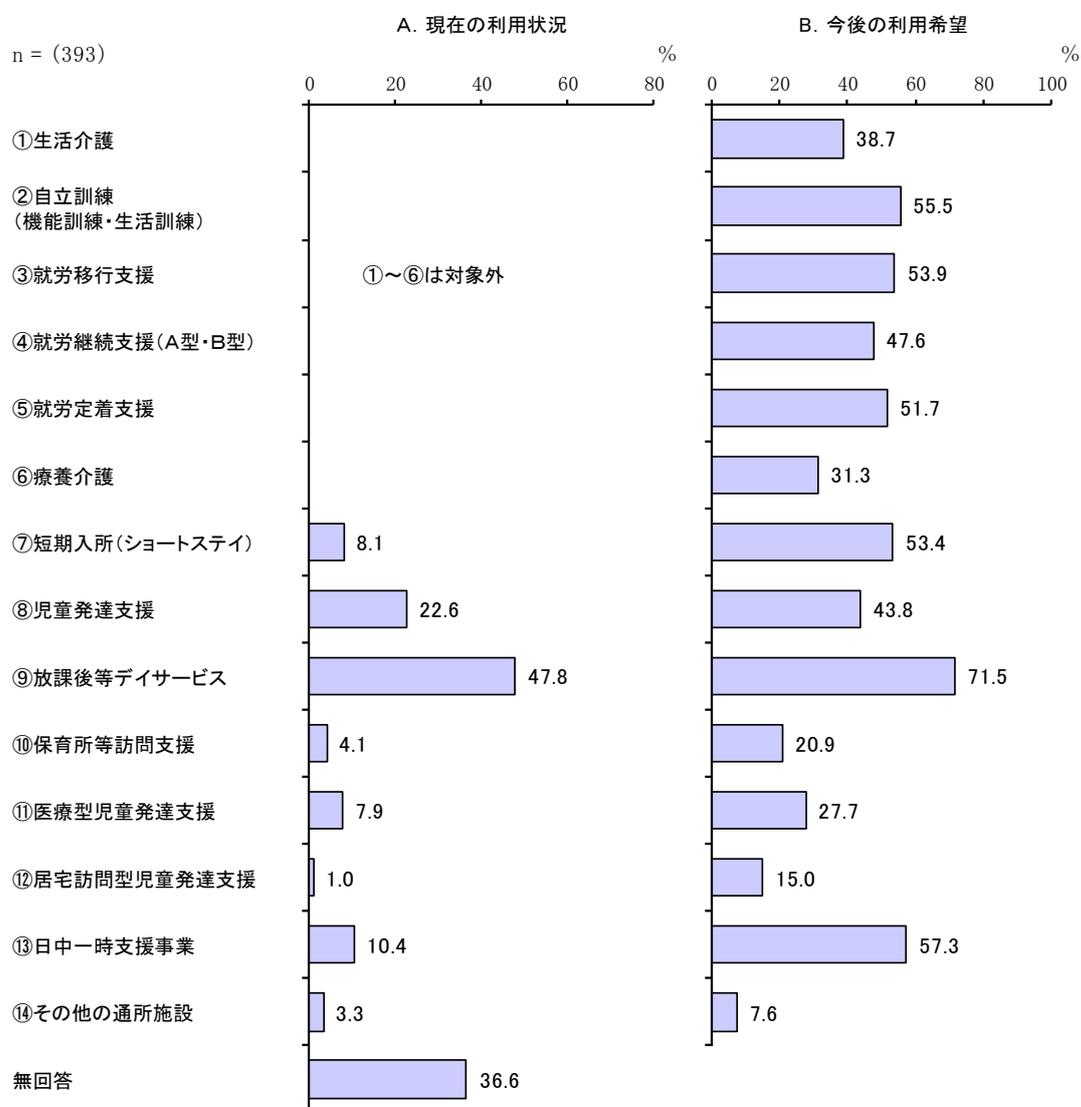
単位 上段:件、下段:%

	調査数	サービスの 内容や 使い方が よくわから ない	サービス に関する 情報が少 ない	利用した いサービ スが利用 できない	サービス 利用の手 続きが大 変	事業者と の日時な どの調整 が大変	利用でき る回数や 日数が少 ない	サービス の質につ いて困っ ている	利用者負 担につい て困って いる	特に困っ ているこ とはない	その他	無回答
全体	393	142	118	41	56	59	41	17	29	121	31	52
	100.0	36.1	30.0	10.4	14.2	15.0	10.4	4.3	7.4	30.8	7.9	13.2
身体障害	206	72	65	28	37	45	31	12	18	54	17	30
	100.0	35.0	31.6	13.6	18.0	21.8	15.0	5.8	8.7	26.2	8.3	14.6
知的障害	246	97	83	24	37	37	27	12	23	69	21	30
	100.0	39.4	33.7	9.8	15.0	15.0	11.0	4.9	9.3	28.0	8.5	12.2
精神障害	12	2	2	2	1	3	4	-	2	3	1	1
	100.0	16.7	16.7	16.7	8.3	25.0	33.3	-	16.7	25.0	8.3	8.3
難病	47	23	20	8	11	12	8	3	6	7	3	4
	100.0	48.9	42.6	17.0	23.4	25.5	17.0	6.4	12.8	14.9	6.4	8.5
無回答	5	2	-	-	1	-	-	-	1	3	-	-
	100.0	40.0	-	-	20.0	-	-	-	20.0	60.0	-	-

問 88 あなたは、次のような日中活動系サービスを利用していますか。また今後利用したいと思いませんか。すでに利用している方も、今後利用したいかどうかをお答えください。
 (①～⑭のそれぞれのサービスについて、回答欄Aは1・2のどちらか、回答欄Bは1・2のどちらかに○をつけてください。)

現在の利用状況については、「⑨放課後等デイサービス」の割合が47.8%と最も高く、次いで「⑧児童発達支援」の割合が22.6%、「⑬日中一時支援事業」の割合が10.4%となっています。今後の利用希望については、「⑨放課後等デイサービス」の割合が71.5%と最も高く、次いで「⑬日中一時支援事業」の割合が57.3%、「②自立訓練（機能訓練・生活訓練）」の割合が55.5%となっています。

平成28年度調査と比較すると、現在の利用状況については、全体では、「⑨放課後等デイサービス」の割合が増加しています。また、精神障害のある方では、「⑧児童発達支援」の割合が増加しています。今後の利用希望については、全体では、「④就労継続支援（A型・B型）」、「⑦短期入所（ショートステイ）」、「⑪医療型児童発達支援」の割合が減少しています。



※令和元年度調査の「⑤就労定着支援」、「⑫居宅訪問型児童発達支援」は新たに追加された選択肢です。
 「⑧日中一時支援事業」は平成28年度調査では、問91に含まれていた選択肢です。

【障害種別】

A. 現在の利用状況

単位 上段:件、下段:%

	調査数	⑦短期入所(ショートステイ)	⑧児童発達支援	⑨放課後等デイサービス	⑩保育所等訪問支援	⑪医療型児童発達支援	⑫居宅訪問型児童発達支援	⑬日中一時支援事業	⑭その他の通所施設	無回答
全体	393 100.0	32 8.1	89 22.6	188 47.8	16 4.1	31 7.9	4 1.0	41 10.4	13 3.3	144 36.6
身体障害	206 100.0	27 13.1	38 18.4	82 39.8	7 3.4	26 12.6	4 1.9	25 12.1	5 2.4	89 43.2
知的障害	246 100.0	13 5.3	64 26.0	147 59.8	12 4.9	16 6.5	-	27 11.0	8 3.3	64 26.0
精神障害	12 100.0	2 16.7	5 41.7	9 75.0	1 8.3	1 8.3	-	1 8.3	-	3 25.0
難病	47 100.0	10 21.3	9 19.1	20 42.6	2 4.3	11 23.4	2 4.3	3 6.4	2 4.3	16 34.0
無回答	5 100.0	2 40.0	1 20.0	2 40.0	-	-	-	2 40.0	-	3 60.0

B. 今後の利用希望

単位 上段:件、下段:%

	調査数	①生活介護	②自立訓練(機能訓練・生活訓練)	③就労移行支援	④就労継続支援(A型・B型)	⑤就労定着支援	⑥療養介護	⑦短期入所(ショートステイ)	⑧児童発達支援	⑨放課後等デイサービス
全体	393 100.0	152 38.7	218 55.5	212 53.9	187 47.6	203 51.7	123 31.3	210 53.4	172 43.8	281 71.5
身体障害	206 100.0	86 41.7	98 47.6	83 40.3	75 36.4	80 38.8	77 37.4	116 56.3	76 36.9	129 62.6
知的障害	246 100.0	106 43.1	160 65.0	149 60.6	142 57.7	143 58.1	79 32.1	147 59.8	123 50.0	202 82.1
精神障害	12 100.0	6 50.0	6 50.0	5 41.7	5 41.7	5 41.7	4 33.3	5 41.7	6 50.0	10 83.3
難病	47 100.0	26 55.3	27 57.4	27 57.4	24 51.1	28 59.6	27 57.4	32 68.1	21 44.7	35 74.5
無回答	5 100.0	2 40.0	4 80.0	4 80.0	3 60.0	4 80.0	1 20.0	2 40.0	3 60.0	3 60.0

	⑩保育所等訪問支援	⑪医療型児童発達支援	⑫居宅訪問型児童発達支援	⑬日中一時支援事業	⑭その他の通所施設	無回答
全体	82 20.9	109 27.7	59 15.0	225 57.3	30 7.6	46 11.7
身体障害	41 19.9	60 29.1	37 18.0	121 58.7	16 7.8	34 16.5
知的障害	50 20.3	70 28.5	33 13.4	154 62.6	20 8.1	15 6.1
精神障害	2 16.7	5 41.7	3 25.0	8 66.7	1 8.3	-
難病	13 27.7	21 44.7	11 23.4	37 78.7	6 12.8	4 8.5
無回答	2 40.0	-	-	3 60.0	-	1 20.0

【平成 28 年度調査】

A. 現在の利用状況

単位 上段:件、下段:%

	調査数	⑦短期入所(ショートステイ)	⑧児童発達支援	⑨放課後等デイサービス	⑩保育所等訪問支援	⑪医療型児童発達支援	⑫居宅訪問型児童発達支援	⑬日中一時支援事業	⑭その他の通所施設
全体	427 100.0	47 11.0	79 18.5	166 38.9	14 3.3	38 8.9	////	51 11.9	9 2.1
身体障害	239 100.0	34 14.2	32 13.4	75 31.4	7 2.9	32 13.4	////	24 10.0	5 2.1
知的障害	264 100.0	26 9.8	56 21.2	132 50.0	10 3.8	16 6.1	////	39 14.8	5 1.9
精神障害	12 100.0	2 16.7	2 16.7	7 58.3	-	1 8.3	////	4 33.3	1 8.3
難病	143 100.0	19 13.3	20 14.0	46 32.2	3 2.1	16 11.2	////	11 7.7	3 2.1
無回答	3 100.0	-	1 33.3	-	-	-	////	-	-

B. 今後の利用希望

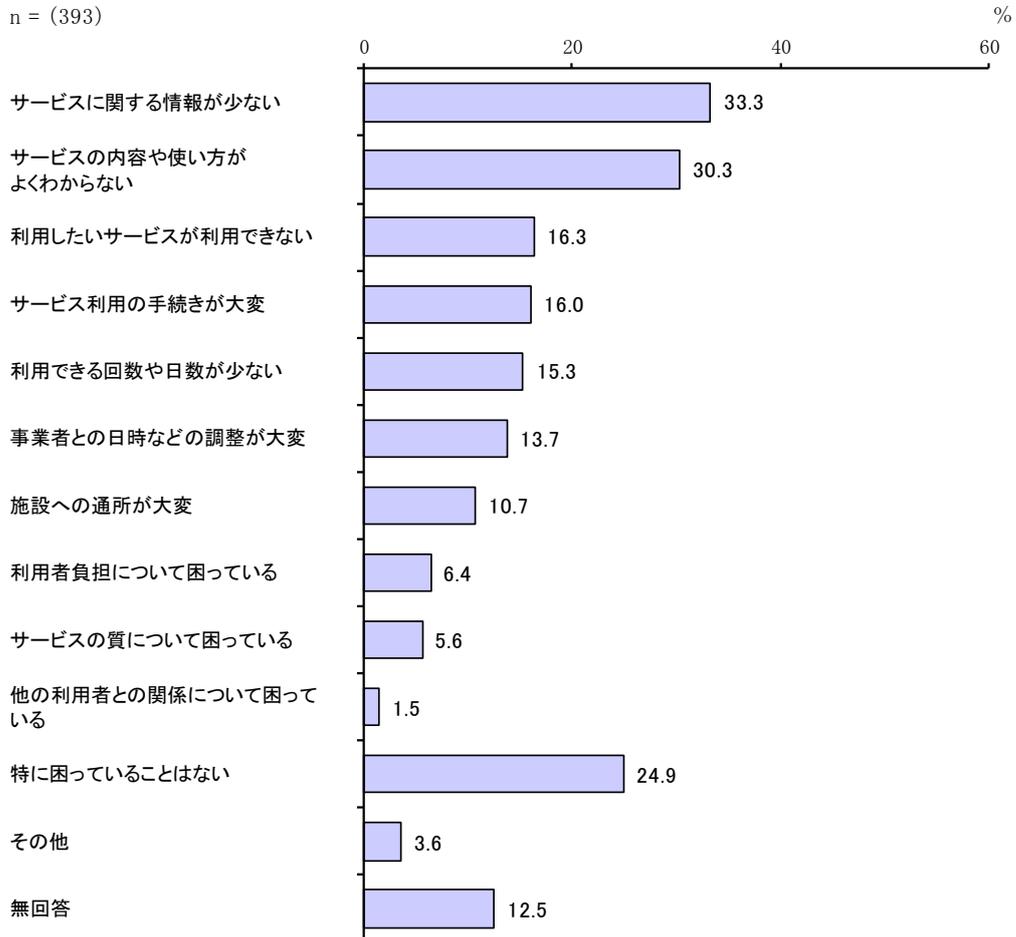
単位 上段:件、下段:%

	調査数	①生活介護	②自立訓練(機能訓練・生活訓練)	③就労移行支援	④就労継続支援(A型・B型)	⑤就労定着支援	⑥療養介護	⑦短期入所(ショートステイ)	⑧児童発達支援
全体	427 100.0	181 42.4	244 57.1	236 55.3	235 55.0		152 35.6	258 60.4	206 48.2
身体障害	239 100.0	107 44.8	121 50.6	108 45.2	103 43.1		99 41.4	145 60.7	108 45.2
知的障害	264 100.0	124 47.0	173 65.5	160 60.6	174 65.9		92 34.8	171 64.8	141 53.4
精神障害	12 100.0	6 50.0	6 50.0	2 16.7	6 50.0		5 41.7	10 83.3	5 41.7
難病	143 100.0	66 46.2	79 55.2	70 49.0	74 51.7		68 47.6	89 62.2	68 47.6
無回答	3 100.0	1 33.3	2 66.7	2 66.7	1 33.3		1 33.3	2 66.7	1 33.3

	⑨放課後等デイサービス	⑩保育所等訪問支援	⑪医療型児童発達支援	⑫居宅訪問型児童発達支援	⑬日中一時支援事業	⑭その他の通所施設
全体	302 70.7	110 25.8	146 34.2		273 63.9	40 9.4
身体障害	154 64.4	61 25.5	92 38.5		149 62.3	26 10.9
知的障害	214 81.1	66 25.0	91 34.5		190 72.0	20 7.6
精神障害	9 75.0	1 8.3	3 25.0		9 75.0	1 8.3
難病	93 65.0	41 28.7	61 42.7		89 62.2	17 11.9
無回答	2 66.7	1 33.3	1 33.3		1 33.3	-

問 89 あなたは、日中活動系サービスの利用に関して困っていることがありますか。
(〇はいくつでも)

「サービスに関する情報が少ない」の割合が 33.3%と最も高く、次いで「サービスの内容や使い方がよくわからない」の割合が 30.3%、「特に困っていることはない」の割合が 24.9%となっています。



【障害種別】

単位 上段：件、下段：%

	調査数	サービスの内容や使い方がよくわからない	サービスに関する情報が少ない	利用したいサービスが利用できない	サービス利用の手続きが大変	事業者との日時などの調整が大変	利用できる回数や日数が少ない
全体	393 100.0	119 30.3	131 33.3	64 16.3	63 16.0	54 13.7	60 15.3
身体障害	206 100.0	66 32.0	72 35.0	34 16.5	38 18.4	34 16.5	37 18.0
知的障害	246 100.0	74 30.1	86 35.0	41 16.7	37 15.0	35 14.2	38 15.4
精神障害	12 100.0	2 16.7	2 16.7	1 8.3	1 8.3	1 8.3	3 25.0
難病	47 100.0	19 40.4	18 38.3	10 21.3	12 25.5	9 19.1	9 19.1
無回答	5 100.0	2 40.0	2 40.0	2 40.0	1 20.0	1 20.0	1 20.0

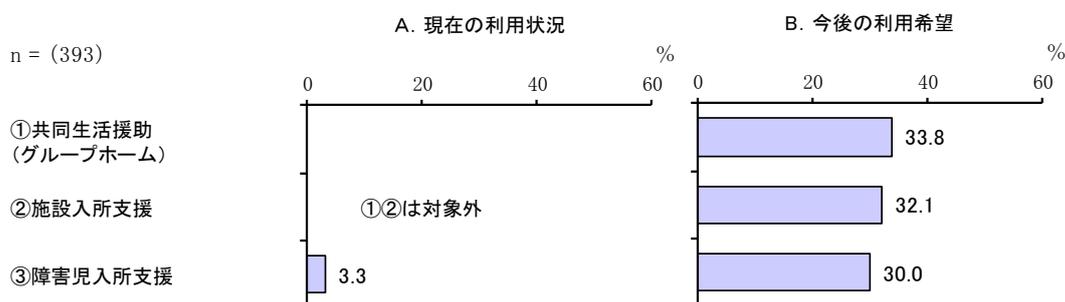
	サービスの質について困っている	他の利用者との関係について困っている	施設への通所が大変	利用者負担について困っている	特に困っていることはない	その他	無回答
全体	22 5.6	6 1.5	42 10.7	25 6.4	98 24.9	14 3.6	49 12.5
身体障害	8 3.9	2 1.0	19 9.2	14 6.8	46 22.3	8 3.9	28 13.6
知的障害	13 5.3	5 2.0	29 11.8	18 7.3	60 24.4	8 3.3	29 11.8
精神障害	3 25.0	-	2 16.7	1 8.3	2 16.7	1 8.3	2 16.7
難病	-	-	6 12.8	4 8.5	10 21.3	1 2.1	6 12.8
無回答	1 20.0	-	1 20.0	-	2 40.0	-	-

問 90 あなたは、次のような居住系サービスを利用していますか。また今後利用したいと思いませんか。すでに利用している方も、今後利用したいかどうかをお答えください。(①～③のそれぞれのサービスについて、回答欄Aは1・2のどちらか、回答欄Bは1・2のどちらかに○をつけてください。)

現在の利用状況については、「③障害児入所支援」の割合が3.3%となっています。

今後の利用希望については、「①共同生活援助（グループホーム）」の割合が33.8%と最も高く、次いで「②施設入所支援」の割合が32.1%、「③障害児入所支援」の割合が30.0%となっています。

平成28年度調査と比較すると、現在の利用状況については、全体では、大きな変化はみられません。今後の利用希望については、全体では、大きな変化はみられません。また、難病のある方では、「①共同生活援助（グループホーム）」、「②施設入所支援」の割合が増加しています。



【障害種別】

A. 現在の利用状況

	調査数	③障害児入所支援
全体	393	13
	100.0	3.3
身体障害	206	11
	100.0	5.3
知的障害	246	6
	100.0	2.4
精神障害	12	-
	100.0	-
難病	47	2
	100.0	4.3
無回答	5	-
	100.0	-

B. 今後の利用希望

	調査数	①共同生活援助 (グループホーム)	②施設入所支援	③障害児入所支援	無回答
全体	393	133	126	118	217
	100.0	33.8	32.1	30.0	55.2
身体障害	206	63	70	70	112
	100.0	30.6	34.0	34.0	54.4
知的障害	246	102	92	80	120
	100.0	41.5	37.4	32.5	48.8
精神障害	12	4	4	4	7
	100.0	33.3	33.3	33.3	58.3
難病	47	21	20	18	20
	100.0	44.7	42.6	38.3	42.6
無回答	5	1	1	2	3
	100.0	20.0	20.0	40.0	60.0

【平成28年度調査】

A. 現在の利用状況

	調査数	③障害児入所支援
全体	427	12
	100.0	2.8
身体障害	239	9
	9.0	3.8
知的障害	264	7
	100.0	2.7
精神障害	12	1
	100.0	8.3
難病	143	143
	100.0	4.2
無回答	3	-
	100.0	-

B. 今後の利用希望

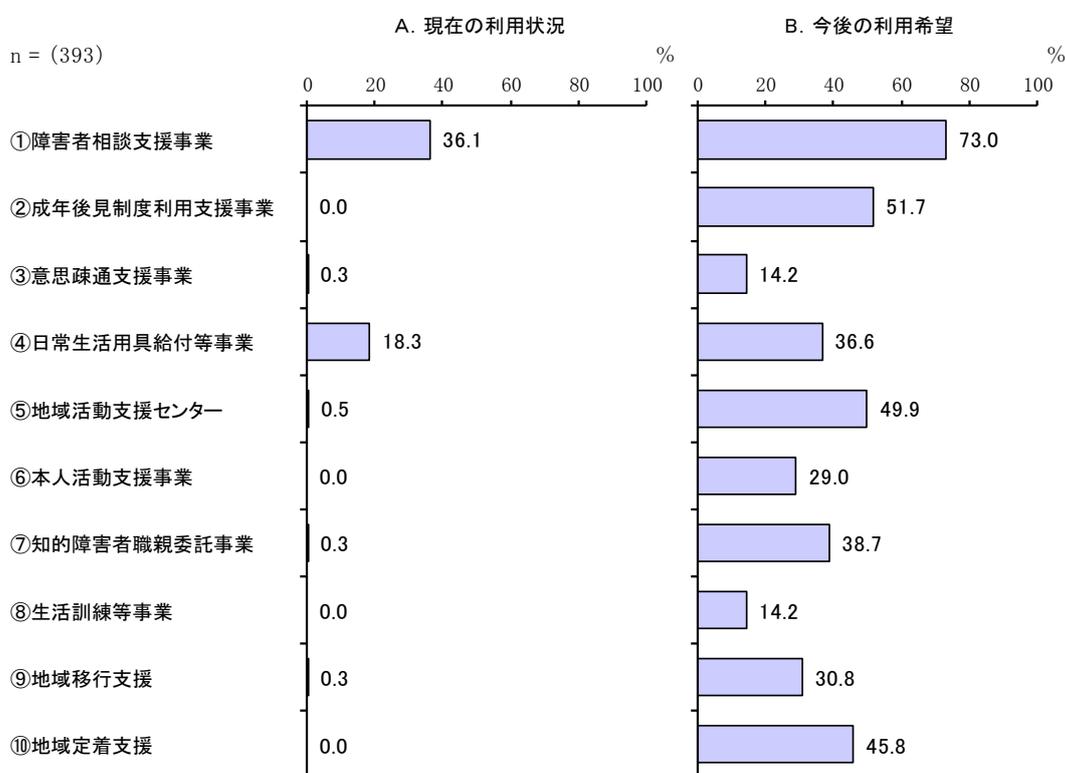
	調査数	①共同生活援助 (グループホーム)	②施設入所支援	③障害児入所支援
全体	427	158	142	139
	100.0	37.0	33.3	32.6
身体障害	239	77	77	79
	100.0	32.2	32.2	33.1
知的障害	264	120	103	99
	100.0	45.5	39.0	37.5
精神障害	12	8	7	8
	100.0	66.7	58.3	66.7
難病	143	49	46	51
	100.0	34.3	32.2	35.7
無回答	3	1	1	1
	100.0	33.3	33.3	33.3

問 91 あなたは、次のようなサービスを利用していますか。また今後利用したいと思いますか。すでに利用している方も、今後利用したいかどうかをお答えください。
 (①～⑩のそれぞれのサービスについて、回答欄Aは1・2のどちらか、回答欄Bは1・2のどちらかに○をつけてください。)

現在の利用状況については、「①障害者相談支援事業」の割合が36.1%と最も高く、次いで「④日常生活用具給付等事業」の割合が18.3%となっています。

今後の利用希望については、「①障害者相談支援事業」の割合が73.0%と最も高く、次いで「②成年後見制度利用支援事業」の割合が51.7%、「⑤地域活動支援センター」の割合が49.9%となっています。

平成28年度調査と比較すると、現在の利用状況については、全体では、大きな変化はみられません。また、精神障害のある方では、「④日常生活用具給付等事業」の割合が増加しています。今後の利用希望については、全体では、「④日常生活用具給付等事業」、「⑤地域活動支援センター」、「⑥本人活動支援事業」の割合が減少しています。



※令和元年度調査の「①障害者相談支援事業」は平成28年度調査では「①相談支援事業」でした。
 令和元年度調査の「⑨地域移行支援」、「⑩地域定着支援」は新たに追加された選択肢です。
 平成28年度調査の「⑤移動支援事業」、「⑧訪問入浴サービス事業」、「⑩日中一時支援事業」は令和元年度調査では、それぞれ、問86及び問88選択肢を移しました。

【障害種別】

A. 現在の利用状況

単位 上段:件、下段:%

	調査数	①障害者 相談支援 事業	②成年後 見制度利 用支援事 業	③意思疎 通支援事 業	④日常生 活用具給 付等事業	⑤地域活 動支援セ ンター	⑥本人活 動支援事 業	⑦知的障 害者職親 委託事業	⑧生活訓 練等事業	⑨地域移 行支援	⑩地域定 着支援	無回答
全 体	393 100.0	142 36.1	- -	1 0.3	72 18.3	2 0.5	- -	1 0.3	- -	1 0.3	- -	222 56.5
身体障害	206 100.0	73 35.4	- -	- -	70 34.0	- -	- -	- -	- -	1 0.5	- -	106 51.5
知的障害	246 100.0	103 41.9	- -	1 0.4	31 12.6	2 0.8	- -	1 0.4	- -	1 0.4	- -	133 54.1
精神障害	12 100.0	5 41.7	- -	- -	3 25.0	- -	- -	- -	- -	- -	- -	7 58.3
難病	47 100.0	18 38.3	- -	- -	15 31.9	- -	- -	- -	- -	- -	- -	21 44.7
無回答	5 100.0	1 20.0	- -	- -	1 20.0	- -	- -	- -	- -	- -	- -	3 60.0

B. 今後の利用希望

単位 上段:件、下段:%

	調査数	①障害者 相談支援 事業	②成年後 見制度利 用支援事 業	③意思疎 通支援事 業	④日常生 活用具給 付等事業	⑤地域活 動支援セ ンター	⑥本人活 動支援事 業	⑦知的障 害者職親 委託事業	⑧生活訓 練等事業	⑨地域移 行支援	⑩地域定 着支援	無回答
全 体	393 100.0	287 73.0	203 51.7	56 14.2	144 36.6	196 49.9	114 29.0	152 38.7	56 14.2	121 30.8	180 45.8	72 18.3
身体障害	206 100.0	144 69.9	100 48.5	28 13.6	110 53.4	81 39.3	36 17.5	43 20.9	23 11.2	55 26.7	80 38.8	45 21.8
知的障害	246 100.0	192 78.0	143 58.1	40 16.3	80 32.5	146 59.3	98 39.8	131 53.3	43 17.5	90 36.6	125 50.8	31 12.6
精神障害	12 100.0	11 91.7	6 50.0	1 8.3	6 50.0	6 50.0	3 25.0	4 33.3	3 25.0	3 25.0	7 58.3	-
難病	47 100.0	36 76.6	27 57.4	11 23.4	28 59.6	25 53.2	17 36.2	16 34.0	8 17.0	17 36.2	26 55.3	6 12.8
無回答	5 100.0	4 80.0	3 60.0	-	2 40.0	4 80.0	3 60.0	3 60.0	2 40.0	3 60.0	3 60.0	-

【平成 28 年度調査】

A. 現在の利用状況

単位 上段：件、下段：%

	調査数	①相談支援事業	②成年後見制度利用支援事業	③意思疎通支援事業	④日常生活用具給付等事業	⑤地域活動支援センター	⑥本人活動支援事業	⑦知的障害者職親委託事業	⑧生活訓練等事業	⑨地域移行支援	⑩地域定着支援
全体	427 100.0	154 36.1	/	1 0.2	83 19.4	7 1.6	-	1 0.2	2 0.5	/	/
身体障害	239 100.0	89 37.2	/	1 0.4	83 34.7	3 1.3	-	-	2 0.8	/	/
知的障害	264 100.0	101 38.3	/	-	35 13.3	7 2.7	-	1 0.4	1 0.4	/	/
精神障害	12 100.0	4 33.3	/	-	1 8.3	-	-	-	-	/	/
難病	143 100.0	45 31.5	/	1 0.7	32 22.4	-	-	-	1 0.7	/	/
無回答	3 100.0	1 33.3	/	-	-	-	-	-	-	/	/

B. 今後の利用希望

単位 上段：件、下段：%

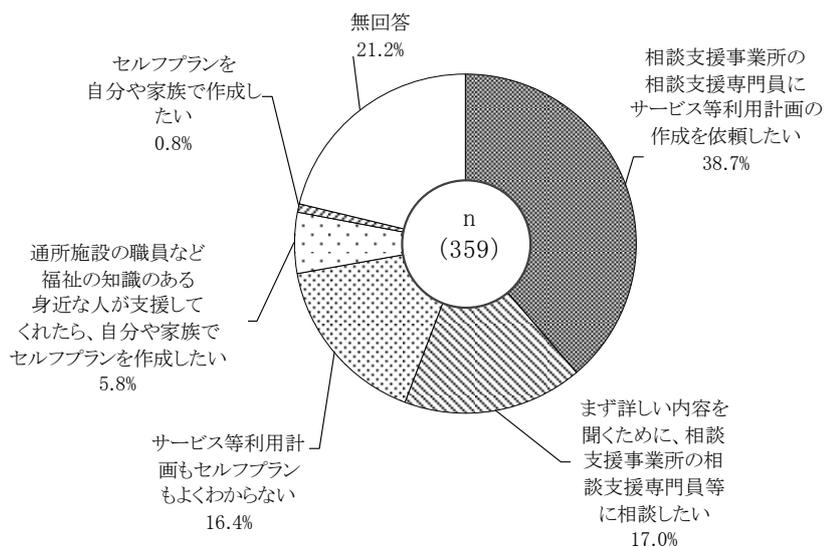
	調査数	①相談支援事業	②成年後見制度利用支援事業	③意思疎通支援事業	④日常生活用具給付等事業	⑤地域活動支援センター	⑥本人活動支援事業	⑦知的障害者職親委託事業	⑧生活訓練等事業	⑨地域移行支援	⑩地域定着支援
全体	427 100.0	316 74.0	234 54.8	72 16.9	184 43.1	254 59.5	164 38.4	182 42.6	64 15.0	/	/
身体障害	239 100.0	167 69.9	108 45.2	52 21.8	142 59.4	129 54.0	58 24.3	49 20.5	38 15.9	/	/
知的障害	264 100.0	214 81.1	171 64.8	31 11.7	98 37.1	174 65.9	139 52.7	160 60.6	42 15.9	/	/
精神障害	12 100.0	6 50.0	3 25.0	1 8.3	5 41.7	8 66.7	4 33.3	5 41.7	1 8.3	/	/
難病	143 100.0	105 73.4	72 50.3	28 19.6	72 50.3	76 53.1	45 31.5	48 33.6	19 13.3	/	/
無回答	3 100.0	2 66.7	2 66.7	1 33.3	1 33.3	1 33.3	1 33.3	1 33.3	-	/	/

問 92 【問 86, 88, 90, 91 にある障害福祉サービスを利用している方や、今後利用を
したい方におたずねします。】

サービス等利用計画の作成について、どのように進めていきたいですか。

(○は1つ)

「相談支援事業所の相談支援専門員にサービス等利用計画の作成を依頼したい」の割合が
38.7%と最も高く、次いで「まず詳しい内容を聞くために、相談支援事業所の相談支援専門員等
に相談したい」の割合が 17.0%、「サービス等利用計画もセルフプランもよくわからない」の割
合が 16.4%となっています。



【障害種別】

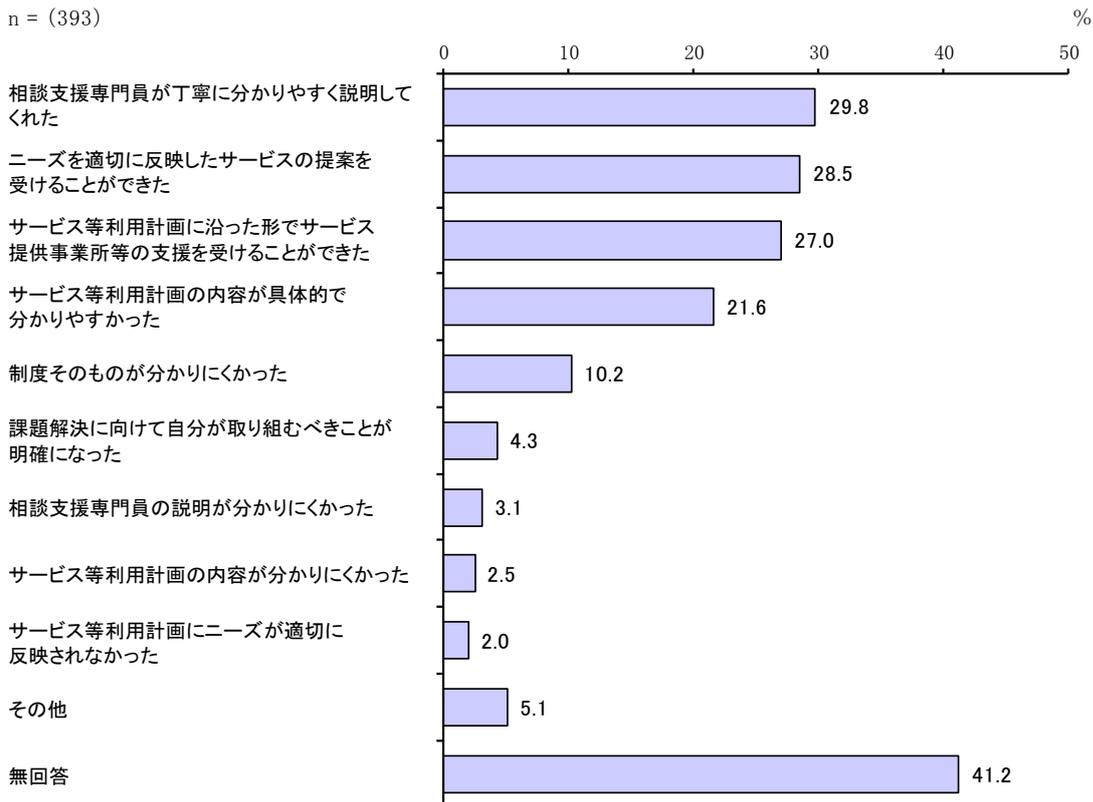
単位 上段:件、下段:%

調査数	相談支援事業所の相談支援専門員にサービス等利用計画の作成を依頼したい	セルフプランを自分や家族で作成したい	通所施設の職員など福祉の知識のある身近な人が支援してくれたら、自分や家族でセルフプランを作成したい	まず詳しい内容を聞くために、相談支援事業所の相談支援専門員等に相談したい	サービス等利用計画もセルフプランもよくわからない	無回答
全体 359 100.0	139 38.7	3 0.8	21 5.8	61 17.0	59 16.4	76 21.2
身体障害 181 100.0	66 36.5	3 1.7	11 6.1	30 16.6	32 17.7	39 21.5
知的障害 236 100.0	98 41.5	1 0.4	16 6.8	44 18.6	33 14.0	44 18.6
精神障害 12 100.0	5 41.7	-	-	-	4 33.3	3 25.0
難病 45 100.0	19 42.2	-	3 6.7	9 20.0	9 20.0	5 11.1
無回答 5 100.0	2 40.0	-	-	-	2 40.0	1 20.0

問 93 【これまでに相談支援事業所でサービス等利用計画を作成したことがある方におたずねします。】

サービス等利用計画を作成して感じたことはありますか（〇は4つまで）

「相談支援専門員が丁寧に分かりやすく説明してくれた」の割合が 29.8%と最も高く、次いで「ニーズを適切に反映したサービスの提案を受けることができた」の割合が 28.5%、「サービス等利用計画に沿った形でサービス提供事業所等の支援を受けることができた」の割合が 27.0%となっています。



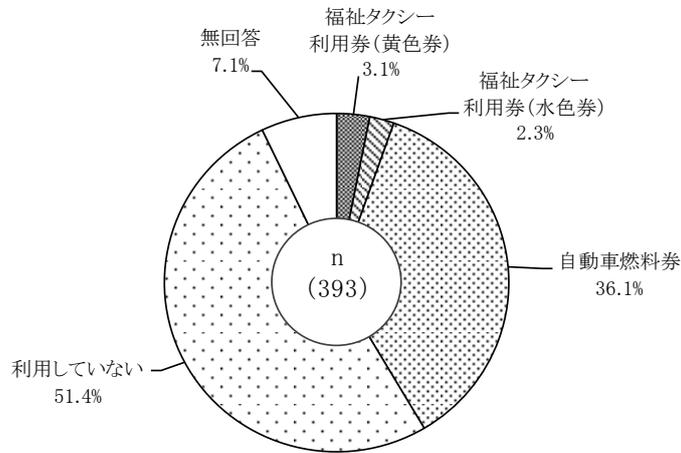
【障害種別】

単位 上段:件、下段:%

	調査数	ニーズを適切に反映したサービスを受けることができた	サービス等利用計画に沿った形でサービス提供事業所等の支援を受けることができた	サービス等利用計画の内容が具体的に分かりやすかった	相談支援専門員が丁寧に分かりやすく説明してくれた	課題解決に向けて自分が取り組むべきことが明確になった	サービス等利用計画にニーズが適切に反映されなかった	サービス等利用計画の内容が分かりにくかった	相談支援専門員の説明が分かりにくかった	制度そのものが分かりにくかった	その他	無回答
全体	393	112	106	85	117	17	8	10	12	40	20	162
	100.0	28.5	27.0	21.6	29.8	4.3	2.0	2.5	3.1	10.2	5.1	41.2
身体障害	206	51	49	40	54	9	4	5	6	17	10	95
	100.0	24.8	23.8	19.4	26.2	4.4	1.9	2.4	2.9	8.3	4.9	46.1
知的障害	246	79	81	64	89	13	5	7	11	28	14	80
	100.0	32.1	32.9	26.0	36.2	5.3	2.0	2.8	4.5	11.4	5.7	32.5
精神障害	12	3	3	1	2	-	-	-	1	3	2	5
	100.0	25.0	25.0	8.3	16.7	-	-	-	8.3	25.0	16.7	41.7
難病	47	15	12	7	13	1	1	2	1	2	4	21
	100.0	31.9	25.5	14.9	27.7	2.1	2.1	4.3	2.1	4.3	8.5	44.7
無回答	5	1	1	1	1	-	-	-	-	1	1	3
	100.0	20.0	20.0	20.0	20.0	-	-	-	-	20.0	20.0	60.0

問 94 あなたは、福祉タクシー利用券や自動車燃料券を利用していますか。利用している方は、その種類（券の色）もお答えください。（○は1つ）

「利用していない」の割合が 51.4%と最も高く、次いで「自動車燃料券」の割合が 36.1%となっています。



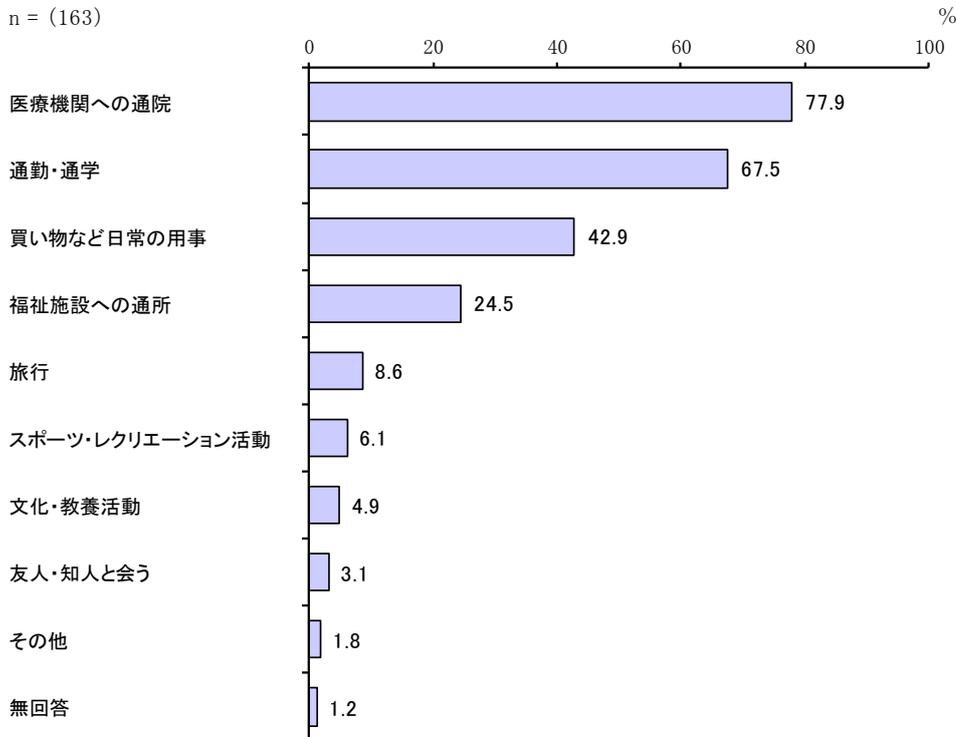
【障害種別】

単位 上段:件、下段:%

	調査数	福祉タクシー 利用券(黄色 券)	福祉タクシー 利用券(水色 券)	自動車燃料 券	利用してい ない	無回答
全 体	393 100.0	12 3.1	9 2.3	142 36.1	202 51.4	28 7.1
身体障害	206 100.0	8 3.9	9 4.4	105 51.0	68 33.0	16 7.8
知的障害	246 100.0	7 2.8	3 1.2	85 34.6	137 55.7	14 5.7
精神障害	12 100.0	-	2 16.7	2 16.7	7 58.3	1 8.3
難病	47 100.0	1 2.1	1 2.1	32 68.1	12 25.5	1 2.1
無回答	5 100.0	1 20.0	-	1 20.0	3 60.0	-

問 95 【問 94 でいずれかの券を利用している（1～3番）と回答した方におたずねします。】
福祉タクシー利用券・自動車燃料券の主な使い道は何ですか。（○はいくつでも）

「医療機関への通院」の割合が 77.9%と最も高く、次いで「通勤・通学」の割合が 67.5%、「買い物など日常の用事」の割合が 42.9%となっています。



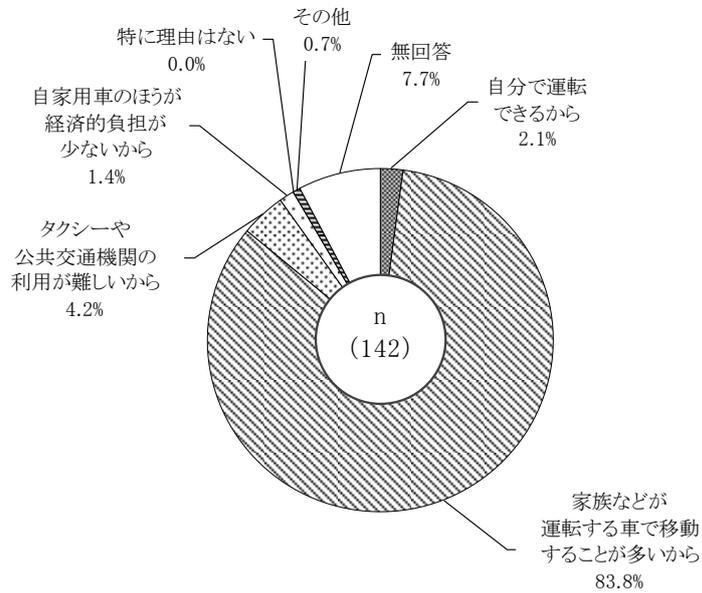
【障害種別】

単位 上段:件、下段:%

	調査数	通勤・通学	福祉施設への通所	医療機関への通院	買い物など日常の用事	文化・教養活動	スポーツ・レクリエーション活動	旅行	友人・知人と会う	その他	無回答
全 体	163	110	40	127	70	8	10	14	5	3	2
	100.0	67.5	24.5	77.9	42.9	4.9	6.1	8.6	3.1	1.8	1.2
身体障害	122	79	26	105	44	6	5	9	4	2	2
	100.0	64.8	21.3	86.1	36.1	4.9	4.1	7.4	3.3	1.6	1.6
知的障害	95	70	27	69	48	6	9	11	3	2	1
	100.0	73.7	28.4	72.6	50.5	6.3	9.5	11.6	3.2	2.1	1.1
精神障害	4	2	1	3	1	-	-	-	-	-	-
	100.0	50.0	25.0	75.0	25.0	-	-	-	-	-	-
難病	34	21	8	28	12	-	1	2	-	-	1
	100.0	61.8	23.5	82.4	35.3	-	2.9	5.9	-	-	2.9
無回答	2	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-
	100.0	50.0	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-

問 96 【問 94 で自動車燃料券を利用している（3番）と回答した方におたずねします。】
福祉タクシー利用券ではなく、自動車燃料券を選んでいる理由は何ですか。
（○は1つ）

「家族などが運転する車で移動することが多いから」の割合が83.8%と最も高くなっています。



【障害種別】

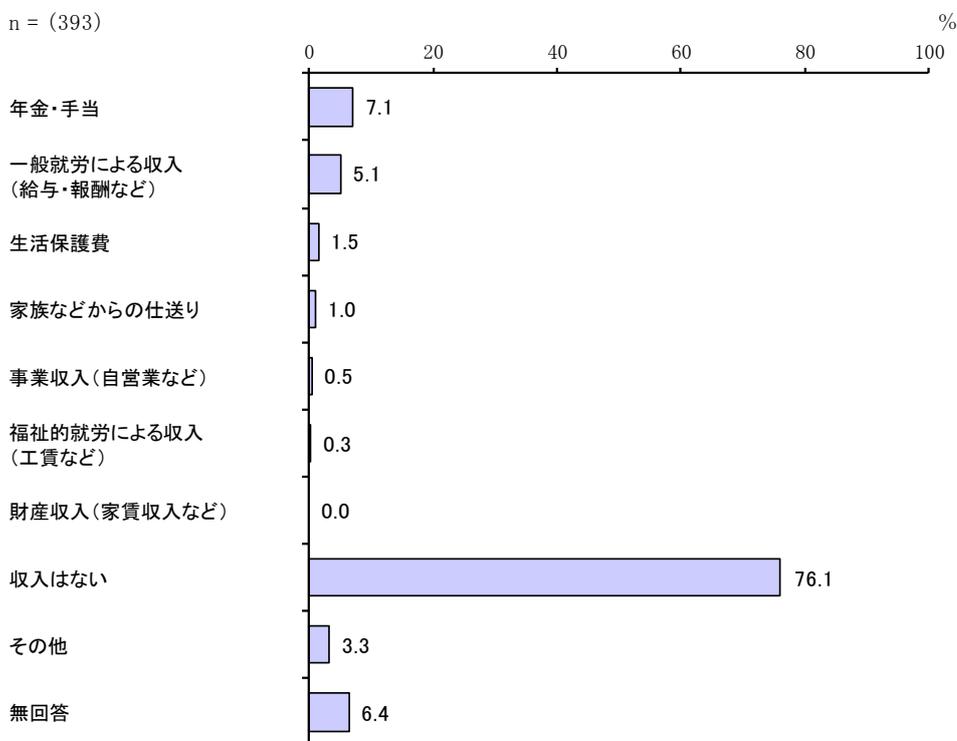
単位 上段:件、下段:%

	調査数	自分で運転できるから	家族などが運転する車で移動することが多いから	タクシーや公共交通機関の利用が難しいから	自家用車のほうが経済的負担が少ないから	特に理由はない	その他	無回答
全 体	142 100.0	3 2.1	119 83.8	6 4.2	2 1.4	-	1 0.7	11 7.7
身体障害	105 100.0	2 1.9	90 85.7	4 3.8	1 1.0	-	1 1.0	7 6.7
知的障害	85 100.0	2 2.4	68 80.0	5 5.9	2 2.4	-	-	8 9.4
精神障害	2 100.0	-	1 50.0	-	1 50.0	-	-	-
難病	32 100.0	2 6.3	26 81.3	2 6.3	-	-	1 3.1	1 3.1
無回答	1 100.0	-	1 100.0	-	-	-	-	-

(16) 収入や利用者負担について

問 97 あなたご本人の主な収入源をお答えください。(〇は3つまで)

「収入はない」の割合が76.1%と最も高くなっています。



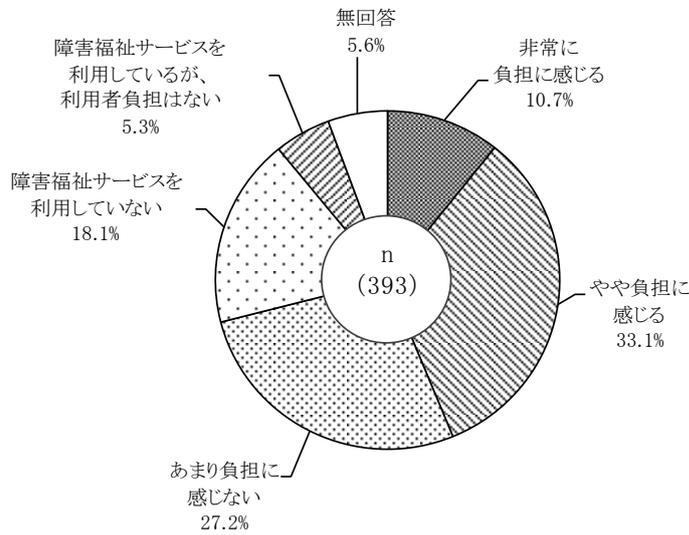
【障害種別】

単位 上段:件、下段:%

	調査数	一般就労による収入 (給与・報酬など)	福祉的就労による収入 (工賃など)	事業収入 (自営業など)	財産収入 (家賃収入など)	年金・手当	生活保護費	家族などからの仕送り	収入はない	その他	無回答
全体	393	20	1	2	-	28	6	4	299	13	25
	100.0	5.1	0.3	0.5	-	7.1	1.5	1.0	76.1	3.3	6.4
身体障害	206	10	-	2	-	18	1	2	153	6	17
	100.0	4.9	-	1.0	-	8.7	0.5	1.0	74.3	2.9	8.3
知的障害	246	16	1	-	-	22	6	3	184	7	12
	100.0	6.5	0.4	-	-	8.9	2.4	1.2	74.8	2.8	4.9
精神障害	12	2	-	-	-	1	1	-	7	-	1
	100.0	16.7	-	-	-	8.3	8.3	-	58.3	-	8.3
難病	47	3	-	-	-	4	-	-	36	-	4
	100.0	6.4	-	-	-	8.5	-	-	76.6	-	8.5
無回答	5	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-
	100.0	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-

問 98 あなた（保護者の方）は、障害福祉サービスの利用者負担について、どのように感じていますか。（○は1つ）

「やや負担を感じる」の割合が 33.1%と最も高く、次いで「あまり負担に感じない」の割合が 27.2%、「障害福祉サービスを利用していない」の割合が 18.1%となっています。



【障害種別】

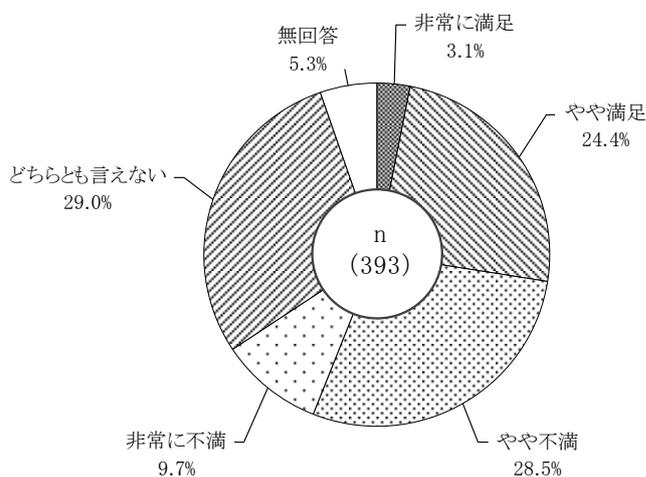
単位 上段:件、下段:%

	調査数	非常に負担に感じる	やや負担に感じる	あまり負担に感じない	障害福祉サービスを利用していない	障害福祉サービスを利用しているが、利用者負担はない	無回答
全 体	393 100.0	42 10.7	130 33.1	107 27.2	71 18.1	21 5.3	22 5.6
身体障害	206 100.0	26 12.6	71 34.5	45 21.8	38 18.4	12 5.8	14 6.8
知的障害	246 100.0	27 11.0	86 35.0	77 31.3	35 14.2	11 4.5	10 4.1
精神障害	12 100.0	5 41.7	3 25.0	2 16.7	-	2 16.7	-
難病	47 100.0	4 8.5	21 44.7	10 21.3	7 14.9	3 6.4	2 4.3
無回答	5 100.0	-	1 20.0	2 40.0	1 20.0	-	1 20.0

(17) 障害者施策について

問 99 あなた（や保護者・ご家族の方）は、市の障害者施策について、どのように感じていますか。（○は1つ）

「非常に満足」と「やや満足」をあわせた“満足”の割合が 27.5%、「やや不満」と「非常に不満」をあわせた“不満”の割合が 38.2%となっています。



【障害種別】

単位 上段:件、下段:%

	調査数	非常に満足	やや満足	やや不満	非常に不満	どちらとも言えない	無回答
全 体	393	12	96	112	38	114	21
	100.0	3.1	24.4	28.5	9.7	29.0	5.3
身体障害	206	5	48	58	18	62	15
	100.0	2.4	23.3	28.2	8.7	30.1	7.3
知的障害	246	9	66	73	23	64	11
	100.0	3.7	26.8	29.7	9.3	26.0	4.5
精神障害	12	-	-	4	6	2	-
	100.0	-	-	33.3	50.0	16.7	-
難病	47	2	14	18	1	9	3
	100.0	4.3	29.8	38.3	2.1	19.1	6.4
無回答	5	1	-	2	-	2	-
	100.0	20.0	-	40.0	-	40.0	-

(18) 自由意見

問 99 障害福祉に関するご意見やご要望、今後利用したい福祉サービスなどありましたら、ご自由にお書きください。

全部で 205 件の意見がありました。

	分類	件数	割合(%)
1	福祉サービス	88	42.9
2	医療・健康	6	2.9
3	生活環境	2	1.0
4	雇用・就労	9	4.4
5	将来について	10	4.9
6	経済事情・経済的支援	11	5.4
7	行政・制度	35	17.1
8	その他	44	21.5
合計		205	100.0

◆意見の概要 ※紙幅の都合により、内容を要約・抜粋している場合があります。

①福祉サービス

意見	障害の区分	年齢	性別	回答者
短期入所する施設が少ない。医療ケアの人を1番に支援しすぎていて、医療ケアがない障害児・者の受け入れが少なくなっている状況。医ケアの人は月1回定期的に利用しているが、医ケアなしの人は年1回も利用できない。	身体障害 知的障害	14	男性	不明
短期入所したくても空きがない。	身体障害	11	女性	家族
市内の幼稚園に通いながら、療育施設へ週2回通所しています。幼稚園は私立で、それぞれに特色・方針があり、療育を利用している子への対応は園によってかなり差があるようです。療育を利用している子は市の療育センターを利用していたり、手帳を所持していたり、療育の利用も市へ申込みしているのですから、市で情報を持っているはずだと思います。療育施設職員による保育所等訪問も園によっては断ることもあるようなので、市側から保育所等訪問を定期的に受入れるよう指導やルールを作っていただくことは出来ないでしょうか。幼稚園での加配教諭も必要だと思うので、制度化していただけたら大変すばらしいです。	知的障害	4	女性	家族

意見	障害の区分	年齢	性別	回答者
福祉サービスを学校生活でも使えるようにしてほしい（通学の送迎や、学校でのトイレ介助など）。学校の介助員制度では小学校が主で中学、高校では利用できなくなる可能性もあり不安。学校の教員だけで介助をすることは困難となった場合、親の付き添い等が必要になったり、もし付き添えなければ登校できない。学校行事への参加にも影響が出る。またヘルパー等を自身で手配するには経済的な負担が大きすぎる。障害があっても地域の学校（普通級）で高校、大学と本人の能力に合った学ぶ場所が得られるようにしてほしい。移動に介助が必要であり、困難があるのに自宅から遠く離れた特別支援学校で学ばなければならないのは疑問。普通級に通う障害児に対する支援もお願いしたい。	身体障害	11	女性	家族
療育センターのような相談の場が、小学校に入るとなくなる。医療機関の相談窓口も数が少なく、予約がなかなかとれない。学校は生活や習い事のことまで相談できず、孤立感を感じる。	知的障害	12	男性	家族
特別支援学校なら医ケアもスクールバスもあるから、1人親でも仕事をつづけながら小学校に通わせることができると思っていたが、現実には通わせることが不可能であった。スクールバスは、4月～9月まで保護者が送ってこなければバス利用可否の検討すらしてもらえない。これでは出社は10時になってしまう。医ケア、保護者が校内待機していなければ行われぬ。10時と12時の導尿に片道40分かけて外出したら仕事はできません。これでは会社首になってしまいます。事情のある人はルール以外の配慮があってもよいのではないかと思います。 療育センターも3歳でママが亡くなったあと保護者が同伴できなくなると、通わせることができなくなりました。しかしこの時は保育運営課が年度途中での入所許可を出してくれました。保育所に年度途中で入れてもらった時はほんとにありがたかった。今のルールで中学に通わせることはむずかしい。	身体障害 知的障害	9	女性	家族
措置児に対して児童相談所は施設入所を機に距離をおく。そのため連携を密に図るのが難しい。就学先を選択する際に重心児であるにも関わらず、市の施設入所を理由に知的の特別支援学校に入学している。県立、市立の枠ではなく、対象児に合った就学先の選択ができると良い。	身体障害	10	男性	施設職員
移動支援を、施設への通所送迎、通学の送迎に利用したい。	身体障害 知的障害	17	男性	家族
放課後デイサービスの事業所が増えて利用しやすくなり長期間の休み（夏休みなど）時とても助かっています。でも学校卒業後の支援体制にはとても不安を感じています。通所を考えていますが帰宅時間が早く、延長を取り入れている事業所さんも少なく、移動支援サービスなども事業所側の人手不足で非常に依頼困難です。短期入所もやはり同じく人手不足で事業所側は開店休業状態。保護者の私達が高齢となっていく子供の介護が負担になっていくのに対し支援体制は反比例している事にとっても納得がいきません。どうか学校卒業後のサービス強化をお願いしたいです。	知的障害	15	男性	家族

②医療・健康について

意見	障害の区分	年齢	性別	回答者
<ul style="list-style-type: none"> ・収入制限のボーダー金額が微妙な額で、わずかな差で手当が受けられない。これでは不公平だと思う。もう少し収入制限のボーダーを上げてほしい。かなりの高所得者の場合は良いのかもしれないが、現在の収入制限（500万台）では低すぎる。 ・医療費の補助をもっと多くしてほしい。 ・補聴器等の購入の補助の申請が現在5年に1度できるが使っていて本人に合わない。新しいの方が性能が良くなる等有るのでもっと早く（短い期間で）でできるようにしてほしい。 	身体障害 知的障害	12	男性	家族
知的障害や発達障害の人をもっと受け入れてくれる病院（医師）がほしい。受診サポート手帳など利用しているが、見ただけで嫌な顔をした人もいし、看護師も「何それ」みたいな顔をする方も少なくないので、もう少し認知度をあげていきたいです。	知的障害	11	男性	家族
小児神経科や歯医者など予約を入れてるにもかかわらず、1時間など待たされて待ち時間をなるべくなくすように改善してほしい。その子にあった対応ができるように医者専門性を高めてほしい。	身体障害 知的障害	13	女性	家族
中学を卒業し医療負担が高額になり、リハビリ回数を減らしたり、もっていた薬を減らし様子を見ています。軽い障害なので一人でできることはやらせていますが、年々生活費に負担が大きくなってきます。進学もしたいと話しています。自宅も老朽化してきて下の娘も同時期に高校受験がくると思うと、せめて医療費が確定金額だと安心して受診ができます。中学生が助成され500円になり本当にありがたかったです。高校生も未成年。親が守っていく責任があり成人を迎えるまで1000円～2000円の確定助成をしてくださると助かります。	身体障害	16	男性	家族

③生活環境について

意見	障害の区分	年齢	性別	回答者
<ul style="list-style-type: none"> ・先日電話で相談した所、「直接学校に問い合わせてください」と言われました。 ・押しボタンを増やしてほしい。青→渡る、赤→止まるがわかっているので、自らで押して渡らせたい。あまり障害の事を知らないで見る人が増えてます。小学、中学校にも障害の事教える事も学ぶべきかと思いました。 	知的障害	10	男性	家族
マンションのエレベーターに車イスボタンをつくったほうがいい。	身体障害、知的障害	12	男性	本人

④雇用・労働について

意見	障害の区分	年齢	性別	回答者
<p>障害者が成人後、就労できずに施設や家庭で一生を終えるのは、本人、家族、行政、支援サービス等の負担になるだけでなく、社会全体の損失や機会逸失なと思うので、本人のできる限りの範囲で、単純作業や単純労働になるとしても、とにかく就労し、わずかばかりでも賃金を得、社会参加できる人間に成長することが、高齢化、晩婚化する社会にとって必要だと考えます。そのためには本人、家族の努力と共に、雇用側の企業等の理解も浸透していかないとはいけません。個人的には、息子の症状を説明しても「成長すれば治る」と言われ理解されず、面会も拒否され、療育の為の育休取得も反対される職場の上司に指導をお願いしたいです。</p>	知的障害	5	男性	家族
<p>母1人、子1人の母子家庭です。現在パートで働いていますが、学校の迎えの時間などの関係で、長時間働くことができません。また、子供が体調をくずしやすく、なかなか収入も安定しません。働ける場所もなかなかない。重度心身障害児なので、やはり車が日常的に必要ですが、維持費が高い。経済的に将来が不安。</p> <p>子育て中のママなどが気軽に働ける場所が欲しい。働けるときに出勤、シフトもないのでいつ休んでもOK。仕事内容は内職的なもの。・障害児が利用できる病後児預かり所、みたいな所が欲しい。熱が下がって、ある程度元気になっても、咳が出ていると学校に行かせづらい。まわりも体の弱い子ばかりなので、ちょっとした風邪でも、1週間以上学校を休ませる。すると母は仕事に行けない。</p>	身体障害	10	女性	家族
<p>学校卒業後就職先が見つかるか心配です。将来的にグループホームなど共同生活を希望していますが入居できるかどうか情報が少ないので。介助者の負担も大きいです。放課後デイサービスも平日のみの利用なので。年末年始やゴールデンウィークの長期休暇は介助者の精神的負担、1人で留守番をさせられないので。まだまだ障害者への周囲の目は冷たいですね。生きづらい世の中だと思います。この先どうなっていくのか。むずかしいですね。</p>	知的障害	11	男性	本人
<p>障害者が、一般就労する際には、学校まで、自立通学していることが目安とされます。それは、在学中の、実習も同様なので、視覚障害者（全盲）にとってとても高いハードルです。点字ブロックや、音声信号、エスコートゾーンなど、ない場所では、とても危険な歩行訓練をしなければならないのです。視覚障害者が安全に移動できるように、せめて、自宅の最寄の信号には、音声信号、エスコートゾーン、点字ブロックを付けていただきたい。個別の対応をしてもらいたいです。</p>	身体障害、知的障害	16	男性	不明
<p>今、レスパイトを利用していますが、18才以上になって就職したら、どうしようと思います。何か大人になったら何かあれば、助かります。会社から帰ってきてからや土日の余暇を楽しめる所。</p>	知的障害	15	女性	本人

⑤将来について

意見	障害の区分	年齢	性別	回答者
今介助している両親が亡き後のことがとても不安。一人で生きていけるのか、どのような支援をしてくれるのか早いうちから情報がほしい。子の将来がとても不安。	知的障害	9	女性	家族
知的ボーダーで困っている子に対しての市への対応がまだ不十分だと感じます。他県の取り組みをもう少し参考にされては？子育て（知的ボーダー）をしている親からしたら将来に不安しかありません。すぐに改善してくれる事を希望します。療育手帳の基準も前回と違うように感じますし、田中ビネーでなければならぬ理由も明確にしてほしい。	知的障害	8	男性	不明
今は特別支援学校高等部卒業後の生活介護通所施設がどこもいっぱいになってきていることに対して不安を感じます。その後はグループホーム等の心配もでてくると思います。いずれも、人材確保がネックになってくると思います。人材育成、給与確保等、色々課題はあると思いますが、よい方向に進んでいってほしいと思います。	身体障害 知的障害	10	男性	家族
障害児（18歳未満）は、学校があるので、守ってくれてるが、問題は卒業後の生活です。こちらの方が、長い人生始まるので充実した選択が出来るようになることを願います。現在のように、どこも定員オーバーですと、不安でしかないです。うまく改善できますようお願い致します。	身体障害 知的障害	13	女性	家族
重症児の子供達は増えています。しかし卒業に進む道はありません。特に医ケアの児童は行く所がかぎられており、満室・満員の為、行く所がなく高等部（卒業生）になる前から不安をかかえている家族が多いです。どうか、作って下さい。	身体障害 知的障害	14	女性	家族

⑥経済事情・経済的支援について

意見	障害の区分	年齢	性別	回答者
短下肢装具の上からはく靴に補助金を出してほしい。装具用の靴（装具用カバーシューズ、ロータイプ）例サスウォーク¥8,030円。マジックテープが1つなので本人が装具の上からくつを一人ではける。・幼稚園や小学校での室内用に1足。外用に汚れた時の替えも必要なので2足。3足¥24,090。歩ける子どもなので外用の靴は早いと2、3ヶ月ぐらいでかかるとに穴があき、また2足購入。1年間で数万円の出費になる。装具用カバーシューズを作っているメーカーはあまりなく、どうしても一足の値段も高い。特別児童扶養手当も所得制限や手帳の等級により対象外の方も多。下肢装具用の補助靴として保険適用や補助金制度にしてほしい。歩行可能ということで手帳の等級も低く、特別児童扶養手当もなく、靴代が負担になる家庭は多いと思う。	身体障害	5	男性	家族

意見	障害の区分	年齢	性別	回答者
いろいろ手厚くサービスして頂き感謝しているのですが、利用者負担の上限額の規定がいまいち納得できない。月額 4,600 円だったものが、いっきに 37,200 円になる意味がわからない。たいして所得が増えているわけでもなく（年収 1000 万越えとかならわかるけど）600 万代でそんなに負担額増やされたらサービスも受けられなくなるし、生活が大変です。サービスも減らした上、パートもしないと生活できないし、首をしめられてどうにもなりません。途中の段階を入れるべきでは？せめて、月 1～2 万代負担にすべきです！！	知的障害	8	男性	家族
障害児対策は頑張っている自治体だと思いますが、所得制限に対して少々不満があります。制限をこえると一気に補助がなくなります。重度の障がい児がいる場合、片方の親は働きたくても働けない場合がほとんどです。制限をもう少し段階的にしていただきたいと思います。それが難しいのであれば重度障がい児対象の放課後デイサービス拡充をお願いします。または配偶者控除をしてください。サービスの格差を感じます。生活介護で重度障がい者に対応して下さる事業所が足りません。相談員も不足している中、相談支援事業を受けることも難しい状況です。	身体障害 知的障害	16	男性	家族
人工内耳の買いかえに 1 つ 100 万円かかります。娘は両耳で 200 万円です。りょう育で母子通園のため仕事できません。補聴器は数万円の負担で買えるのに対し、もっと聴力の重い 2 級の娘は全額自己負担です。全国で、100 万以上助成のある地域もあります。千葉は全国でたった 1 つしかない国立のろう学校があるのにも関わらず、せいでが整っていません。金もない。時間もなし。わが家は新しい人工内耳を買えません。いじ費だけで年数十万かかります。助けて下さい。難聴の半数以上が遺伝性で次の子も 25%でろうです。お金がないので産めません。	身体障害	1	女性	家族
収入にかかわらず手当をだすべき。	身体障害	14	男性	不明

⑦行政・制度について

意見	障害の区分	年齢	性別	回答者
役所の担当者が、毎年かわるようで、制度や書類のやりとりが、スムーズに行われず、困る事が多いです。花見川区は、道幅もせまく、歩道も整備されていない場所も多く、車いすでの移動はできません。道路渋滞もかなり多い為、施設利用事送迎バスも行けないと言われます。常に保護者による送迎になる為、ガソリン券の増加や、車イス用の車のレンタルがあると、とても助かります。	身体障害 知的障害	16	女性	家族
とても縦割りで動いている事が多く感じます。全ての事をトータルのに相談できる場面は少なく、この内容だとこの課へみたいなきななので、つい行政ではなく医療機関へアドバイスもらって自分達で交渉している日々です。とりあえず聞いてもらえる機関があっても内容や解答していただけるものが薄いので自分で調べたりネットで探してしまいます、障害福祉の手引きがいつ行っても保健福祉センターにないのもとても不便だと思っています。	身体障害 知的障害	10	女性	家族

意見	障害の区分	年齢	性別	回答者
利用できるサービスや手当など、自分で調べたり、聞きに行けない障がい者が多いと思います。利用できず、手当を受けられず、日常生活で大変な思いをしている人のためにも、市の方から障がいや家族構成にあった、サービスや手当などのリストを教えていただけたらいいと思います。	身体障害	5	女性	家族
必要な支援（親子共々）の早急な対応ができるシステムを作ってほしい。受けたくても受け口が少なく、スピードが必要な時に対応が遅れ、更に入学後も地域で生活、学びたい子達への対応が柔軟になされていないと思います。	身体障害	8	男性	家族
区役所では総合受付の様な役割の人が何人かウロウロしてるので「～をしたくて来ました」と伝えればそれに応じた課を案内してくれるが保健センターにはそのような人がいない。利用したいサービスが複数の課だったりそれをとびこえ児相だったり結局は自分でそれぞれの担当部署に問合せするはめになっている。	知的障害	4	男性	家族
手帳のはんていだけで、けいどとかのはんだんをしてほしくない。けいどでも、どれだけ、たいへんか、もっとしつかりはあくし、りかいしてほしい。高校生だけで、そうだんする所もないし、しんみになって、アドバイスや、うけれるサービスが無いのは、おかしい。必ずしも、じゅうどだけが、大変だとは、おもわないでほしい。高校生の、はったつしょうがい、人とのコミュニケーションがとれなかったり、いろいろある人のかていも、もっとはあくし、1人1人にあった、アドバイスやら、そうだんができる所を、ちゃんとつくってほしい。	知的障害	16	男性	家族
何を利用するにも仕事をしていると、役所に行けない。月1回でいいので土曜日にやってもらえるとたすかる。	知的障害	13	女性	本人
受給券等の更新が多い。（たくさん受給券を持っているため）。そのたびに役所へでむく事がとても大変。その上、必ずといっていいほど役所の方が手続きにおいてミスをする。きちんと仕事をしてほしいです。周りにおいても同等の意見が多いです。（きぼーる）。	身体障害	6	女性	家族
市長への手紙も出しましたが、こんなにも障害のある子供が増えているのに、近くに安全に通える特別支援学校がない。現在、中学校の支援級に在籍しているが、4月からの高校進学、市立高等特支は軽度しか入れないので、遠方まで通うしかなくとても不安です。障害を持つ子供の親は小さな子を抱えながら送り迎えを余儀なくされ、仕事もまともにできません。せめて、近くに学校を作って欲しいです。	知的障害	15	女性	家族
車イステニスや、水泳など千葉市でできるようにして下さい。プールにもバリアフリーをお願いします。（市民プールなど）	身体障害	10	男性	家族
小中学校について、普通級と支援級で悩んでいる場合、もう少し柔軟に対応して頂けると助かります。今後共、宜しく願い申し上げます。	知的障害	12	女性	家族

⑧その他

意見	障害の区分	年齢	性別	回答者
5才（自閉スペクトラム症の診断あり）の息子がいます。まだどこまで成長するのか、知的はどうか、分からないので何を調べたら良いのか、何を考えなければいけないのかよく分かりません。幼稚園も加配まちで来年（年長）からの入園予定になっています。障害そのものがはっきりしない分かりにくいものなので入園についてもおそらく入学についても保護者の判断になっている状況です。同じ感じの保護者からの情報はとても参考になるので、もっと知りたいなと思います。今の息子には何の支援が必要なのか、今後の為には何をすべきなのか、知っておく必要があると思います。	知的障害	5	男性	家族
障害者に対する偏見を感じる事がよくあります。そして障害児を安心して遊ばせられるような場所が少なく感じます。障害児でも安心して遊べるような場所があるととてもうれしいです。	知的障害	3	男性	家族
小・中学校でもっと充実したノートテイクのボランティアさんの対応をしてほしかった。	身体障害	16	女性	本人
障害者にかぎらずいじめのない世の中にしてほしい。	身体障害 知的障害	14	男性	家族
療育の費用を負担して頂けて、とても助かっている。今後就学、進学、就労にあたり、どんなサービスを要するかまだわからないが、使えるものがどんなものなのか、情報へのアクセスがよりよくなると思う。	知的障害	3	男性	家族
同じ障害をもつ人たちの集いに参加したい。各年齢ごとの状況や生活を理解して自分がこれからどのような人生を歩むのか想定しておきたい。しかし、病院にお願いしても紹介してもらえないまま。	身体障害	2	男性	家族